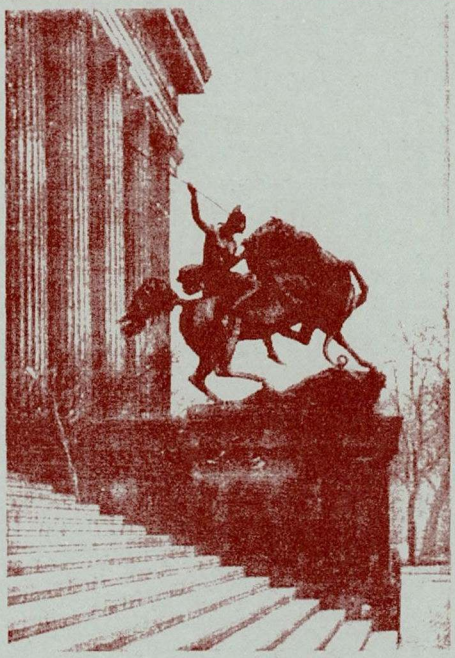
建築ト社會

第四輯　第三号



春の色の到り到らぬ里はあらじ
咲け咲かざる花の見ゆらむ　（古歌）

大正十年　三月一日

日本建築協會

日本建築協會會則

第一條　本會ノ目的ハ我國建築界ノ堅實ナル發展ヲ期スルニ在リ

第二條　本會ハ日本建築協會ト稱ス

第三條　本會ハ事務所ヲ大阪市ニ置ク

地方ニ支會ヲ設クルコトヲ得

第四條　本會ハ入格、學識、經驗アル建築家ヲ以テ會員トス

會員ノ氏名住所ハ會員名簿ニ之ヲ記錄ス

會員タラントヲ希望スル者ハ會員五名以上ノ紹介ヲ以テ入會希望書及履歷書ヲ本會ニ提出スヘシ其諾否ハ理事會ニ於テ議決ス

第五條　本會ハ其目的ヲ贊成シ事業ヲ援助スル者ヲ贊助員トス

贊助員ヲ分チテ左ノ四種トス

一　名譽贊助員―地位又ハ學識アル名望家

二　終身贊助員―金參百圓以上又ハ之ニ相當スル物件ヲ本會ニ寄附スル篤志家

三　特別贊助員―建築ニ關聯スル特種ノ技術家又ハ事業家

四　普通贊助員―建築ニ關係又ハ趣味ヲ有スル者

贊助員ノ氏名住所寄附ノ金額又ハ物件ハ各贊助員名簿ニ之ヲ記錄ス

第六條　名譽贊助員ハ例會ノ決議ニ依リ本會之ヲ推薦ス

終身贊助員タラントスル者ハ會員貳名以上ノ紹介ヲ以テ申込書及寄附ノ金額又ハ物件ヲ本會ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

特別贊助員タラントスル者ハ會員二名以上ノ紹介ヲ以テ申込書及履歷書ヲ本會ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

普通贊助員タラントスル者ハ會員ノ紹介ヲ以テ申込書ヲ本會ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

第七條　會員ハ第十九條ニ關スル權利ヲ享有ス

會員ハ會内ニ於ケル其言行ニ付會外ニ於テ責ヲ任ゼザルコトヲ得

名譽贊助員ハ本會ノ優遇及第十九條ニ基キ相當ノ利得ヲ受ク

終身贊助員、特別贊助員及普通贊助員ハ第十九條ニ基キ會誌ノ配布其他各相當ノ利得ヲ受ク

第八條　會員ニシテ脫會セントスル者ハ其旨ヲ本會ニ申込ムベシ

前項ノ規定ハ贊助員ニモ之ヲ準用ス

第九條　本會ハ會員ニシテ本則ノ規定ニ違背シ又ハ本會ノ名譽ヲ汚スノ行爲アリト認メラルヽ者ニ對シ理事會ノ決議ヲ經テ其權利ヲ停止シ若ハ之ニ除會ヲ勸告シ又ハ例會ノ決議ヲ經テ之ヲ除名スルコトヲ得

前項ノ規定ハ贊助員ニモ之ヲ準用ス

第十條　脫會其他ノ事由ニ因リ會員ダルノ資格ヲ失ヒタルノ者ハ既納會費ノ返還ヲ求メ又ハ其債務ヲ免ガルヽコトヲ得ズ

前項ノ規定ハ贊助員ニモ之ヲ準用ス

第十一條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一　會頭　一名

二　副會頭　一名

三　理事長　一名

四　理事　十名（理事長ヲ以テ理事ヲ含ム）

會頭ハ會務ヲ總監シ本會ヲ代表ス

副會頭ハ會頭ヲ補佐シ會頭事故アルトキ其職務ヲ代理ス

理事長ハ會務ヲ總理シ會頭、副會頭事故アルトキ其職務ヲ代理シ理事會ヲ代表ス

理事ハ會務ヲ處理シ理事長事故アルトキ理事會ノ決議ニ依リ其職務ヲ代理ス

第十二條　役員ハ會員中ヨリ例會ニ於テ之ヲ選擧ス但會頭、副會頭ハ名譽贊助員中ヨリ之ヲ選出スルコトヲ得

理事長ハ理事之ヲ互選ス

役員ノ任期ハ二年トス　但シ理事長ニ付テハ一年トス

理事ハ改選ハ每年半數ト但引續キ重任スルコトヲ得ズ

第十三條　本會ニ左ノ職員ヲ置ク

一　主事　一名

二　主計　一名

三　編輯　三名

四　編輯補　若干名

五　書記　若干名

主事ハ庶務ヲ、主計ハ會計ヲ、編輯ハ編纂ヲ處理ス

編輯補ハ編輯ノ旨ヲ受ケ編纂ヲ分掌ス

書記ハ理事長、理事ノ命ヲ受ケ會務ニ從事ス

第十四條　主記、主計、編輯ハ理事之ヲ互選ス

編輯補ハ會員中ヨリ理事會之ヲ指名ス

書記ハ理事會之ヲ任命シ有給トス但シ會頭ノ認メタルトキハ此限ニ在ラズ

第十五條　本會ハ調査研究ノ必要ニ應シ例會ノ決議ニ依リ各部ノ委員會ヲ設ケ各部ニ委員長一名委員若干名ヲ置ク

委員長及委員ハ會員中ヨリ理事會之ヲ指名シ委員長ハ當該委員ノ互選トス

理事會ハ特殊事項ニ關シ會員外ノ專門家ヲ臨時委員トスルコトヲ得

第十六條　委員長ハ當該委員會ヲ代表シ委員長事故アルトキハ當該委員會ノ決議ニ依リ委員其職務ヲ代理ス

委員會ノ經過ハ例會ニ於テ之ヲ報告ス

委員會ノ調査研究報告ハ例會ノ決議ヲ經テ本會ノ名ヲ以テ之ヲ發表ス但シ緊急事項ニ付テハ理事會ノ承認ヲ經テ當該委員會ノ名ヲ以テスルコトヲ得

第十七條　本會ハ每月一回會員ヲ召集シ例會ヲ開キ重要事項ヲ審議シ報告會、講話會、討論會又ハ講演會ヲ催ス但理事會ハ必要ト認ムルトキハ臨時之ヲ開催スルコトヲ得

例會ニ於ケル講案其他ノ事項ハ理事會之ヲ會員ニ豫告ス但緊急事項ニ付テハ此限ニ在ラズ

第十八條　本會ハ春秋二季大會ヲ擧行ス

第十九條　本會ノ行フ事業左ノ如シ

一　建築ニ關スル講話會ノ開催

二　調査研究報告ノ發表

三　建築ニ關スル重要事項ノ議決

四　會誌ノ發刊

五　建築ニ關スル圖書ノ刊行

六　建築ニ關スル講演會ノ開催

七　建築ニ關スル展覽會ノ公開

八　建築ニ關スル視察

九　建築ニ關スル有志者ノ親睦會

十　理想的建築ノ計畫

十一　其他建築ニ關スル有益ナル事項

十二　會員ハ會費年額金拾八圓ヲ本會ニ醵出ス

第二十條　但例會ニ出席シ難キ地方ニ在ル會員ノ會費ハ半額トス

一時ニ金貳百圓以上ヲ出ストキハ爾後前項ノ會費ヲ免ル

會員タルノ承認ヲ得タル者ハ入會金五圓ヲ本會ニ納付スベシ

特別贊助員ハ特別贊助員年額金九圓ヲ、普通贊助員ハ普通贊助員年額金六圓ヲ本會ニ前納スベシ

但六期以内ニ之ヲ分納スルコトヲ得

第二十一條　本會ノ經費ハ會費入會金寄附金贊助員其他ノ收入ヲ以テ支辨ス

本會ノ財產ハ理事長之ヲ監理ス

第二十二條　本會ノ財產積債務及每月ノ收支ハ主計其計算書ヲ作リ翌月理事會ニ報告ス

本會ノ財產積債務及每年ノ收支ハ理事會ニ決算書ヲ作リ翌年一月例會ニ於テ報告ス

第二十三條　本會及本則ニ關スル詳細ノ事項ハ例會ノ決議ニ依リ細則ニ之ヲ定ム

第二十四條　本則ハ例會ノ決議ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得



大阪市東區中道川西町五百六十一番地　電話南三八〇五番

日本エレベーター製造株式會社

營業種目

エレベーター、リフト
コンベヤー
捲上機械
クレエン
架空索道及諸機械
右設計及製作

（東松式）
試運轉各種機置
高保能塔安實設裝驗置

出張所　東京市丸之內東京驛前海上ビルデング六階、六一九號、六二十號室　電話丸之內九六〇二番　本局二二〇二番

特約販賣店　東京市麹町區永樂町　高田商會　本支店出張所

代理店　大連市山縣通百番地　日米公司　電話二二七〇・二〇四五番

代理店　朝鮮京城府長谷川町八十五番地　日米公司　電話二五三〇番



建築と社會

第四輯第參號目次

□繪△……大阪市立美術館（懸賞第一等當選）

〔卷頭〕……

◉建築と美學……

〔論說〕……

◉都市生活と住宅（上）……日本建築協會副會頭　片岡安……二

◉市街地建築物建地域、建築線、建築ゝ高サ、空地……會員・建築監督官　置鹽章……七

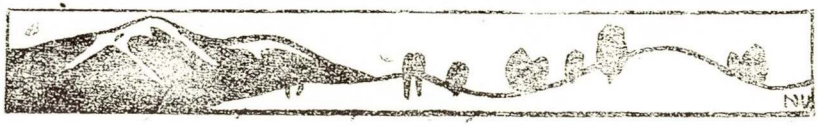
◉都市計畫の先決問題として地域の設定を論ず……會員・工學士　橫濱勉閥……一三

◉附＝大大阪の地域設定に關する私見……本誌編輯担任　田中法志稿……一七

◉都市の同化と進化……江村郊邨……二三

〔研究〕……

◉法隆寺古建築に就て（下）……會員・工學博士　天沼俊一……二八



〔都　市〕

◉將來の市加古市(10)……ウオルター・ディ・ムウディイ著……Z　Y　生　譯……三二

〔住　宅〕

◉住宅研究(三)……會員……建築工學士……葛野壯一郎……四六

〔資　料〕

◉英國住居法(一)……大阪市都市計畫部囑託……石　原　憲　治……五二

〔談　叢〕

◉坪內士行さん夫婦の理想の住宅……M婦人記者……五七

〔漫　錄〕

◉大西洋ゟ見る日まで(五)……會員・工學士……波　江　悌　夫……六〇

◉原稿生活物語(その一)……E　K　S……六六

◉表紙から思ひついて……吉村美代子……七〇

　‖◉文明と貼り付け‖

◉僕のラングトン事件……蘆　田　秋　双……七三

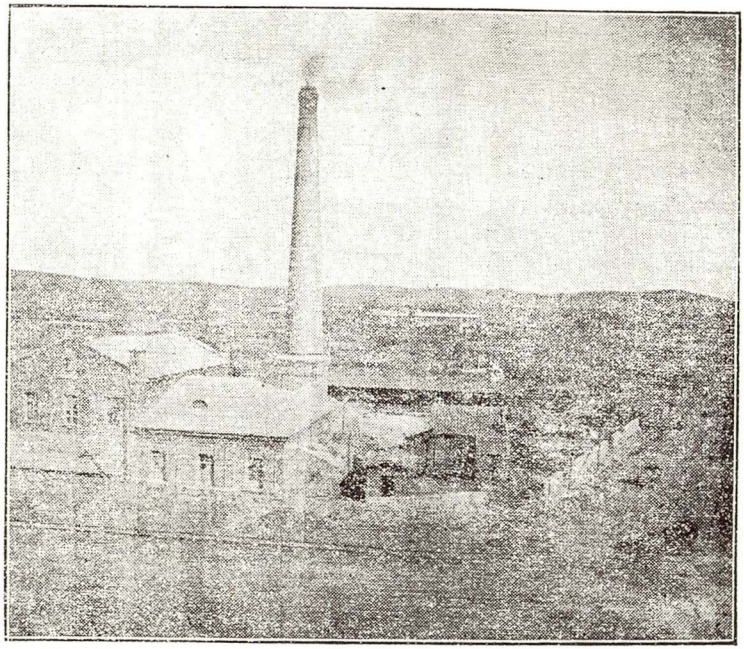
□相談欄　□時　報　□會　報

現代建築界ノ最高權威

關東廳土木課●南滿鐵道會社●大阪府廳●市役所
其他諸官省●有力土木建築設計家各位●實驗證明

顧問技師　工學士　雨宮春雄

相談役　前野芳造



營業目的

滿州産課

青色大理石、黒色大理石
鹿兒島産白色硅藻土
白色硅石及硅石粉、酸化マグネシユーム粉末、濟蒙セメント各種、雜礦石
海水石鹼

舖床材料

耐火リノリウム（專賣特許出願中）
耐水、衛生、保温、美觀、低廉

土木建築用防水劑

ホースイ（專賣特許出願中）
品質内外品ニ優リ價格低廉

滿蒙化學研究所代理店

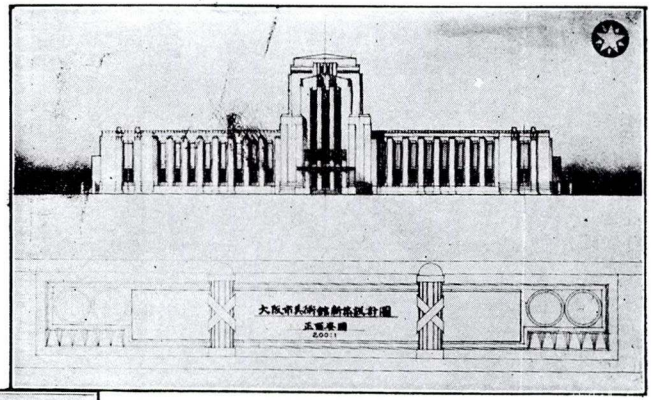
大阪市北區安治川一丁目十五番地

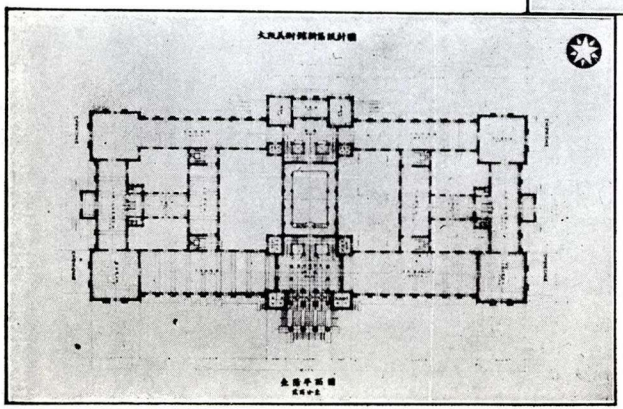
大阪耐火リノリウム工業合資會社

電話西（營業用）四五九
（長）二五五四
三六三三

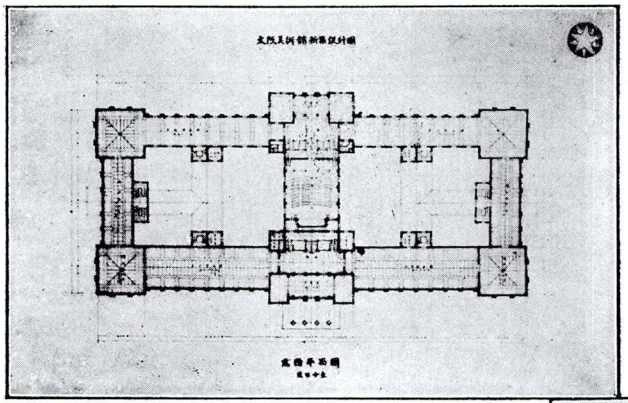
懸賞募集〔大阪市立美術館〕設計圖

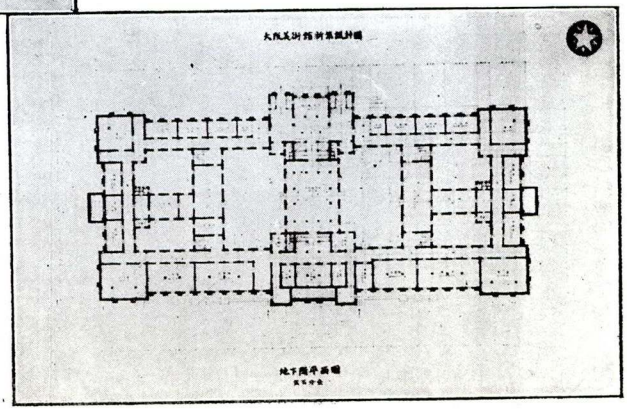
（一等當選＝＝前田健二郎氏設計）

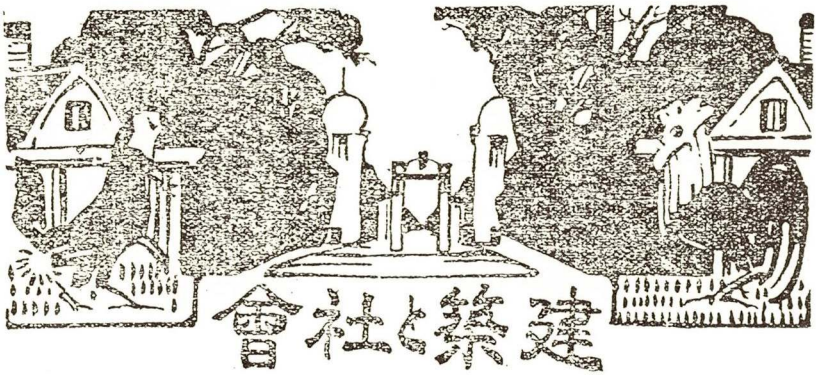




二　　其







美學と建築

美學とは、美――超感覺的なる善と眞との感覺的顯現たる假象に外ならざる――に關する學である。かくて、我等は、美學、倫理學、及び宗教の間に存する親密なる、形而上學的に基礎づけられたる、引離し難きしかも現今屢々誤認されてゐる處の關係、並に人間的認識のこの最高の三分野の等級順序と價値とを領解し得るのである。本體を映寫する單なる假象としての美は、超感覺界の階梯を示すものと謂つてよいのであるが、これは又、まだ善と眞とに到達せざる者の爲に、一つには其處に導く階梯として、一つには善と眞との代理として役立つ處の兩界に共通な野る分と謂つた方が恐らく一層適切であらう。これ蓋し人類の高貴なる部分にとつて美の觀照と、美との交涉とを又その形相と法則との研究を極めて價値あり且つ魅力あるものとする所以である。是れ亦美的教育を以て總じて人間教育の基礎なりと做す人々に對し、慥に其說の正當なることを承認しなければならぬ程に、美學問題の研究をば教養の上にも道義の念を高むる上にも有效なるものとする所以である。

――K――



論說

都市生活と住宅

日本建築協會副會頭 工學博士 片岡安

一 都市生活の意義（生活改善の促進）
二 都市生活と都市計畫
三 住宅改善の機運

一 都市生活の意義（生活改善の促進）

近代の文明は都市文明と言はれて居る程それだけ其色彩に都市的趣味と密集式形態に滿ちて居るのである。一々實例を擧げて說明するまでもなく最近に於ける都市の偉大なる其發展振りは統計的に又直覺的に其大局を示して誤なきを物語る。都市の各方面が最近四五十年間に驚くべき發展と進步を遂げねば

已まぬ狀態にあることは此處には述べぬけれども、其內容たる都市生活の意義に就て少しく之を敷衍して、近代文明人の生活改善が如何なる程度にまで進みつゝあるや、又我國の都市民の生活を如何に向上せしめねばならぬかを考へて見たい。

各國の都市に於て其國民の大部分が漸次其都市に集中せんとする傾向は近代文明の一大特徵であり、殊に其傾向が都市中の主要なるものに於て著しきを見るのは果して何に原因するかは、色々の方面より說明せねば其眞髓を得られぬのであるが、其原因の一として數へねばならぬものゝ中に都市生活の幸福と言ふ觀念が存在することは否む譯にゆかない。而して都市生活が地方の生活よりも果して幸福であるや否や、又大都會の生活が小都會のそれよりもより多く幸福なるや否やはもとより大なる疑問であるのみならず、國家の農商工業が其平均なる進步をなす爲には、都市生活が地方の生活よりもより以上幸福であると言ふような觀念を支持することは甚だ不都合なる政策であるとも見られる。近來農村生活の善美を慫慂する人士も可成りに多くなつたようであるが、田舍より都會生活に向はんとする斯の滔々たる一大潮流を防止することは出來得べくもない。其結果として倫敦や巴里の人口が未曾有の殖へ方を爲し紐育や市俄古が驚くべき大發展を現出して居るので、其都市經營の苦しき立場は想像するに餘りあるのである。而して此等の傾向を心理的に支配して居る幸福なる都市生活と言ふ觀念は、一面に於て其因を成し、他面に於て、それを裏切らんとする現象の防止を、都市經營の努力に藉つて成功せしめんとする實際的に緊切なる要求と關連するのである。

都市生活の幸福を享有せんが爲めに都市に集中する人士が、果して其希望せるが如くに從來よりもよ

り幸福なる生活を享有し得るやと言ふに、見方に依つて、或は幸福とも見られ、又不幸とも見られる。けれども、之を現代生活の意義より見て簡易より復雑に、單調より刺撃的に移り、又娯樂の機會を多くし、智識の增進を著くし、更に閑散の狀態を繁劇に變じ、あらゆる科學的設備に伴ふ利便を享有する點は、たしかに人生の幸福を增進しつゝあるものと見ねばならぬ。併しその半面に於て其刺撃に耐へ兼ぬるものを生じ、或は娯樂に耽溺せんとし、或は智識の競爭に落伍したり、科學的設備の利便を十分に利用し得ざるものを生じ、悲慘なる生活に陷る場合の可成り多きを知る時は、不幸なる都市生活として之を呪はざるを得ないのである。即ち現代の都市生活を客觀的に論じて之を極めて幸福なりと斷ずることも出來ないと同時に、之を不幸なる生活なりと見るのも餘りに偏見である。それ等の議論は何れになるとも、都市生活の漸次濃厚なる色彩を帶びつゝある現代の經濟組織に於て、其生活を最も幸福ならしめんとする努力が現代文明の特徵であると言ふように解釋するを適當と考へる。

然らば現代の都市生活とは如何なるものを言ふのであるか、其理想は如何、又其古來の生活と趣を異にする點は何處にあるや。之れ恐らく現代文明國民の已に熟知するところならんも、今少しくそれを具體的に述べて其眞意を明にしてみよう。

抑も都市生活の理想とする處は、市民一般の生活を敏活にして而も安全に且つ容易ならしむることであつて、其經濟的活動に於ても、家庭的生活に於ても、又其室內にありても、戶外にありても、常に其欲する處を最も容易に得せしむるにある。然るに、之を實際的に考ふる時、密集生活の狹する各種の不便と弊害は常に其理想を反對に引き戻すの虞あるのみならず、其程度は开が集中の度の高まるに從ひ益

々甚しからんとする傾向のあることは、吾人の最も深き注意を要する點である。換言すれば、都市生活の文化的價値を益々向上せしめんとする吾人の理想は、常に其反對の結果に陷るの危險を免れぬのである。最近二三十年前迄は、歐米の都市に於ける其市民の生活が、常に其衛生狀態に於て又其交通や住居に於て甚しき壓迫を受けて居たとは事實である。農村生活の比較的長閑に天然の美と相化し同族相倚り團欒的に樂しき生活を送るに比すれば或は悲慘なる生活狀態と言ふべきではなかつたかと思はれる。即ち、都市生活の幸福と言ふ觀念は、全く正反對の事實に依つて裏切られて居る實例が甚だ多かつたのである。殊に、三四十年前に於ける英佛の工業都市や、或は倫敦巴里等の、大都市內の貧民部落地帶に於ける悲慘なる生活狀態は著しきものがあつたので、此等の事情を見聞した者は、一齊に都市生活の改善を叫んだ程であつた。ハワード氏の田園都市を高唱したのも、英國の住宅法が生れたのも、又ボルンビルやポート、サンライトの理想的職工町が建設されたのも凡て其の理由に基いたのであることは、殆んど知らぬ者は無い程明かな事實である。乍併、此等は、都市集中の傾向が滔々する甚しき弊害の一面を表面的に觀察したのであつて、現代都市のあらゆる文化的施設の不充分なる其實質を、深く追窮する暇なかりし爲めであることは言ふまでもない。

今や現代都市に於ける其文化的設備の進歩に伴ひ、都市生活の理想は漸次に實現さるゝ時代に到達しつゝあるやに想はれる、即ち近時の產業經濟組織が要求する其都市集中の大潮流が、其一面に伴はんとするあらゆる弊害を裕に防止し得て餘あるのみならず、所謂都市生活の幸福を益々向上せしめ得る程に其文化的設備は進歩して來たのである。今試みに其設備を大別して見れば、

一　衛生的施設……給水の普及、下水系統の完備、建築の設備改善
一　娯樂及遊戲機關……公園及遊園の配備及改善
一　教育機關……學校、圖書館、研究所の普及、各種博物館及陳列館の完備
一　交通機關……街路系統の改善及鋪裝の完備、各種交通機關の進歩と其普及

等に分類出來るのであるが、其内容に於て、近代の科學の進歩は一として其の發達改善を促進せざるはないので、其結果は凡て都市生活の意義を益々深からしめ、人生の幸福を增進するは明かに之を看取し得られる。而して上述各項の内容を統一的に一大組織として之を研究し、適實なる計畫を立て、其實現を期するを以て現代政治の眞髓と見ねばならぬ、近代の文化生活は即ち其結果を享有せんとするのであつて、生活改善の運動と言ふも、所詮はそれに對する努力に外ならぬ。

近代に至り、各先進國の都市は、一齊に其都市生活の意義を理解して其改善計畫を研究し、一部は已に其實行をなしつゝあるのみならず、將來の爲めに更に雄大なる計畫を樹てゝ、都市生活の理想を實現せんと努力しつゝあるのに、我國の都市に於ては、未だ目星しき何等の施設を見ず、寔に貧弱の感深からざるを得ないのである。惟ふに、現代の文化生活を享有し得ざる文明國民ありとすれば、それは獨り我國のみである。維れ、吾人が、我國民に向つて生活改善の促進を叫ばんとする所以である。（つゞく）

市街地建築物建築地域、建築線、建築高サ、空地

會員　建築監督官　置塩章

本篇は、過般日本建築協會に於ける同氏の講演を筆記したるものに係る。――一記者――

市街地建築物法が出來ました、大正六年の終りに、法の制定の議が起りまして、芳賀博士、佐野博士等が選任され、斯くて大正八年四月に發布したのであります。其の施行令は大正九年四月公布されました、四月十七日の官報を以て、市街地建築物法は大正九年十二月一日より施行すと言ふ事が公布されたのであります。

商工業の發展と共に、人口が都市に集中致しまして、其處に建築物は非常に量を增して來る、多數の家屋が密集して來ると、市民の利害關係が重大になつて現はれて來るのであります。故に之を其の自由に發展する儘に任せば、由々敷大事でありまして、到底都市の安寧を圖り、衛生を保ち、又交通を全ふすると云ふ事は望むべからざる事であります。

住民が不秩序に、何等の制限もなく、都市が膨脹しますと、其處に之に對應する所の必要を生じて來る、如何にして指導すべきか、如何にして此の狀態を救濟すべきか、と云ふ事が起つて來るのであります。其處で、都市計畫法なり、或は又市街地建築物法制定の必要が出て來るのであります。

我々お互に都市に住つて居る市民は、例へば、工場から、惡い瓦斯を出す樣な事は實際に於ては明かには認めないのでありますが、知らず識らずの間に我々は其害を受けて居りまして、是が我々のみならず、我々の後に來る所の子孫迄が非常な害毒を受ける基となる、之を救はんが爲に、茲に一定の方針を立てゝ其れに準據して家屋を建てる

と云ふ事を建築物法が規定したのであります。此の方針を立てるのが即ち市街地建築物法の積極的の主旨であつて、此の建築物法の制限を受けると言ふと、之に對しては或る少數者は非常に迷惑をする場合もありますが、之は多數者の爲めに少數の者は犧牲にならなければならないのであります其の犧牲になる少數者に對しては、是が他の大なる利益を生むものでありますから、之に對して充分なる同情を拂はなければならぬ事と考へるのであります。而して、其の少數者に對しては、多數者は相當の慰安の方法を講じなければならぬと思ひます。

歐米各國では、既に早く此の市街地建築物法規と云ふものは行はれて居りまして、殊に倫敦に於きましては、安政二年、今から七十年許り前から此の建築物法なるものがありまして、今日まで其の効果を擧げて居るのであります。

仍で、建築物の地域の先づ必要な事は、私が茲に申上げる迄もなく、明かな事であります。住宅商店、工場、斯う云ふ種類の各種の建物が雜然市街に存在する事は、市街の安寧を害し、又交通を阻礙し、術生上害毒を流し、且つ其の都市の總ての事業に對して非常なる能率の減退を來すのであります。總ての都市に於きまして、其の都市の政策上、都市發展の爲め商工業を營むならば、其の商工業に基く所の規準を示す必要があるのであります。其の規準は何かと言へば、商業に對し、或は住居に對し、又は工業に對し、各々地域を設定して、之に依て發展して行つたならば、其の都市は最も理想的に發展するであらうと思ひます。之は外國に於きましても明かに其の有効なる事を示して居り、地域設定の爲め非常に都市の發展を示して居る例は澤山あるのであります。

住宅なり、工業なり、商業なり、各地域に對して各其の立つべき所の建物を指定しまして、其の地域内に許されない建物は許可しないと言ふ事になりますと、其處に劃然として其の各自の居所が定まるのでありまして、從つて其の各々の仕事が能く捗ると共に、都市全体の事業の上にも有利になるのであります。

今日の日本の都市の狀態では、都市の健全なる發達を期する事は出來ない、交通の上から申しましても、又美觀と云ふ樣な點から考へても之が望まれないのであります。

約り大体を申しますならば、例へば住宅地域に於きましては、大工場或は大倉庫、或は屠場、種畜場の如きものを建てる事は出來ない、十五人以上の職工を使ふ工場若くは二馬力以上の動力を使用する工場を置く事が出來ない、或は五臺以上の自動車を置く所の自動車庫は置く事が出來ないと言ふ具合に、住宅地域の安寧を保つ爲め嚴重なる規定が設けられて居る。

商業地域に於きましては、非常に規模の大なる工場で殊に商業の發展を害する樣なものは建てられない、乍併水道のポンプとか、或は新聞社などは非常の大工場を有して居るが、之は其の事業上に敬意を拂ふと同時に、一面に於て商業家なり市民の利便に供せられるものであるからして、斯の如きものは置く事が出來ると言ふ除外例は設けてあります。工業地域に於きましても、特別の場合例へば火藥製造とか、燐寸製造等の如く公衆の安寧に歸するものは、特に地區を指定して之を設けさすと言ふ具合になつて居るのであります。之れ抔は工業上に於きましても、商業上に於きましても、非常な制限である樣に見へますけれども、一方から考へれば、彼の淺野セメントの工場や、春日町の發電所が市民から移轉を迫られると言ふ樣に、他日再び動かす必要がないと言ふ有力な權利を得るのでありますから決して之は不利な制限であるとは認められないだらうと思ひます。外國に於きましても、既に三十年前獨逸のフランクフルトでは大規模に是が行はれたのでありまして、其の爲め同市は非常なる發展をしまして、今回の大戰に際しても非常なる能率を發揮したのであります。

地域の事に就ては大体是だけに致して置きまして、次に建築線に就いて少し申上げます。

建築線は市街構築の規準を示すものでありまして、建物は總て此の建築線に準據してやらなければならぬ、非常に有効に働くものであります。其

の一例を申しますれば、急ぐ場合、火事があつて道路を指定しなければならぬ道が無いと、建築條令に據て建つべき所を示し、從つて是が街路の標準を示す事になるのであります。斯う云ふ譯で建築線が指定さるゝと云ふ事は或る意味に於ては不便に感せられるが、一方に於ては便利の事になるのであります。建築線の位置は普通の場合に在りては道路の境界線と一致すべきが原則でありまして或る程度まで後退する必要が起つて來るだらふと思ひます、又建築の敷地は必ず建築線に添ふて建てなければならぬと云ふ事は本法の目的になつて居りますが、建築線の設定がない時は、我々が家を建てたいと思ふならば、先づ第一に建築線の指定を乞はなければならぬのであります。

建築線を設定すると云ふ事は、距離を後退する事が出來る、乍併都市の地價は非常に高いものであるからして、道路の境界線に成るべく近く持つて來て建てるのが、普通であります。特殊の道路或は美觀地區などの道路に於きましては、特に建築線を定めて壁面は一々此の建築線に據らしむる場合もあります。例を申しますれば、仮に堺筋に於きまして、一ッの家を建てる場合に建築線を指定して其の壁面は總て建築線に接するを要すると云ふ規定を設くる事も出來ます。斯の目的は無論明かに其の市街に建つ樣な建物の凹凸を避くる精神として一の規準に據らしむると言ふのが一ッの目的であるのであります。

それから此の建築線指定の事に就て建築線と敷地の關係を一寸申しますれば、市街地建築物法に於きまして道路と稱するものは九尺以上の道路を稱して居るのであります。九尺以下に道路は無いのであります。歐米の例に於きましても、建築線の指定と云ふものは、色々六ヶ敷い規則があつて建築線の位置敷地の境界線と一致する場合と、後退して指定する場合と此の二ッの方法を採り、後退する場合に對しては何尺を後退すると云ふ事は同樣に申す事は出來ない、大阪なり、京都なり神戸なりに依りまして二尺五寸、三尺、場合に依て六尺と云ふ樣になるであります。

次に高サに就て申しますれば、市街地の建築物

の高サの制限と云ふものは、衛生上或は交通上、或は保安上、災害防止上非常に必要なものでありまして、歐洲に於ても高サは規準されて居ります米國に於ては從來高サの規定が無かつたのでありますが、七八年前から矢張り制限を設ける樣になつたのであります。

都市の建築物の高サの制限を大体分つて三ツにする事が出來ると思ひます、其の第一種のものは即ち構造強度などから來た樣な制限であります、之は無論保安衛生上の必要から起つたものでありますけれども、大体の建物に就て申しますれば先づ第一に我々の最も危險を考へる所の木骨煉瓦造或は木骨石造と云ふものは、御承知でもありませうが、建築物としては一番弱いものであります。斯う云ふ種類の建物は其の高ヲを二十六尺、全体の高ヲを三十六尺と定めて大体二階の構造に止めると云ふ事になつて居ります。第二は日本の今日の經濟狀態に於て最も多く行はれて居る木造建築に對しては其軒高は三十八尺總高サ五十尺、大体之は三階造りまで許可するが、夫れ以上は許可されない、第三には煉瓦造或は石造及コンクリート造、斯う云ふものは軒高五十尺、全体の高サが六十五尺を限度とする、之は目的は何かと云ふと、此等の建物は火災とか、風災と云ふ事には相當するが、震災には比較的弱いと云ふので、大体四階を以て限度として居るのであります。其他の鐵骨煉瓦造には制限はないのでありますが、矢張り法律の最高限度に於きまして、百尺を止めと致して置きます。

最後に建築の空地に就て申しますれば、一ツの敷地に家を建てるに、空地は必要なものでありませうが、此の空地の多少に依りまして衛生上保安上に重要な關係を有つのであります、故に本法に於きましても空地に就ては相當考慮を拂つて居ります。一例を申しますれば、住宅地域に於ては其の敷地の十分の六までは家を建てゝ宜い、商業地域は十分の八まで建てゝ宜い、工業地域に於きましては十分の七まで建てる事が出來ると言ふ事になつて居る、即ち住宅地域に於きましては十分の六と言ふ具合に非常に空地を明ける樣に嚴重にし

て居る、之は其の目的が始終其の處へ住つて居ると云ふ事から衛生上保安上より考慮して制限を加へて居るのであります。

尚ほ一言私の感想を附け加へて申述べたいと思ふのであります、本法が制定せられたと言ふ事は市民諸君の相當の權利の制限になつて來るのであります。之に對して市民諸君の中で御不滿に考へる者もありませうが併しよく〳〵考へて見ますと此の市街地建築物法なるものは一方から見ると、非常に積極的な規定であると思ふのであります。之を工場法に比較しますと、工場法なるものは主として内部に就て規定してあるのでありますが、建築物法は工場なり建物なりが、如何に外界に對して害を及ぼすか、之に對して如何に其れを防止するか、如何に之を制限したならば宜いかと云ふ事を凡て積極的に考へて居るのであります。でありますから今日に於ては或は不便を感ぜられませう、乍併皆樣の子供さん、其のお孫さん、今日の大阪市民、或は今日以後の大阪市民が非常なる便利を得らるゝ基となるものであります、衛生上にも、交通上にも都市の發展上に非常に有利になると云ふ御諒解を以て、此の建築物法を擁護して此の法の精神を發揮し得る樣に皆樣の御盡力を仰ぎたいと思ふのであります。

建築法規の三大眼目

全体より見れば建築法規の最大論點は、建物の高さ建物と空地との割合及び防火構造の三點にして、此研究は決して一部の人士に依つて粗忽に專斷するべきではなく、殊に之を輿論に問ひ社會の進歩都市改良より考へ恒久的に其基礎を定めねばならぬ。

構造の詳細部分に對する規定は、建設主側の技師と監督官廳技師とが、取扱ふべきものである。唯衛生上の諸問題は之を建築法規に於て、取締るか衛生保健法に於て規定するかは問題であつて、歐米各國に於ても必ずしも一定せず兩々相俟つて其れが實行を期して居る。

見解を異にした場合の裁斷に過ぎない。故に必要な條項ではあるが小目として、

都市計畫の先決問題として地域の設定を論ず

附＝大大阪の地域設定に關する私見

會員 工學士 横濱勉閣
田中清志稿

○都市計畫と地域の設定

地域の設定が都市計畫の實行に於て、如何に重要な問題であるかは、都市計畫の目的と、これを達するに必要な事業は何んであるかを稽ふれば、自らこれを識ることが出來る。即ち市民の不安を根底から除き、進んで其生活を改善し以て都市としての能率を增進するのが都市計畫の目的でありこれを達する爲めの種々の施設が其主な事業であるならば、如何にしても市民が常に氣持よく棲息する住居の場所と、日々活動すべき會社、工場、商店等の場所とを豫め區分し、それ〳〵これに順應する萬般の施設を計畫するに非ざれば、到底これを完ふすることは出來ないのである。

例へば交通運輸の施設並に改善の如きは、我國凡ての都市が最も緊急問題として着手せる事業であるけれども、其系統、設備は必らずこの地域制に適合したものでなくてはならぬ。即ち地域制に依つて自ら定まる可き性質のものである。

煤烟問題、住居改善、上下水道設備、公園遊園の配置、一般の衞生施設の如きも、地域の制定を俟つて初めてその弊害は除去せられ、理想の計畫は樹て得られるのである。

天災地變に對する防備としての建築物の構造は用途の制限、市の內外隨所に散在して絕えず危虞の思ひを與へて居る諸工場の位置などは勿論のこ

と、あらゆる保安上の計畫も、必ず此地域の制定に俟たねばならぬのである。

種々異れる目的を有する建築物或は設備が、何の秩序もなく頗る亂雜に櫛比しつゝある我邦現在の都市は、其能率に於て國家的不經濟の誇りを免れぬ、これも亦地域制と交通運輸系統の確立によつて充分に其能率を高める迄に誘致することが出來る。

地域制といふのは即ち斯くの如き施設を最も容易ならしむる爲めに土地利用の種類に依り豫め都市區域を數種に分別し、各區分に對して種々の制限、保護を與ふる制度を謂ふのである。從つて地域制は都市計畫中の重要問題であり、根本問題であり、且先決問題であらねばならぬことが判る。

予は斯の問題の解決を見ぬ間は他の計畫は徒に姑息的たるを免れぬと思ふ。換言すれば、徹底せる都市計畫を樹てんとせば先づ斯問題の解決から始めねばならぬを確信する。

○歐米都市の地域制

今、茲に歐米に於ける地域制の沿革と、これが如何に取り扱はれて來たかと言ふことを述べて見やうと思ふ。

抑々地域制を初めて設定したのは、獨逸のアルトナ市、ケルン市及びフランクフルト市であつて今から約三十年以前の事である。

其後墺太利、瑞西、スカンヂナヒア等の都市に採用され、これが米國にも傳つて一九〇九年にはロスアンゼル市之れを施行し、一九一六年紐育市にも建築制限調査委員會に依つて之れが制定を見セントルイス市も相嗣いで實施した。これから非常な勢を以て各都市に傳播し、米國では州の法律として州内の稍大なる都市には總て地域を制定することを規定してゐる處も尠くない。例へばウ井スコンシン州の如きは人口二萬五千以上の町には總て住居地域を制定する規定を設けて居る。

今最も早く制定された獨逸のフランクフルト、アム、マイン市と、最も徹底的であると稱せられるセントルイス市の地域制に就いて聊か述べて見やうと思ふ。

フランクフルト、アム、マイン市の地域制は一八九一年に制定せられたもので、市の中樞部なる一區域をインネン、スタットと稱して居る（これは市成立當時よりの舊市街で面積も極めて狹く別に地域の名稱を附して居ない）次に市部はこれを內方地帶と外方地帶に二大別し、更らに內方地帶は住居地域と混合地域の二つに分れ、外方地帶は住居地域、田園住宅地域、混合地域及び工業地域の四つに分れて居る。尙此外に市の外部には郊外地帶がある、此等の地域に對しては複雜な建築制限規定が設けられてあるが、要するに住居地域は住民の安寧を保持し、特に田園住宅地域は獨立住宅に充つるの地區である。工業地域は專ら大工場の建設地であつて工業能率の增進を主眼とし、混合地域は住宅、商業、工業其他の混合地區である。

セントルイス市は全市を第一種住居地域、第二種住居地域、商業地域、工業地域及び無制限地域の五種に分劃し第一種住居地域は專ら一家族專用の住宅及び醫院のみを許し、第二種住居地域は一般住宅、共同住宅、旅館、敎會堂、俱樂部、學校病院、旅客停車場、溫室の外は建設を禁じて居る。商業地域は主として事務所、問屋、小賣店、劇場類、警察署、消防署、郵便局など雜多な職業の建設地に充て、製造工場でも小規模のものは許して居る。工業地域は危險性、有害性物品の製造は貯藏以外の一般工業の建設地に充て、無制限地域には何等の制限もないのである。

セントルイス市の地域制はフランクフルト市のそれに比し、地域分劃の方法は細く局部的に渉り其制限も非常に徹底して居るのである。

○地域制定の要件

今、地域各々の性質並にこれが具備す可き要件を明かにし、僅か地域制定に關する一標準を示さんと思ふ。

（イ）商業地域

商業地域の制定に關しては、先づ特貨需給の狀態及び其趨勢を商業機能に就いて調査せねばならぬ、工業を以て立つ都市と雖も其發達衰微は商業的機能の如何に左右されることが多い。商業地域

は商業的活動を敏活ならしめ得る位置にありて、高層建築に懸念なき地質を有する土地にあり、而も工業地域の煙害と騒擾から離れ、それと不斷の連絡を有する地區たることが必要である。現在土地の利用狀態及び習慣に依て其傾向を知り、現在物貨運轉移動の方向と其量とを精査し、既往より將來を通觀することにより位置を選定し、公共的建築物の敷地及街路、小公園等の必要面積其他に商業的建築物の所要面積の推定を加算することに依り、概地域の廣袤を求め、公衆發展、群集遲滯等の研究により其設備分布（市民の娯樂機關たる劇場類、日用品供給の唯一路たる日用品市場、都市と自然とを結合する唯一の鎖たる小公園）を明かにし、これに基き將來の完備を期すべきである。

貸座敷などの特殊商業にして風敎上の顧慮を要するものに就いては特に其位置に關し研究を要するは論を俟たぬ。

要するに商業地域は都市をして最も有機的活動をなさしむ可き機關ならしめねばならぬ。

（ロ）工業地域

工業地域は工業能率の增進と、他の地域に及ぼす害毒の防止を主眼として定めらるゝものなるが故に、先づ原料及製品の運搬に對して、水陸運輸の便を併せ得ることを要す。工場の分布が内外何れの都市に於ても、水邊（河、海、運河など）に於て最も多き所以も茲にある。次に動力及び飲料水作業用水の供給に容易であつて、其位置は他の地域——殊に住宅地域——に隣接し而も住居の安寧を害し、商業の活動を妨げ、或は工場煙突よりする煤煙がこれ等の地域に飛散するの風向にあつてはならぬ。譬へこれ等の條件を具備するとも、土地濕潤にして非衞生的であり、又は大工場、大動力の荷重に耐へぬ地質は好ましからぬ。殊に名所舊跡を侵し、或は其風致を害する位置は絶對に避けなければならぬ。

位置と共に其規模（所要面積）に就て考へる必要がある。これが爲めには各種工業の發達變遷を精細に調査し將來を洞察し（例へば累年の職工數の移動、工場數の推移、出來得べくば工場敷地の增加率、各種動力及石炭消費量の變遷、各種工業の

傾向等を研究し、或は全人口の職業別割合を求むるなど）以て所要土地面積又は割合（都市計畫區域中の工業地域の率）などを算出すべきである。尤も工業は殊に經濟界の波動に依り影響を受けるものであるから其邊も忽せにしてはならぬ。

尚此工業地域内に特種工業地區を制定する必要がある。即ち工場法の適用を受けつゝある特別工場の類、危險物の製造及其貯藏庫等保安上特に危險の虞大なるものを一括する特種地區である。其位置は突發的事變に對して他に及ぼす影響の少きは勿論、それを誘致し又はそれが擴大する如きことなき樣、面積の如きも其機能を殺がぬ程度に於て成る可く狹きを可とする。

（八）住宅地域

住宅地域は住居の安寧と爽快を主なる要項とするそれが爲めには如何なる條件を必要とするか言ふに、抽象的に次の四項を擧げ得る。

第一、**衛生**　工場の煤煙と騷響を離れ地位高燥にして空氣清く、日光の透射よく、地質並に水質よく、下水道の完全なる設備容易なること。

第二、**交通**　日用品の供給を初め、日常の生活に至便なること。

第三、**風敎**　子女の敎養上危虞なきこと。

第四、**風光**　地勢の變化多く、樹木點在し、流水清澄にして見晴し好良なること。

則ち地勢に依り大略限定されるのであるが、斯かる理想の地は何れの都市にも其多くを求め得べきものでないから、諸般の設備を補充して緩和せしむるの必要がある。

『フオルウエル』氏は「都市の住居地域は都市面積の三分の二を必要とす」と言つて居る。又海外都市の地域制を見るに何れも三分の二内外を住居地域として制定してゐる。殊にロスアンゼルス市の如き九割は住居地域である。併し我國の都市に於ては未だ商家は商店と住居を兼用しつゝあるが故に、それ丈のものを今直ちに必要とするか〳〵問題であるが、將來に於て亦斯く到るべきを考慮する必要はあらう。

○地域制定に關する調査

さて各地域は如何な基準に依りて定むべきか。言ふ迄もなく先づ其都市の性質を知らなくてはならぬ。即ち商業都市には商業都市として、工業都市には工業都市としての各々異なつた發展誘致策（助長設備）が存するのである。即ち土地、建物、氣象、人口、交通、衛生、學事、宗教、農工商業貿易、金融、財政、經濟等に就いて一般市勢の趨向を知ることが必要である。次に地勢及び氣象（殊に風速、風向）の精査に依つて各地域の適、不適を窺ひ得るのである。

各地域の綜合的區劃に對し、現在土地の使用狀態を知ることは一方其位置系統を解し、他方全面積に對する割合の標準を見ることが出來る（これは累年の職業別人口に依つても可い）又最近に於ける土地開發の狀態（土地建物會社、私設電車等の計畫など）を知る時は大凡其傾向を知ることが出來る

今地域設定に對し必要なる調査事項を列擧すれば左の如くである。

（一）土地に關する調査

地勢、
地質及土壤、
土地總覽（官民有地種別、坪數は百分比）
現在空地調（實坪及其狀態並に分布）
現在土地の使用狀態、
土地に關する他の計畫、
水面使用の狀態

（二）氣象に關する調査

氣候の變化、
風速及風向、
雨量、

（三）人文に關する調査

人口增加の趨勢、
人口密度の變遷、
死亡率及出產率、
職業別人口の推移及其分布、
晝夜別人口分布の狀態、

（四）建物に關する調査

構造別建物分布の狀態、
商工業的及公共的建物の樣態及其分布、

住宅及住居人の狀態、
不良地區(細民部落、特種部落)の狀態、
倉庫の數及分布並に其許容物品、

(五)交通に關する調査

街路、電車、汽車による人、車、貨物の交通量及其經路、
河港出入船舶及積載人、貨物の量及其經路並に繫船狀態、
街路系統及交通機關の運轉系統、
各種車輛の增加及傾向並に其分布、
時間帶

(六)工場に關する調査

工場の種類、
各種工業の發展狀態及傾向並に分布、
各種動力及石炭消費量の推移及現在動力の供給狀態並に分布、
煙突(高、口徑、構造)及其分布並に煤煙と其波及範圍、
煤煙の降下密度及人畜草樹に及ぼす影響、
特別工場及危險物倉庫、

○大大阪の地域案

終りに、予は以上開陳せる處に基き大大阪の地域設定に關し一私案を述べんと思ふ。

大阪は言ふ迄もなく商工業——殊に製造工業——を以て生命とする。我國商工業の發達は大阪を膨脹せしめ、大阪の膨脹に依りて我國の商工業は益發達すと言ふも過言ではあるまい。(全國工場數の十一%、職工數の十%は實に大阪に存在す「農商務統計表」)大阪市の降煤量は一ヶ年一萬噸を算し倫敦のそれを遙かに凌駕す。(煤煙防止研究會調査報告)是れに基りて見ても工業都市たることは首肯される。故に大大阪の地域制は第一に工業發展策てふ基礎の上に立たねばならぬ。次で製品取引地たる商業地域に就いて考へ、然る後徐ろに住宅地域の選定を爲す可きである。

今大大阪の地域を制定するに際して、便宜上全區域を內方地帶と外方地帶とに分ち、北、新淀川より東及南は城東線に沿ひ、西は泉尾、市岡、春日出、傳法各町の圈內を假りに內方地帶とし、其

餘を外方地帶として置く。而して內方地帶は現在大小家屋の櫛比せることゝて、理想的地域制を布くべく甚だ困難であるから、單に整理に止め、外方地帶には萬全を期して制定するを得策とする。

內方地帶中、新淀川南岸より淀川、安治川沿岸迄の地には現在大小の工場數多散在して、北大阪は煤煙に包まれ（洗濯屋の有在を不可能ならしむる程までに）つゝあるに見ても此地の工場に適することが知られる。仍て長柄運河沿ひ約幅百五十間及傳法、西九條町の一部を工業地域に指定し、これより市郡界迄の地を混合地域、其以南を商業地域とす。

大阪の風向は北及北東よりするもの最も多けれども、中間に混合地域介在すれば商業地域に向て煤煙の飛來するは稀なる可く、又騷擾をも逃れ得るであらふ。（通常煤煙の波及範圍は十町以內である「煤煙防止研究會調査」）

次に九條、難波に多數散在せる小工場は外方地帶迄退去するを至當とする。元來此地に工場の存在を許すべき性質のものではない。工場としても亦不便ではあるまいか。只木津川は將來商港として發展の見込みもなければ大正橋以西兩岸約幅百五十間づゝ之を許し、他は商業地域とする。

住宅地域には大阪監獄跡より東、西寺町、淀川兩岸（櫻宮、網島及其對岸）及大阪城高臺を南へ（東は霞町玉造線三十間手前迄、西は寺町迄の間）茶臼山に到るの地を充て、他は總て商業地域とするのである。

大大阪の地勢は大阪市を中心として、東及北は市內より猶低く、其低地を經て初めて高燥地に達するが故に、外方地帶の地域分劃は北、神崎川の改修を見込むで其兩岸約百五十間宛の範圍及佃以西を工業地域とし（此內海邊に特殊工業地區を設定す）千里山及岡町、豐中一帶を住宅地域とし、吹田、服部、豐中及十三の四點に日用品供給其他の爲め、又十三より服部を經て豐中に、服部より吹田に、吹田より大阪に通ずる幹線道路の兩側約五十間づゝを商業地域とす。

新淀川北岸十三附近は工場地として發展の見込みもなく、目下二三土地會社に依り中流住宅の建

築も進捗してあれば、旁々水源地保護を兼ねて柴島より稗島迄の地を住宅地域とし、他は混合地域とする。

西は現在大阪築港及櫻島、鶴町一帶の地を貿易地帶(即ち商業地域)とし、春日出、九條、泉尾より各々の地に通ずる主要道路の兩側約七十間づゝを商業地域に充つる外、概ね工業地域とし、內方地帶に接して少しく混合地域を設けるに止める。

木津川沿岸、津守村より住吉浦沿ひ一帶は港南電車認定線(兩側約三十間づゝを商業地域とす)迄を混合地域とし、現在阪堺國道亦兩側約三十間づゝを商業地域とし、兩街道の中間は現在街道以東田邊町迄の高臺を住宅地域とする。

津守村及敷津村、墨江村の海邊に工場併び立ち住宅地域を襲ふ煤煙の防止策としては十三間川を改修し、斯の地に工業の發展を期すると同時に、大堤防を築き防風林を設くることに依り幾分緩和を圖り度い。

東方は寢屋川を改修し兩沿岸を工業地域とするの外、守口、森小路、善源寺、生野、小阪、平野鄕、八尾、田邊の地及幹線道路兩側約五十間づゝを商業地域とし、小阪、平野鄕以東を住宅地域とする外他は姑らく混合地域に止めるのである。

要するに、各所につき相當の理由はあるが、複雜を避け大體の系統として、工業地域は南より海岸及新淀川、神崎川に沿ひ北に廻り、商業地域は內的の商業と外的商業に分け、路線により連絡を保ち住宅地域は北大阪より高臺を南へ大和川に到る、千里山、岡町、豐中のものは高級住宅に充て、十三附近のものは中流以下の用に供することとする。

今各地域の割合を見れば、工業地域二十%、商業地域二十%、住宅地域三十%にして、混合地域は三十%である　混合地域の餘りに多き感あれども東部のもの及北部のものは概ね商業的開發を見るべく、西部のものは工業的發展をなす見込みであるから純然たる混合地域は僅少となるであらう。

大正七年末大阪市の職工數は全人口の十%(十六萬五千餘人)、工場敷地は全面積の十二%(二百十二萬坪)である、依つて大大阪の工業地域として二十%は其當を得たるものと見るべく、且大

阪の工業は染織工業(四十%)、機械工業(三十一%)を大部分とする關係上、河海に隣接せる位置を最も適當と認められる。

住宅地域の外國都市のそれに比し僅少なのは、我國の商家は當分尚住宅を兼ねる關係上、當面の問題としては敢て支障を生ずること有るまじと思はるゝが、將來に於ける懸案としてはこの地域の補足として郊外地帶に於て區域を擴張することは敢て至難であるまいと信ずる。

茲に住宅及商業地域が風向上、工業地域の煤煙より絶對に脫することを得ぬは頗る遺憾とする處なるも、工業を以て生命とする大大阪に於ては萬止むを得ざるの缺陷と許すべく、且又一般工業が將來に於て動力としては電力や瓦斯を使用すべく他方に於ては煤煙防止方法の如き案出されるの遠からぬを信ずるものである。

地域設定に關しては、尚幾多の異論あるべけれども、大體の標準を提示して敢て識者の高敎を切に俟つことゝする。(了)

◎　◎　◎　◎

佛蘭西の花園街市

佛國ドーゼルの花園市街は二百二十四軒の部落を有し、尚百五十の住家を備へ道廣く家美にして頗る壯況を示す住家は千六百二十一圓四十錢を要し、家賃は七十七圓四十錢を當然とすと雖も之を三十圓十八錢六厘に止むるを通例とす。故に、居住者は四十七圓二十一錢厘四丈け生活の費用を減ずるを得る計算なり、是を英國の日光港花園市街の例に倣ひ、家賃の餘額を租稅公課及修繕費を、償ふに止めたるの結果也。

都市の同化と進化

本誌編輯擔任　江村郊邨

群體生活と其焦點

非競爭の「相互扶助」

對競爭の「相互扶助」

狗子（いぬころ）一疋の飼養にすら、其處に、食料問題もあれば、保健問題もあり、犬舍の家屋問題もあれば保安問題もある、一個人として、由來問題の多い人間には、都市の如き群體生活の、殆んど望洋の歎に禁へない程爾く問題の多いのは、蓋し、自然な理數であらう。而して、若も群生々活が團體生活者の本能的傾向なりとせば、人間の群體生活を徴象する處の『都市』其ものゝ膨脹、即ち、有機的に都市を觀て『都市』其ものゝ生長發育は、斯の本能の關係より生ずる自然な傾向である。されど、斯る集中的な又は群生的な傾向を有することは、勿論、無目的な本能の發露ではなく、其處には、共通なる一つの焦點を有してゐる。斯の焦點が、都市觀念とも成り、社會觀念とも成り、國家觀念とも成り、進むでは、超社會、超國家觀念たる處の『愛』の結合による人類的觀念とも成るのである。而して、此處に、共通なる焦點とは、以上の各觀念を通じて同樣なものと云ふのではなく其處に、多少とも、群體生活の種類に由りて其焦點を異にするは勿論な事であるが、或る焦點に集中する處の有目的な群生々活たることは、其共通なる事實である。斯の共通な目的に向つて進化せむが爲に、其群體——例へば都市其ものゝ如き有機的個體の維持及發育を爲すべく其都市民相互の分業的又は共同的動作の如き、之を抽象的に云ふたのが例のクロポトキンの所謂非競爭の『相互扶助』、ダアウキンの所謂、對競爭の『相互扶助』である。而して、都市を內面的に觀て、都市を形

成する處の個人の群體は、都市夫れ自身を有機的な生活體たらしめ、即ち、單に比喩ではなく、實際に『都市』なる生活體を産みて、之を維持し發育せしむる處の生活細胞としての都市民なる個體は、勿論有目的に共通の焦點に向つて結合せるものであつて、其焦點は、其都市民各自が明確に意識すると然らざるとに拘はらず、事實は、相互扶助に賴る處のより高級な文明或は文化の生活に對する慾求である。斯の焦點が、實に、個人的歷史と利害と思想と感情の異り、其他雜多なる特殊な人々をして、或る都市民てふ共同の生活に一致せしむる所以である。而して斯の都市生活の共同目的を外部に發露する形式の奈何に由りて、所謂工業都市、商業都市、乃至は文化都市抔と稱へられるのである。

統一された都市精神と生活形式

異人種の寄合ひ世帶
是れ正さしく不可解

所謂、宵越の金に江戸ッ兒を矜つた今日の東京市民も、其昔、太田道灌によつて拓かれた武藏野の遺利を目指して聚つた先祖達と等しく、謂はゞローカルカラーの人として、異人種の寄り合いである。日本の最大工業都市として、曾ては日本のセキスピヤを生じ、亦幾多の鴻儒を産じて、文藝都市の矜りを有せし我大阪都市も、屹粹な浪華ッ兒としては、纔に船場の猫額大な一偶に余喘を留めて、——それも最早餘程混血的に——、今や、大大阪都市の矜りを有つて立てる人達は、等しくローカルカラーとしての雜多な異人種である。斯の人々は、國際的に祖國ともいふべき各異れる處の鄕土を有してゐる、而して亦異つた感情と、動ともすれば相容れない利害と、祖先以來淘冶されたる特殊な慣習と、兎もすれば衝突を起しさうな思想とを有してゐる、けれども、斯る人達によりて有機的に形成され生活してゐる處の『東京』都市にも、『大阪』都市にも、都市として統一されたる處の特有な其都市精神と生活形式を有してゐる維れ、寔に解すべからざるように想はれる。亞米利加の都市は一層斯の傾向が激しい。先づ、世界

大都市中の第二位に當る紐育は、其包擁人口約五百萬中、獨逸人は其祖國の最大一市たる漢堡や伯林を除いて世界中最も多く、猶太人は曾て彼等の祖國たりしパレスタイン府のそれよりも多く、ボヘミヤ人は、プラーグ府に於けるよりも、伊太利人は、羅馬のそれよりも多い。今より十二年前行はれし國勢調査の示す處に據れば、亞米利加主要都市中、外國人又は外國人血統者の混住が、百分比例にして、紐育とミルウオーキー市とが各七八・六、市俄古市が七七・五、クリーブランド市が七四・八、ボストン市が七四・二、デトロイト市が七四・〇、バファロー市が七一・三、ニューアーク市が六九・九、ジャーセー市が六九・七、桑港が六八・二、ミネアポリス市が六七・二で、紐育だけでもマルベリーベンドの學校生徒だけで二十九箇國の異人種が在學し、紐育市内で日常の使用語が實に三十六箇國、四十六種の外國語の日刊新聞が發行されてゐるとのことである。けれども、之等の都市は、都市それ自體として、それ〴〵一箇の都市的生命を有し、統一されたる處の都市思想、都市感情、又は都市としての意思を有してゐる、是も等しく解すべからざる事のようである。

併し、普遍的に云ふならば、彼等には、都市としての生活體を組織し、斯の生活體の中に作用して、都市民各自が其生存を最も文明的に、最も文化的に經營しようといふ、斯の共通の焦點に統一され制御されて、此處に殊異な者が共同な者となるのである。斯の共通の思想が仍ち都市其ものゝ生命であり、而して、斯の生命が種々な形體を取つて外部に發露されるのが、乃て都市其ものゝ意思であり思想であり感情である。斯くて、其都市民各自の關係は、斯の共同の目的の爲に、各自が分業的の操作に從ひ、其足らざるを補ひ、弱きを助け、短きを足し、竟には、各自の利害を斯の共同目的の爲に忍抑し、或は進んで之を捧ぐるが如き、是ぞ都市社會生活としての相互扶助である。斯くて、斯の相互扶助は『都市』の生活機能其ものだ、とも云ひ得られる。

『都市』の成長と作用

生物體を通ずる原則

都市自體の同化作用

以上は、生活體としての現代都市の發生及成育を云つたのであるが、斯く生活體たる以上は、即ち眞に有機體たる以上は、都市それ自體も其成長といふ事が有るべきと同時に、其作用がなければならぬ。蓋し、生物に通ずる原則は、等しく生活體たる都市を支配（コンロール）すべきが自然であらうと想はれる。而して、都市の成育に於ける作用は、實に、所謂『同化作用』である。我等個人が、自己以外の或ものを自己に攝取して、生理的には其個體の發育と成り、心理的には、其精神の向上となるが如きは、仍ち此處に所謂同化作用であつて、人類以外の動物には、唯肉體的同化があるのみであるが、兎も角、同化作用は、生物を通じての生存及發育に關する原則であらう。而して、有機的都市にも、確に斯の同化作用が行はれてゐる。先づ、之を徵象するもの、一つは、實に、都市の人口的或は富力的膨脹其ものである。蓋し、都市は、或る共通な焦點に、歷史、習慣、思想、感情、利害等の異りたる異人種又は或意味に於ける異人種が集中し共同せるものなることは、前に述べた通りである、而して、同樣に、殆むど其凡てに於て相容れざるが如く見ゆる人達が、都市集中生活をなして、茲に共都市民として融溶され、渾化される事實、即ち其共通の焦點に吸收されて、斯くも都市民としての思想、感情等を陶冶され、是が、軈て、都市自體の發展と成る事は、確に、生物たる都市の同化作用である。之を、我東京、大阪其他主要都市の著しき發展の事實に觀るも、容易に首肯し得られる。殊に新興亞米利加の如き、實に張膽すべき事實を示してゐる。即ち、亞米利加の既往十年間に於ける都市人口の增加率は、村落の十分の三に對して、都市は實に十分の七を增し、千九百年より十年間に於ける全米國人口は二割一歩を增加せるが、同期間に於ける都市人口は、三割四分八厘を增してゐる。而も、ニューイングランド區域に於ける人口の五分の四、中央大西洋區域

に於ける總人口の十分の七、又、紐育州の總人口の五分の四が、實に都市居住者でありとの事である、維れ確に『都市』の同化的發育を窺ふに足る事實ではあるまいか。斯くして、近代の都市は、增々異常なる生育を遂げ、殊に、都市民の生活條件を改造し、轉て都市其ものゝ生存及發育を一層助長すべき處の條件とも見るべき都市計畫の如きは、增々都市の發育的膨脹を促進することゝ想はれる、是れ轉て都市進化としての一方面ではあるまいか。併し、劣等な生物には機能的に其進化こそあれ、所謂精神問題としての進化最なく、最高等なる生物としては、人類にこそ斯の兩方面の進化があるように、其群體たる都市其ものにも、單に機能的進化ー、例へば都市諸般の物的設備の如き化進は殊に近代に到りて著しきものあるが、都市精神としての進化は遺憾ながら機能のそれにも及ばない。維れ、漸く都市文化政策の段に議せらるゝ所以であるが、動もすれば、斯の方面に向つて助長政策即ち進化を與ふるの方法に於て、都市の肉體的進化ともいふべき外形的諸設の施設に比して甚だ弱きを惜む。生物なる『都市』の衰亡興廢は、啻に經濟的關係にのみ問題を有しない、其中心は、實に精神的進化の奈何に在ること、羅馬の滅亡は今に尙ほ新に其眞理を語つてゐる。

自由は余の主義なり、
進歩は余の法律なり、
理想は余の模型なり、

（ユーゴー）



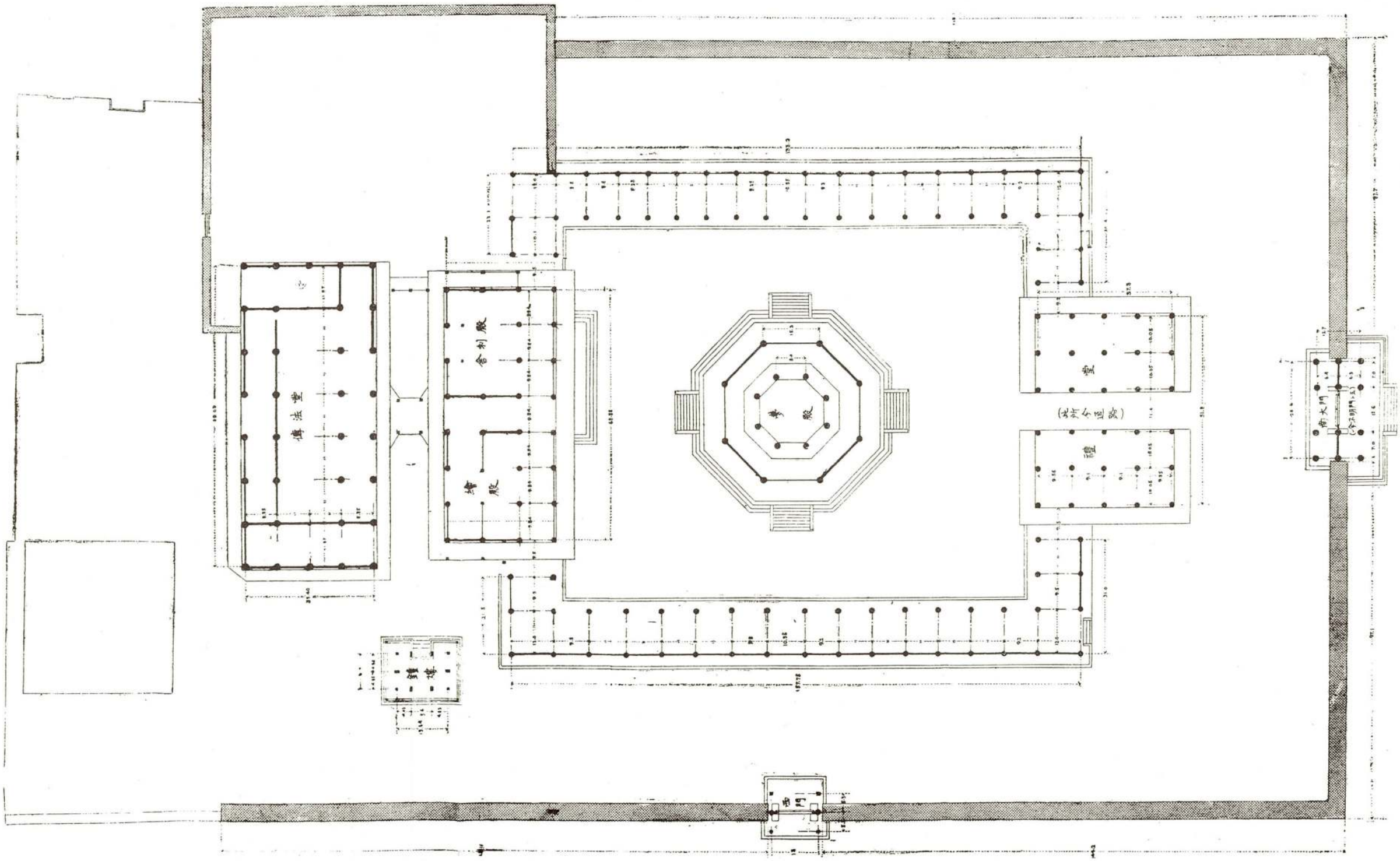
法隆寺古建築に就て（下）

工學博士　天沼俊一

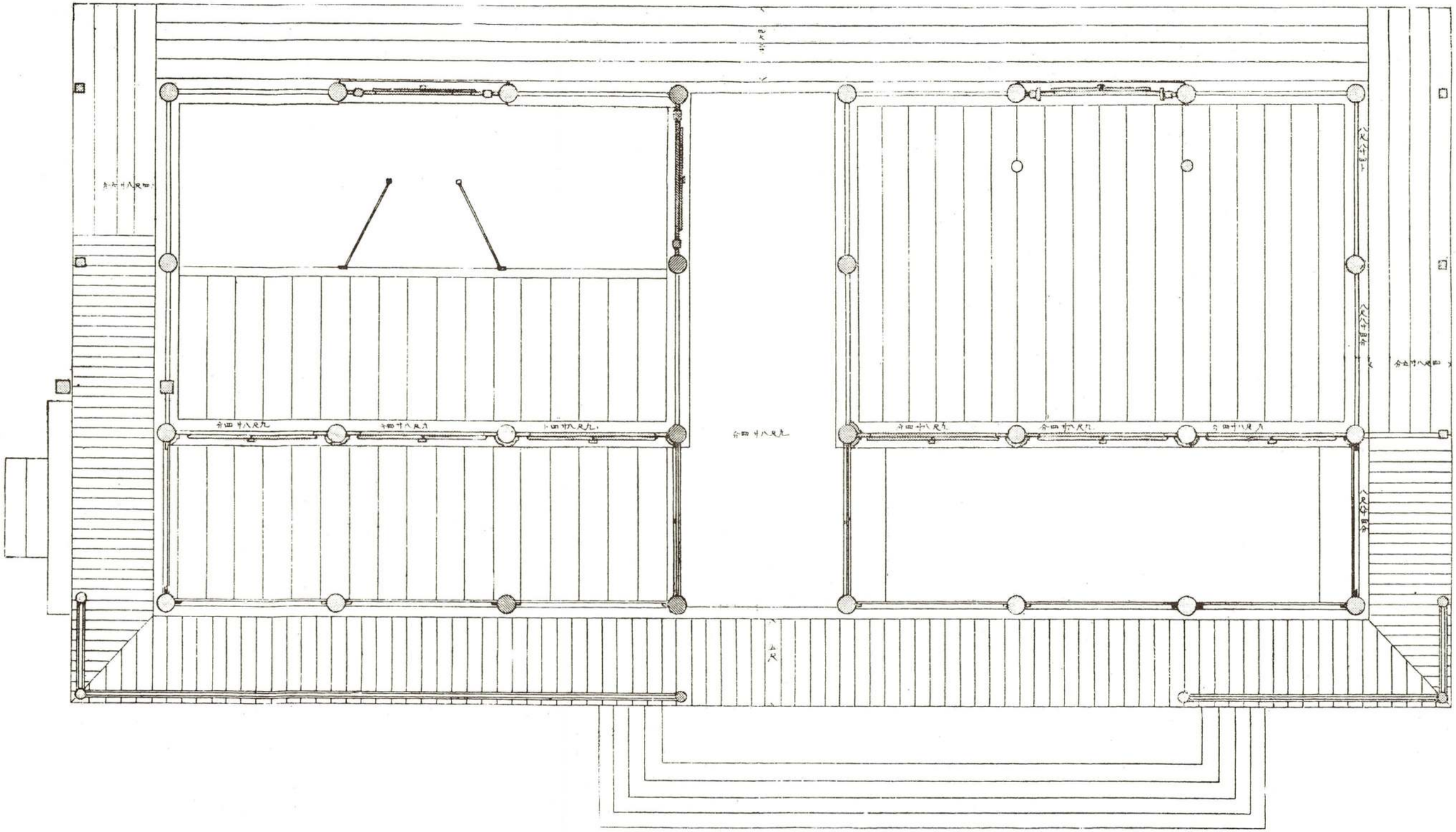
（研究）

今度は正面の石壇を下りる、五六段下りて左手を見ると、新しい石燈籠が目につきませう、此は元祿年間のもので、隨分變な所もあり大したものでもありませんが、獨創的意匠を出してゐる點は買はねばなりません。夫れから石段を下りきると斜左に復一基の石燈があります、無銘ですが樣式から鎌倉時代といふ見當がつきます、各部の權衡宜しく後世變改又は修補の跡もなく、此時代の代表的石燈の一であります。世に「西圓堂型」と呼んでゐます、恐らく堂再建と同時（即ち建長元年）若くは再建後間もなく出來たものでせう。

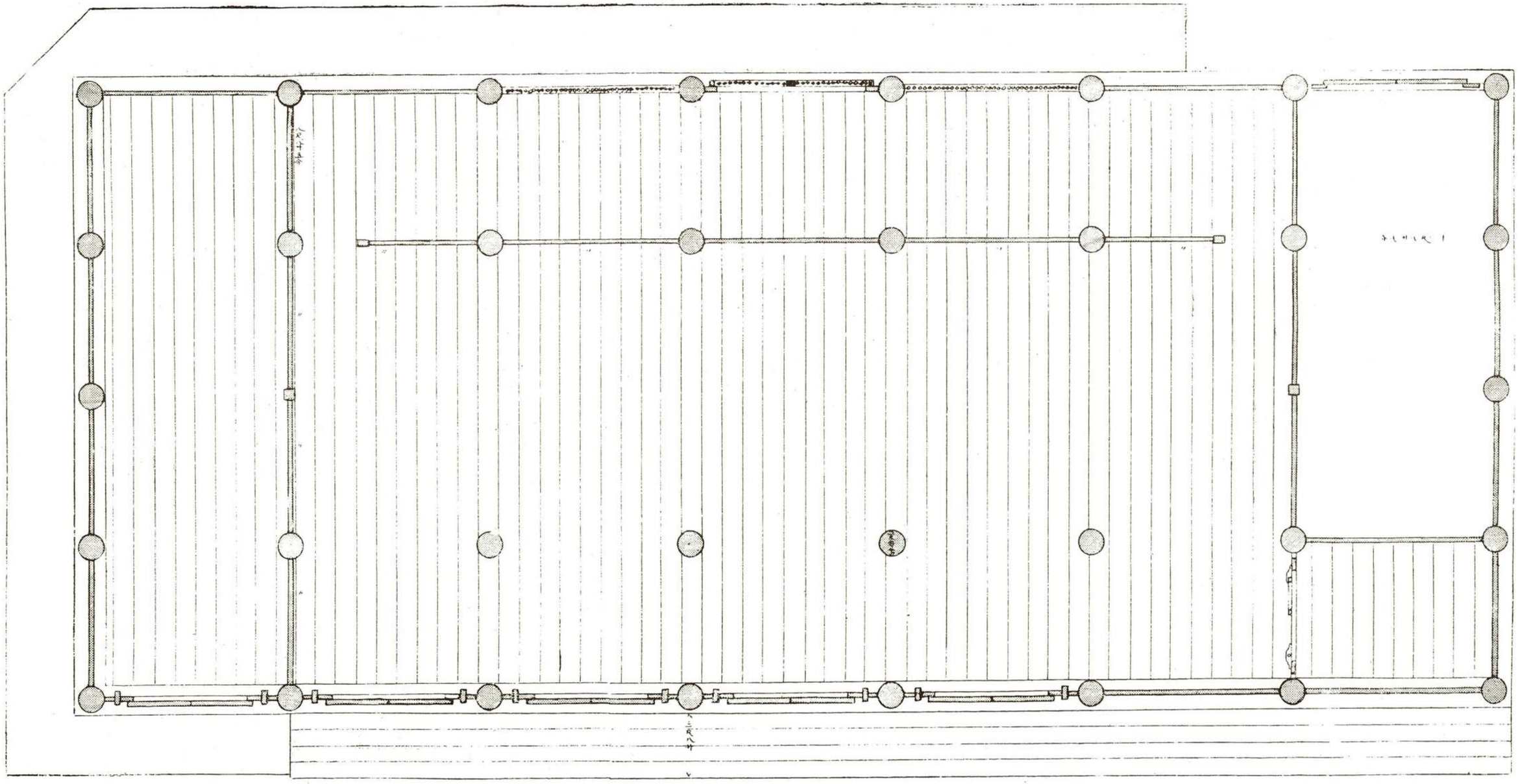
此石燈を見て南へ眞直に行き、左手の細長い建物に沿ふて曲ると三經院の正面へ出ます、三經院の後方は西室で隨分荒果てゝゐます。此建物の內で法華・勝鬘・維摩の三經を講讀したから夫れで三經院といふのです。正面から一寸見ると入母屋造



法隆寺東院平面圖

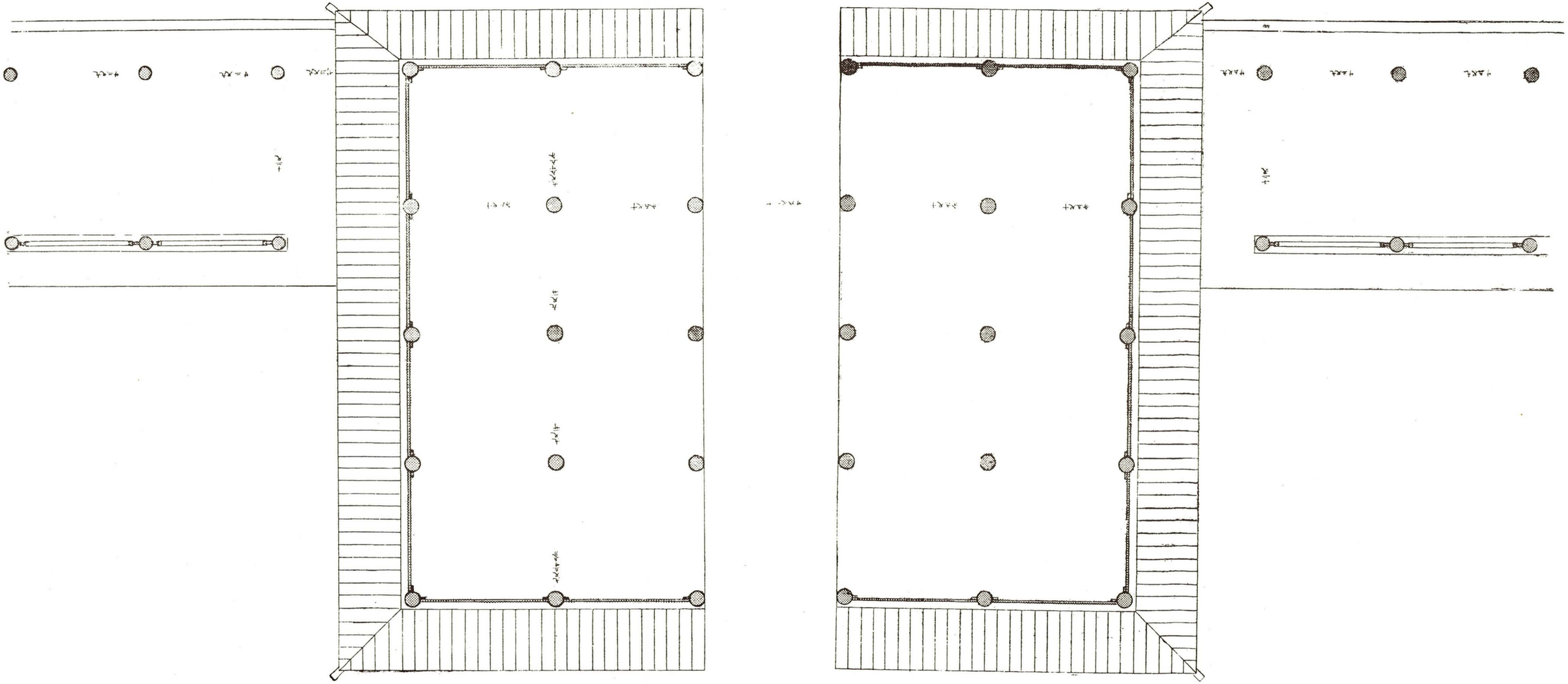


法隆寺東院舍利殿平面圖



法隆寺東院傳法堂平面圖

法隆寺東院禮堂及步廊平面圖



の様ですが、さうではなくて本瓦葺の主屋に檜皮葺の庇をつけたのです。内部には同時代の立派な佛壇があり、床は總拭板敷（スクヒータ）、天井は小組格天井、佛壇上は折上の同じ天井です、今でも夏安居（グヮンゴ）といつて一夏九旬の間、貫主の講義があります。

西室と三經院とはついてゐて共に鎌倉時代、西室は延長三年に北室及び講堂と共に焼けたので、此時僅に一室丈け焼け殘つたといふ事です、再建後隨時隨所に適宜模様替をして、竟に今の様な有様になつてしまひました。

此所から東へ中門の前を通り、歩廊に沿ふて行くと其盡る所の斜左に

聖靈院　があり、其後方が東室です。聖靈院は特に研究する價値があります。外觀は三經院と大同小異、即ち正面に廣椽があり、東西南の三方には落椽があり、屋根の工合も同じであります。併し乍ら内部は大分變つてゐる、内外陣の境は格子建で、正面の如きは、三間になるべき所を一間とし格子六枚建としてあり、長押上は各間共吹寄菱格子にしてあります。外陣は小組格天井、内陣は折上小組ですが、内外陣共廻椽の下に横連子が入れてあります。小組格天井が發達をしたのは鎌倉時代からです、寧ろ出來たとしてもいゝ位です、前時代にはあつても稀でした。兎に角斯の種の天井及び廻縁下の連子、菱格子、引違の格子等は皆よく時代を現はしてゐます。

内陣の突き當りには巾一ぱいの佛壇があり、其上に大厨子があつて三つに區劃され、聖德太子、王子及び其他の彫刻が安置してあります。其厨子の中央即ち太子の御影の祀つてある上に、大唐破風が懸つてゐますが、此は最古の唐破風の一つでありまして、其上には木製の獅子口――室内ですから木製です――が載つてゐます、鎌倉時代の獅子口は私は此れより他に知りません。墓股も至極纖麗なのがあります。惜しい事には獅子口の經の巻や、破風の兎毛通（ウノケトホシ）・桁隱（ケタカクシ）等の面へ、江戸時代になつてから金銅の飾金具を打つてしまつたから、原のいゝ形はすつかり隱されました。

東室の方は西室より尚一層慘憺たる有様で、勝手に椽をつけたり、硝子障子を嵌めたり、柱をぬ

いたり、いろ〳〵な事がしてありますから、最早何とも致し方がありません。

夫れから綱封蔵内の寶物を拜觀して外へ出ると丁度其裏手に、

食堂と細殿　と並んで建つてゐます、此二つの建物が揃つて遺つてゐるのは恐らく此所丈けでせう　細殿（ホソドノ）の方は兩妻丈けは壁がついてゐますが、正面と背面とは吹き放し、床は土間で天井はなく、夏向きの建物です。細殿は鎌倉時代の大修理を經て居ると思ひます、其妻の二重虹梁の鼻の三角形の切り缺きや、内部虹梁上の蟇股の形等から觀て、大分大きな修繕があつたと考へるのであります。食堂は壁に到る迄當初若しくは夫れに近いものと思はれるのですが、中央の厨子は鎌倉時代でせう　神像　の本尊は乾漆の藥師座像で奈良時代、四天王も同時代の塑像です、小さいですが却々の傑作です。

以上で一通り西院の方はすみましたから、今度は東院へ參りませう。

食堂を見てしまつたから、中門前の東西の大通りへ戻ります、此通りへ出てから、西をみると遙か遠方に西大門、東に東大門が見へます。

西大門　は元祿十年の建築で江戸時代のものですから、他の古い時代のものと比べると、大したものではありませんから、態々行くにも及びますまい、此通りの南側には大湯屋と其門とがありますが、これも割愛して東を向いて行くと

東大門　の前に達します、此は奈良時代の八脚門勿論後世の修繕も加はつてゐますが、夫れは扉に破風位で、大部分は當初の儘よく遺つてゐます。殊に妻の所はゆつくり觀る必要があらうと思ふ、即ち桁は圓く……正眞の所謂丸桁で、構架法は二重虹梁蟇股になつてゐます、此蟇股に就てもお話するといゝですが、只今は略しておきまして、今度は門の内に立つて上をみると、扉のある柱即ち中央の柱列を境として、其兩方の別々に棟木をおき、天井はありません、だから見上は内部に棟が二つ、外部では屋根の頂上に大棟が一つ、都合内外合せて三つの棟があります。斯様なのを俗に「三棟造」と申します。東大寺の轉害門（佐保路門）も棟

の工合はかうです。奈良時代の八脚門は此の二棟より他に遺つてゐませんから、皆かうだつたかどうか確言は出來ませんが、恐らくさうでしたらう。

東大門を通り抜けて行きますと左側に

鶴學院四脚門　が鎌倉時代のもので、保護建築ではありませんが、其價値は充分であらうと私かに信じてゐます。東院へ行く通り途ですから見逃してはなりません。夫れから東の突き當りが

東院　の一廓で第一に

西門　です。此れと

南門　の二つは何れも室町時代。南門は「アケズノモン」といひます、字は「不明門」とかきます、かく南門は締切で、他に門はないから、西門が東院に入る唯一の門です。西門を入ると直に

歩廊　ですが、古記に據ると

檜皮葺廡廊一廻

とありますから、昔は今の樣に瓦葺ではなかつたのです。此も門と同時代です。歩廊の南側の中央にも、元と檜皮葺の門があつたさうですが今は亡い、丁度其門のあつた所に

禮堂　といふ大きな建物があります、今は其中央一間が通路になつてゐますが、以前はさうでなくて床が一面に張つてあつたのです、可成りひどくなつた建物ですが、時代は鎌倉です。

平安朝時代の寺院建築

奈良時代迄は宗旨の數は六つでしたが、平安時代前期即ち弘仁時代又は貞觀時代又は延曆時代になつてから天台、眞言の二宗が入つて來ました、今迄の宗旨は顯教でしたから寺は皆平野又は緩傾斜の地へ建てたのですが、之等は所謂秘密の法を行ふ密教ですから、其道場たる寺も多くは山地へ營みましたので、寺院全體の平面が大部分變りました、



「都市」

將來の『市加古市』(10)

ウオルター・デイ・ムウデイ著
Z Y 生譯

第七章　公衆（三の三）

講演通知狀は——三枚折の——通俗的に物せられた講演宣傳の文體に從つて工夫せられて居る。人を引着ける說明の寫眞に加ふるに、二重幻燈による世界各市の紙上の訪問旅行、議長の筆になる都市計畫案の定議的綱要、刺戟を與ふるための凡ての良き市の參照、我問題の解決、該案著者のスケッチ、該案の成功を保險せしむるために要す可き公衆からの期待等を含んで居る。一時期に十五萬の夥しき數に上る通知狀が市民に郵送せらる。重要なる案はかくも大散布せらるゝので、從つて講演に列しない處の幾千の人々にこの影響を與ふることゝなるのである。

委員會の最初の七年間に、殆ど四百箇の講演が催された。夫等の講演の殆ど半は、各種の團體か

らの招待に依て述べられたのである。即ち教會同業組合、婦人クラブ、商業協會、工場、社會クラブ、專門學校、特殊學校等その他の招に應じてなされたのである。

十七萬五千人——市加古の人口比例で、十四人中一人に當る——が該案の使命に觸れたわけである。

（十二）

該案を進歩せしむるために、四大教育仲介物——發刊物、計畫案小冊子なる市加古市最大の收得、學校教科書、講演事業——は特殊の職務を帶べる校でなくてはならなかつた。

此等の公衆宣傳運動中、最も勢力のあつたのは活動寫眞を用ひた戰闘である。これは『或市の物語』と題する二の眞の構造から成り立つて居る。市の現狀と該提案とを對照させ、處々にこの市に就て人の利益する光景、人の引着せらるゝ光景とを挿入してある。絲捲車式にしかもこの表示が確實で力ある樣に、幻燈と活動寫眞とを交せるといふことは困難なことである。此寫眞は市俄古市の六十以上の劇場で、凡そ十五萬人以上の民衆にみせた始めの週には宮殿の如き皇帝劇場に開催し同夜の觀衆立錐の地なき迄にあり、突然クランド・オペラ開催の夜の觀があつた。多くの他の市から『或市の物語』を觀るの特權を得たいと求めて來た。



カンサス市の中心、人口（自一八九八年至一九一八年）九十二パーセントの增加

多くの特別なる發行物が委員會によつて發刊せられた。夫等發刊物はその實現に着手する時には先だつて特別に說明し振興する必要のある種々の提案に屬するものである。こら等の中の最も著しいものは大きな綺麗な非常に効力ある一頁大の圖書のついた筋書があつて、六千五百萬弗の計畫になる有名な西方鐵道終點に關するもので、市とその團體との商議進行中に發行せられたものである他の著しいパムフレットは『五千萬弗の空費』と題する冊子である。市俄古市民が市の廢れたる材料——開鑿材料、古煉瓦、原動機、街路掃除機、鐵滓、灰——を利用してフロント湖公園、遊戲廣場水流の千三百エークルの土地を如何にして得るかを市俄古市民に示さるためである。かくするとによつて市は十二年間に、既に五千萬弗の價あり、これ以上に騰貴せんとする公園地を、安全にしつゝあることが出來るてふ點を指してゐるのである

委員會が出版した最も包括的で範圍廣き特別なる報告は、サウス●ウオター●ストリートの改修の場合のものである。こゝに市中の食糧農產物の大市場がある。この市場は市中の最も充血的な中心地に於ける交通の爲に最も必要である。この街路を奪つてしまふので、この爲邪魔になり、出火の危險あり、民衆の健康を脅かし、世界屈指の商家區域に石を投げて屆く距の處で莫大な經濟上の損失をなしつゝあるのである。委員會はこの小冊子で、如何にして民衆がそれを取除け得るか、又かくすることによつて年々食糧取扱の費用を幾何節約し得るか、交通の容易、市の歲入その他の利益を加へ、年々五百萬弗の巨額——この改修を企つるに要する額——を回收し得るてふことを示してあるのである。

右の外特別な小冊子や報告など多くあるが、他は局外者の目には注意せられない。慕屋内のための發行物である。これ等は『都市計畫案に於ける市俄古市の世界的の影響』と題するものである。

世界大戰の休戰調印と市加古市都市計畫委員會の『改造綱領』の宣言（この宣言のため市俄古市の諸新聞紙は十二段を費した）につゞいて、委員會は市の聖職者に對して、市俄古都市計畫案を人道

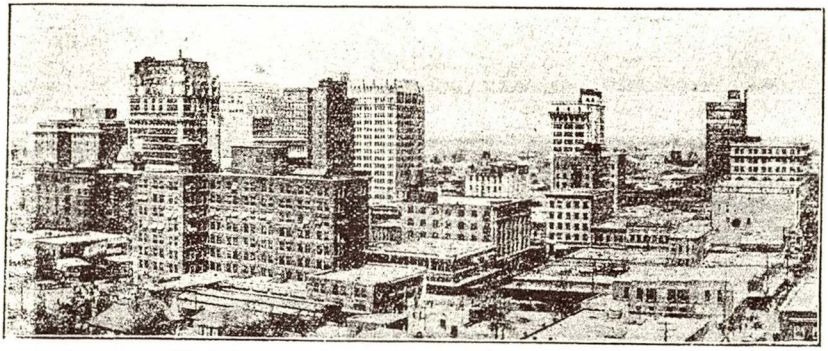
的の立場から講壇より説教せんことを求めた。委員會發行の『説教資料』――計畫委員會の種々なる發行物から時々に現れた人道的、社會的議論を編纂したもの――は教會の社會事業と該計畫案の利益との密接な調和を指し示して居る。この『改造綱領』と解釋とを附した記錄は、市俄古市中の凡ての聖職者に送られた。市古俄市都市計畫案委員會の刊行物は、合衆國内の三十六州の百十箇の都市と、外國十三ヶ國の三十六箇の都市から請求を受けた。該案の社會的戰闘はかくも巨大に範圍廣大に、靈感的で、勢力が強大であつた。これ米國で都市計畫事業に着手する者に道を示し、何故に如何にして彼の努力の根底迄下る可きかてふ小點を示したものである。つまり根本的のものを取扱ふ可きことを證明してゐるのである。根本的なものとは以上によつて――考案、創造、振興の三點である。都市計畫案の、後の第一歩――インスピレーションであるは明である。次は人心を動かし十分に遂行せられた都市計畫案より結果である、より善き市の狀態を渴望する精神を皷吹することであるは明である。最後は民衆をして都市計畫の必要を自覺せしめ、之れを實行せしむる樣に動かすことである。以上は都市計畫を考ふるときに直ちに起る問題であり、成功する樣に努力せねばならぬ點である。

第八章　誤用せられたる精力（其の一）

（一）

日常の良き考想を間違つた時、間違つた道にこれを實現し樣とすれば、必らず失敗するといふ事實を無視することは出來ぬ。「彼は考想の人である』といふ言葉を、或型の特色ある成功をして居る人を指して言ふのをよく耳にする。併しそれは何等の意味も無い考である。考想の人が恰も何等の價値なきと同樣である。世界には考想の人の印が滿ちて居る。考想を推し進めることは考想を得ることよりも、より大なる業であるとは證明せられて居る。或考をもつて協議する時に失敗するのは、いろ〳〵の原因にあらうが、この最大のもの

は性急にある。性急な人は彼の仕事が彼にとつて餘に大きく見ねるといふことである。性急に忙ぐことは全く別物である。急ぐことは望ましいが、性急は望ましくない。性急といふ氷山に衝突し、人命救護の工夫を適用するに道なく周章するよりも、安全なる航路を進む可く、好適の時に考想を準備するが遙に優つて居る。



テキサス州ダラス市、始めて四三、四五人の人口に芽生えし頃は、極めて遅々たる進歩を有するに過ぎなかつたが、一九一八年には一二六、三六二人の軍隊を有するに至り、處々に高き大建築物生ず。

非經驗、頑固、主我的案内人てふ惡路を、考想てふ車輪を操縦するは、これ努力の妄用と惡用に外ならぬ。

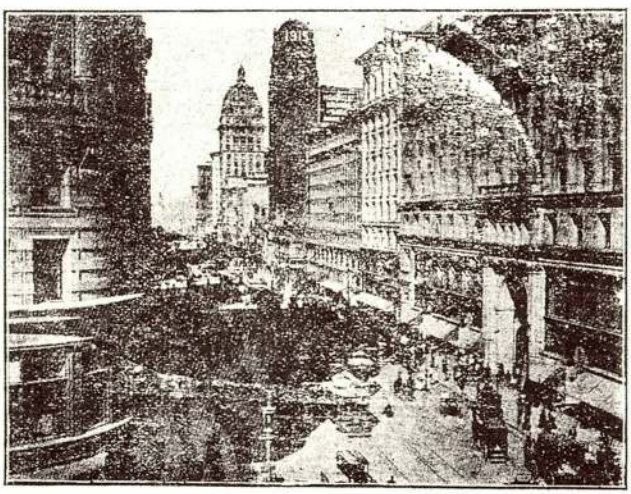
私の長い樣々の經驗の中で、或新英州の都市に於てあつた事柄程誤用された都市計畫上の精力を示すに、他により勝れたよい例はない。この都市計畫會議——彼自らか稱して居る——は自分をこの市へ招待した。同會には州知事、重なる都市の市長も出席すると言つて私を動さうとして居る樣に見ねる。だがか彼樣の人は先約のために出席しなかつたことが直ちに曝露した。併しこれはだうでも善い、私はこの招待を承諾するに先だつて世界の二十四の都市に關する說明的講演には一時間と四十五分を要するが故、これを承認してくるゝ樣に明に申出た。この點は意見が一致して、講演の時間割が出來上つた。

（二）

敎養倶樂部に着いて見れば、都市計畫評議員會は召集せられて居つた、が、市長や知事どころか裏店の市長さんさへも出席して居ない。その上聽衆は一部に局限された種類のもので、思ふに彼等は早く新英州に渡米した（もつとも亞米利加印度人よりも數世記後だが）エライ連中の子孫であらうと思はるゝ。こういふ人々の間に私如きが加はるは、階級外の者が加はることゝなつて、その血を穢すことゝなる。（譯者言ふ、著者はこゝに彼が招聘せられたる新英州地方民獨特の血統的の高慢と、しかも彼等の企て居れる自慢の都市計畫案の愚劣なるとを滑稽なる言葉を用ひて揶揄し居れるも譯し能はず）一千哩の遠方から多くの旅費を費して、僅か一握の數の人々に、話すために來たのかと思ふと、これは浪費であるとの考が起つて來るが、併しそれが私を怒らせる原因にはならなかつた。私に先だつて講演した土地の人々の辯舌には『私の血管』にはといふ調子の御自慢がつゞいた。その市は私に時節柄ない、うまい、たしかにこゝ人々にきつするの、新英州民にだけ出來る御馳走の數々を御馳走してくれた。私を的にした演說が七つあつた。座長が最後に私を紹介した時が十時半であつて、恐らく非常な知的空腹の狀態にあり、より多くの知識に渴いて居る者でさへも、もはやこの後の私が一時間と四十五分には、忍耐し切れぬことはわかつて居る。で私は演壇などはそつちのけにして、床の中央に出て來て、出席者につつかゝつて行つた、『諸君はその案を決して實行してはならぬ』と。

私は圓形輿行場の天幕の下で徜徉する樣にして語つたこともあり、アメリカ印度人の領土を家畜列車の箱車に乘つたこともあゝ、平底船やバックボートや馬背で、何千哩も未開國を旅行したこともあり、或は坐り心地の好い坐席のある敎會の上等の席にすわつたこともある。又大銀行に親しく行つて貸金の交涉をしたこともある。又各國の權勢家、政權を掌握せる大富豪、高貴の人、專政々治家、著名の人々に會見したこともある、併し私は今自分が面して居る樣な精力を亂用されたる著しい場合を知らぬ。

私の前に話す者は『十分間を超過せぬ』といふ約束が、その地方の優良道路に關して一時間と四十五分に延長された。他の六つの演說も、この市の秀れた點と、都市計畫案施行の手順の方法に就て、私に報告をしてくれたものである。兎に角私は豫定の講演を放棄してしまつて、そして言つた、評議員會はその案をどの方面に推し進めても必らず失敗するに定つて居る、何故なればそれは逆に仕事をする樣なものであるから、自分が前に言つた樣に、フートボールを背後へ拋るのと同樣であると。翌日の午後下町の一流のクラブで、特に私のために午餐會が開かれた。その席上此市の最も精神的な眞面目な、修辭に巧な、熱情を鼓吹する力ある人が、昨晩私が新英州の禮儀を破つたことを、穩かに戒めてくれる意味の演說をした。私はその場所にふさわしい樣な風にふるまつて再び前日の演說者として同じ趣意の演說をした。

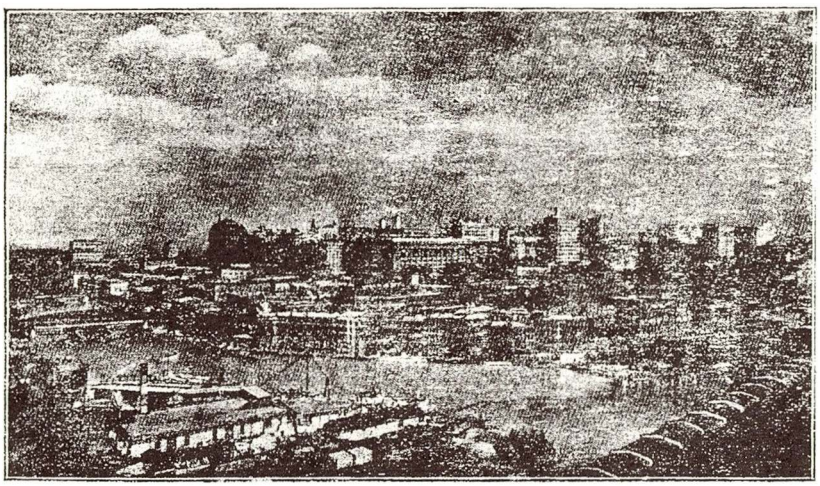


サンフランシスコ市の一部 一九〇六年四月十八日の大地震火災により破壞されたる市の東洋門戸の一なり 人口四百二十萬人に達し 一九一五年萬國博覽會を開催せり

私の先見の通り、その評議員會は、どういふことをやつても失敗をした。失敗の原因は彼等が敎養クラブで、その市の長所として頌揚した七の中の一に基いて居る。即ち評議員會の敎育的宣傳法は、都市計畫の圖形と資料の展覽會が、主要のものであると言つたが、つまりこゝにあるのである。この場合、全精力を都市計畫事業を既に十分に承知して居る處の敎育ある民數に集中して居る。展覽會などに出席する者は、かゝる階級の人々であつて

啓發してあらねばならぬ、しかも、投票權をもつて居る大多數の民衆は出席しないのである。又この評議員會は市から都市計畫に對して援助を得る目的で、或法令を出さしむるために、立法院に對して勢力を張らうと思つて居るといふことを聞いた。その上案もなければ、公共的精神もなくしたがつて何等の感化力もなく、ただ律法院から或法令を得んと計畫して居るに過ぬ。これ私が彼等は逆に仕事をして居ると言つた所以である。

この評議員會は大部分專門家の職業的の人々から成り立つて居る。著名な實務家、都市生活の他の方面の指導者等を合理的に混有したならば、



シカゴ市に達する迄の南東を望むの八十年間の成長は都市歷史中最も多くの小舍時代より世界的事實を有する位に。

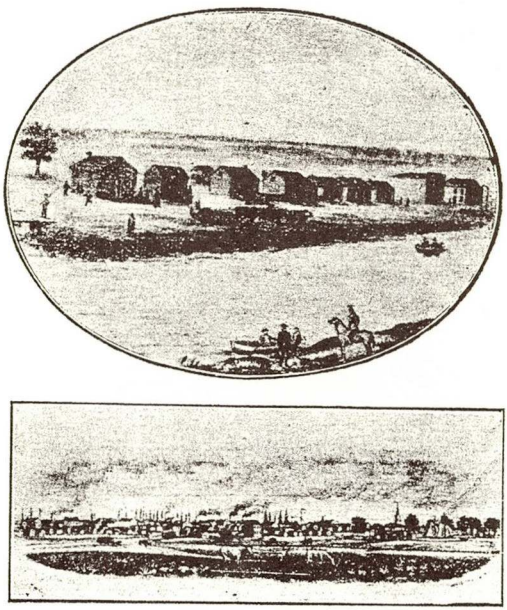
それから當然援助を得らるゝに、その援助をも得られず、平均をも失つてしまつて居る或特別なる興味に集中することより來る處の頭大身小的な組織的努力が、失敗を齎らす唯一の原因なることは、全世界の振興法の歷史が示す處のものである。

都市計畫に於ける精力の亂用！、これ凡ての都市に共通の失敗である。私は尙ほ斯る出來事を擧げて行かう。左樣するが、本章の趣旨を十分に說明することが出來るから。之れは廿年間も都市計畫事業を語り、且つ設計した都市－都市計畫事業に關する世界に於ける位置を誇り、しかもそれ自らの計畫は何物もなく運

動もなく、唯案を得んと組織があるのみである！に起つたことである。

（三）

誤れる手順から生ずる失敗は、誤をやるから失敗するといふのではなく、誤を繰返すから起るのであり、他の經驗を參考にすれば得る點が多いに拘らず、これを拒絶することから起るのである。米國各州は何も相互に相依賴して居るから、何れかの他の資源から得ることの出來る若干の實際的の經驗を、各々が要求して居るのである。該設計案團躰が、正しい線路にそへるか否かは、該團躰が手の屆く資源から、知識を蒐集して居るか否かによつて判斷が出來る。都市計畫の當局者には、この方面に於ける寬裕の心が、他の何の職業にある者よりも尠いやうに見へる。



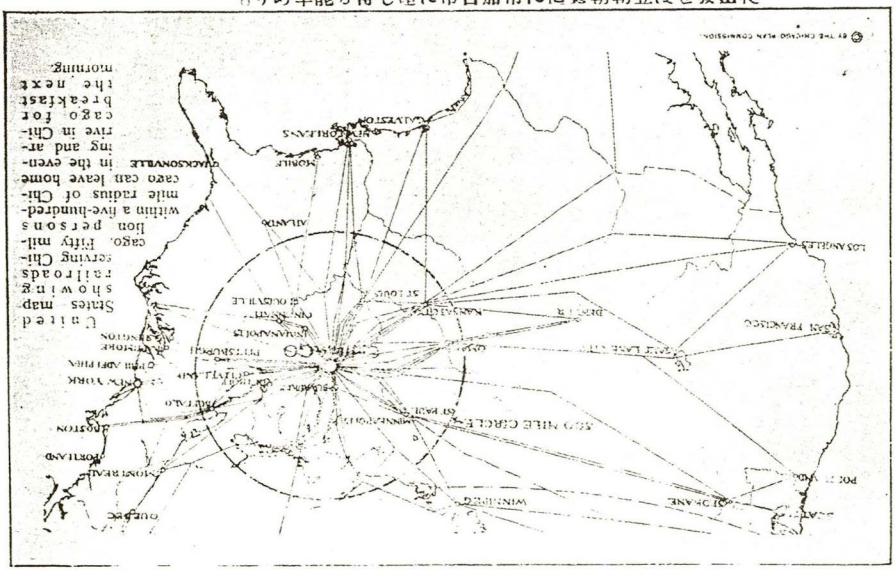
（上）一八四五年のシカゴ市
（下）一八三四年のシカゴ市人口一二・八人　一エーカー街

市加古世界的合衆國大博覽會が、驚嘆すべき程に建築上に大成功を贏ち得たのは、畢竟その事業の指揮者並に總裁局が全國の供給する最良の才能者を用ふるの寬き心があつたことに原因して居る。行政部の建物に關する案が論ぜられた時『この特別な建築樣式に就て米國中に於ける一流の建築家は何人であるか』てふ疑問が發せられた。此質問に對する答が與へられその『最善』の人が直に任命された。次に美術館である。『その樣式の最良の人は何人か』と訊され、適當の人が選まれ、その人は案を建て建築に着手す可く依囑された。かういふ風なやり

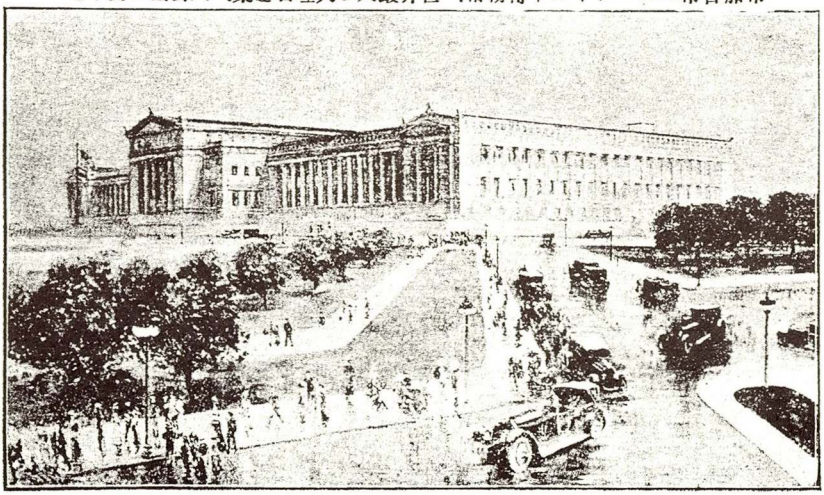
方で、遂に全國に於ける一流の建築家、藝術家が驚く程に配列されたのである。而して各自はその得意の方面に絶對の信任をもつて任命された。

程度の多少はあるが、されど同じ廣い政略が、市加古市の都市計畫を樹立するに用ひられた故に今日全專門家等は、該

市加古市の半徑五百哩内に往來する五千萬人が夜出發せば翌朝朝食迄に市加古市に達し得る能率あり。



市加古市ニューフイルド博物館、世界最大の大理石建築、大公園に面す。



案は一般に推賞するに最も健全で、又非難する處のないものであることを知つて居る。案の一面を、實際に建造すべく試驗する時には、細目に亘つては議論も出るが原理は論ずることの出來ぬ程完全である。

私は西部の中位にある大都市の商業會議所から『都市計畫に對する正しき市民の態度』てふ演題で講演す可く招聘せられた。同市の都市計畫委員會は、この商業會議所てふ勢力ある團體と親密な間柄になつて居なかつた。勿論委員會は私を招聘した團體ではない。講演の朝—私は前夜到着して居た—委員會議長が—私の曾つて面會したことのない人—ホテルの私の部屋にある電話で私を呼び出して、私の講演ではこの地方の計畫案に關して何事の意見をも述べてくれぬ樣にと言つて來た。彼は私がなさうと思つて居たことを、正確に豫知して居たので、私は驚ろいた、勿論、そして甚しく不意を打たれた形であつた。なぜなれば私は件の此地方の計畫案に通曉し、よくこの市を知つて居るので、該計畫委員會に十分後押をしてやらうと思つて居たのであるが、今は何事も言はぬといふ約束をせねばならぬことゝなつた。講演會には有力なる實務家が七百名程も出席した—これ該委員會にとつては願ふてもない好機會であるけれども反撥的な風から否まれて居るのであるから—だが講演の間に該地方都市計畫案に對し、最も有效な援助を與へ得らるゝ最善の機會にめぐりあわせて來た。前の約束を忘れて、私は該委員會ならびに委員會議長に、最善の餞別を送つた。その實務家の群に對して、彼等が、該案及び委員會の後援者たらんことを大膽に願つた。而してその暗示は喝采をもつて終つた。

翌日になると件の議長が、自ら親しく（前には呼び出したが今度は）非常に慇懃に、私を訪問して來た。この樣な變化は嘗て私は何人にも於ても經驗しなかつたところである。勿論彼は巨大な人であるが、しきりに辯解し、やさしく私を彼等の仲間の集の、私の午餐に招いた、そして言つた、『私は何とも申し樣のない位間違つて居りました貴下が我等に與へて下さらうとした援助も、殊に

今は極めて明白になりましたが、實務家の援助が大に必要なのに、それを餘まり好ましからぬ態度をとつたことは甚しい誤でした、別して貴下に對する處置はたゞ〳〵恐縮の外はありません』と『よろしいこのことをお忘れなさるな。貴下が初めに私を遮りなさらなかつたならば、今の樣に幾らかまづい物でなく、御馳走をおあがりになることが出來るのでしたに』と私は言つた。

該計畫案委員會は、都市計畫の最も必要な都市にあり、又その案も優良のものであるのに拘らず進歩が甚しくにぶい。

扨今は大戰後につゞく改造の時期であるが、二重の重荷を擔つて行かねばならぬ—即ち過去の失敗を一掃し、新に案を樹立し新な成功を期せねばならぬ。今は昔にも增して、米國諸都市は彼市民衆に對して、長らく延引せられて居る改善—唯科學的都市計畫案が供給し得るゝを求め呼ぶ聲が大きい。惡しき手順の方法のために、智慧、精力、遂行の一オンスをも失つてあつてはならぬ。

第九章　市政當局者

（一）

米國では米國の自治市政を語る際、屢々『あらごなしとのろい挽き方』といふ詞を聞かされる。これに對句をなすものは『接枝は我市廳の到る處にゆきわたつて居る』といふ詞である。之れらの詞は、この場合にあてはまるものではない。確に我市にも接枝はある。そしていつでも世界のどこにでも、それはあるし、どの樣な形式の政府にも何時でもそれはある。『のろい挽き方とあらごなし』的戰術と、そういふやり方が與へてくれる收獲にも出會つて見て、そして我等は最善の經濟的結果や、大なる私人としての企圖の齎らす結果の類は、決して市の團體が產出することの出來ぬものなることを知る樣になつた。右のやうな狀態をも承知をして、そして批評的に全體を大觀してくれば進歩的な正直な能率ある行政の結果と、市民の生活狀態の改善進歩とは、甚だよく平均して行くものなることを認めねばならぬ樣になる。そしてこの

平均は又確に接枝の場合にも適用の出來るものである。自治市行政の一般的の改善と、公明な能率のより高い秩序とは、疑もなく一般に存するものである。親分的政治や蓄財的政治や、職業的煽動や學徒的改革の時代は、既に過去となつてしまつた。彼等は我國の市の狀態の改善に對し、眞率なる努力をなす今日、この働に對し何等の位置をも有するとの出來ぬ人々であり、この目的に對して彼等の成就せし處は何等の價値もないものである過去十年間に於いて、米國諸都市が、より良き狀態に向つて、確實に進歩し來つたのは、民衆の方に、改善に對する經濟的思考が發達して來た結果であり、公共事業をなすに更に科學的の方法を採用して、その上に立脚し事を行つたことに歸すべきである。

一のことが確實である。即ち我自治市行政の性質如何は、この市の民衆の渴望と議定如何に比例することである。行政部は自己自身を創造することは出來ぬ。これは正に民衆によつて造られてある可きであり、民衆は市政を考へるとき、智慧と理性をもつて自らの判斷を煉るべきである。然るに初めから欠席して投票や選擧の時に稀に出て行く樣な人があるが、これ正に『無要求』の人間の最も適當な實例である。こういふ人は選擧場に行くにも、候補者の人物如何などは全然研究もせずに、いつでも悪い人間に投票する。そして後になつて市が無能率と、不正な行政振りの證據の擧つた時に、彼は眞面目に周章し、最も悲しい言葉でもつて、自治市の狀態の腐敗を曝露するのである。かゝる市民は、法律家が言ふ樣に、從犯者である。法廷でもつて情狀酌量などは受く可き性質の者ではないのである。

（二）

廣く外國の自治市の發達を研究し見れば、或外國の諸都市では、最も秩序あり引きつけらるゝ工合に改善せられ居ること、斯る市の市廳は非常に科學的で、したがつて公正であること、又その結果は節用と敏速に凡てがいつて居ることが判る。こういふ收穫をうるために、それ等の國では、市民の肩に何を課したのであるか。これらの隣人と

同樣に、課せらるべきものを、擔つて行かうと願つて居る米國人が何處にあるか。實際の點に於て普通の米國市民は、彼等の隣人の財産使用に對し彼等が影響し整理する範圍に於ては、最も嚴格な法律を制定して滿足して居るが、併しそれが自分のことに關係してくると、彼等はどの樣な法律をも認めることをしないのである。

確に世界に於ける最も科學的な自治市の行政は君主政體の國家に於て見ることが出來る。王國、帝國、帝政專政に就て、なまものしりにしやべるとは、今日世界に於て蔑視せられつゝあることである。然らば米國に於て、我等個人々々が市民として、かゝる事に對する我等自らの責任を尊重する樣にならなければ、我等の市制に於て明に渴望せられ居る處のことゝ他の國では帝國の一片の布告の下に成就せられたそのことが、如何にして成就し得られやうか。

接樹！然り君主政體の政府にも接樹はなくてはならない。唯この君主政體と共和政體との國の相違は、權勢ある者自身が凡ての金を所有するに、米國では金が尠くも手際よく分配せられて居るの相違である。世界に於ける三名の最大富豪が、或外國の支配者であると言はれて居る、如何にしてかゝる人々は、この巨大な富を所有するに到つたか。答は難かしくない、彼等は實に世界が曾つて產したる、最大の接枝者である。かゝる國では王室の金庫のために、法外な稅を人民に課するのであるが、米國自治市では市民に、かゝる稅を擔はしめることは全く無意義になつて來る。

片手には市の文化生活上の正義を握り、他手には無智てふ盃を秉つて、『民衆の權利』と彼の『僕としての義務』に就ての古き知識をとくために、操り出す市民の代表者の如く、公吏をして狂せしめ逃避せしむるものはない。如何にかゝる人はその所謂『僕の』生長を妨ぐるを好んで居るか。私は都市計畫の公設所では、亂暴にしいたげられた市的文化生活の生ずる無能力に齒がみをして怒りしかもこの鬱憤を隣人や罪のない平和な妻子に報復する或市民等を見る。かゝる市民は右の如き道をわきまへぬ者等であつて、實に愚劣といはねばならぬ。（つゞく）



「住宅」住宅研究（三）

葛野建築事務所主
會員 建築工學士 葛野壯一郎

第參　住宅建築の理想

土地に關した問題は、以上で大體要領をつくしたと思ふから、次は住宅建築の理想的條件に就て記さうと思ふ。住宅として具備す可き理想的條件と云へば澤山あるが、私は常に是を五ツにまとめて居る。勿論各條件が互に相關聯して、其一ツを備ふれば、同時に他の四ツも具備しなければならぬと云つたふうに、互に密接の關係を有する事は當然であるが、便宜上是を五ツ位に別けて觀るのが適當だと思ふ。即ち

第一は**便利簡單で凡てが實用本位なる事。**

第二は**住むに安全で構造堅固なる事。**

便利で丈夫だと云へば申分の無いようでは有るが、更らに是れに加へて

第三、**衛生的なる事**

が必要である。いくら便利で丈夫でも、衛生的條件に欠點が有つては、勿論理想的では無い。更らに其れに加へて

第四、**價格が低廉である事**

を要する。有り餘つたお金で建築するのは、それは一種の道樂建築である。無けなしの金で拵へる場合が、最多く要求せらるるところで、今爰に私が研究せんとして居るのも、亦此種類のものに專ら屬するので有る。いたづらに富豪の道樂對手となつて、無用の土木を起し、あゝでも無いこうでも無いと、意匠や材料工作に憂身をやつすのは好まない。住宅はソンな道樂や物數奇にやる不眞面目な建築では無いので有る。兎に角技術者としては、此價格の點を最先に考へることを要する。最も廉く最も丈夫で、便利で、衛生的であるといふ基礎のもとに研究を要する。併し是れだけでもまだ不可である。實用一點張だけではいかない。人間は趣味に生きるもので有るから、仍で

第五、**趣味に富み、生活を愉快ならしむる事。**

の條件を加へなければならぬ。以上の五條件を以て住宅建築に關し、考へる可き凡てをつくし得ると信ずるので有る。以下項を追ひ、遂次詳細に記述して見度いと思ふ。

(1)簡　便

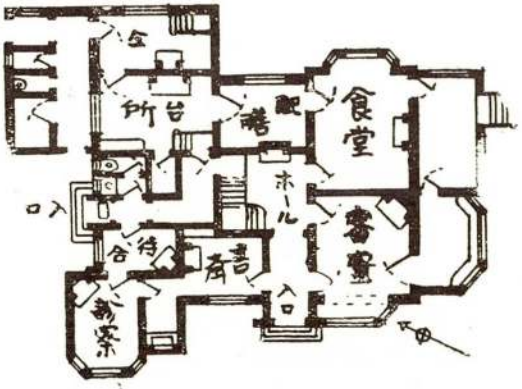
住宅が出來るだけ簡單で便利であり度いといふ事は、主として其プランに關係するところが多く根本問題として深く研究を要する點である。和風住宅の如き、よく研究すると一見甚だ簡單なるが如くにして實は頗る簡單でなく、便利の如く見ゐて反つて甚だ不便利實用的でない處が多い。各人家庭の生活狀態と密接の關係のある問題で有るから、是を一概に評し去る事も出來ないが、女中や男衆を澤山使役し得る家庭は別として、一般に人手の足りないのに困つて居る只今では、手數が多く掛り不便利實用的で無いとふ部分が、可成り多い樣である。

一口に洋風と云つても、邦により地方によつて著しき相異がある。英風と米風を比較しても、一般に米風は英風に比して人手が成る可くかゝら無い樣に出來て居る。すべて英風のプランは、閉鎖

主義で戸の開け閉てが多い。多くの部屋が廊下を隔てゝ他の部屋に通ずる結果、間仕切が多く出入口が二重になるが、米風の近代的傾向は、つとめて開放式で、出來るだけ廊下間仕切を廢して、部屋から部屋へ直接聯絡するか、または大きな部屋ですべてを兼ねる。加州バンガローの如きは其適例で、大きなリヴキングルームで凡てを兼ねる。客の應接も食事も凡て其一室ですませる。外から入つて來るにも、面倒な玄關ホールと云つた樣なものを設けず、ポーチから直ちにリヴキングルームに入る。また成る可く平屋建で寢室も是を階下に設けて、階段の昇降の不便を避ける。中二階や二階建が全然無い譯では無く、また風土習慣の關係から、寢室は必ず二階に置くと決められた部分は別として、一般バンガローは平屋建を以て原則として居るので有る。即ち家の中を成るだけ歩かないですむ樣、エコノミー、オブ、フート、ステップ即ち足歩經濟からプランを考へて居る。家事をとる主婦や女中が、家の中で一日歩き廻る歩數も計算すると却々大きいもので有る。大毎の或記者が、歩時計を以て其家族に實驗した結果が、嘗つて發表されて居つた事あるが、今不幸にして其數字を見當らないが、とにかく最も多く働くものは一日に何里といふ道程を家の中で歩くので有る。歩數が節して用が足りるならば、勞力を節約する事も大きく、非常に大切な事であるから、今後の住宅設計には斯の點に關し、プランに就て特に注意の必要があると思ふ。

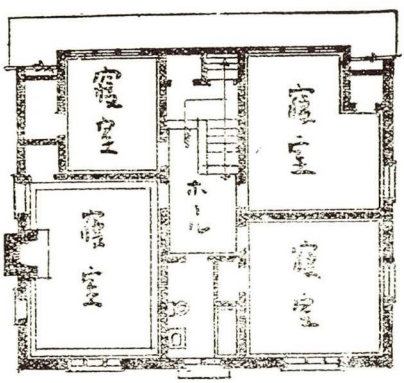
第九圖は英國風住宅間取の一例で、間仕切や出入口の多い一例を示したので有る。此家は醫者の家であるから

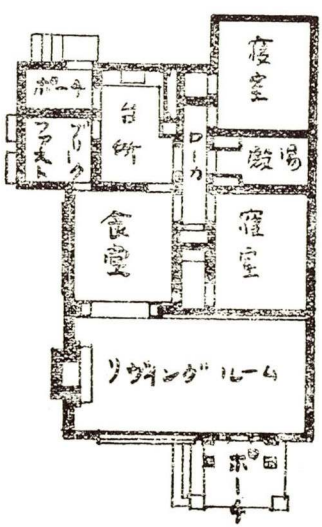
第九圖

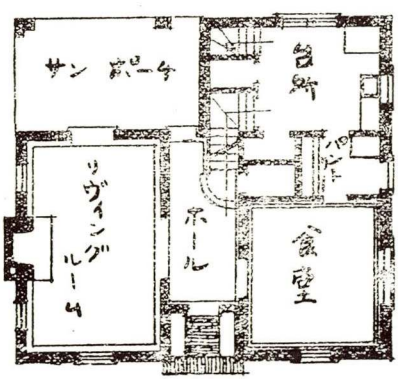


普通の室の外に、待合室や診察室を置いた結果、一層プランが複雑となつて居る。正面入口を入ると、大きな階段室ホールに通じて、左右に食堂客室書齋の出入口が有る、食堂と客室からは各出入口を通じてヴエランダに出る。また食堂の給仕口から配膳臺所スカレリーに通じて裏口の便所物置に出る。書齋からは診察室、待合室と聯絡し、患者用の側面の出入口に達する。こういふ特種の職業を有つ人の住宅であるだけに、自然複雑となるのは止むを得ないが、とにかく間仕切の多い、可なり面倒なプランの例として、よく説明第十一圖をたすける種類のもので有ることは明らかと有る。第十圖は米風バンガローの一例で有るが、ポーチから直ちにリヴイングルーム即ち圖居間に入る、居間と續きに食堂が有り、食堂に續いてブリークファストルーム即ち朝餐室があり、一方臺所裏口のポーチに通ずる。寢室は二箇で其間に浴室便所あり、寢室と臺所食堂の間に狹い廊下

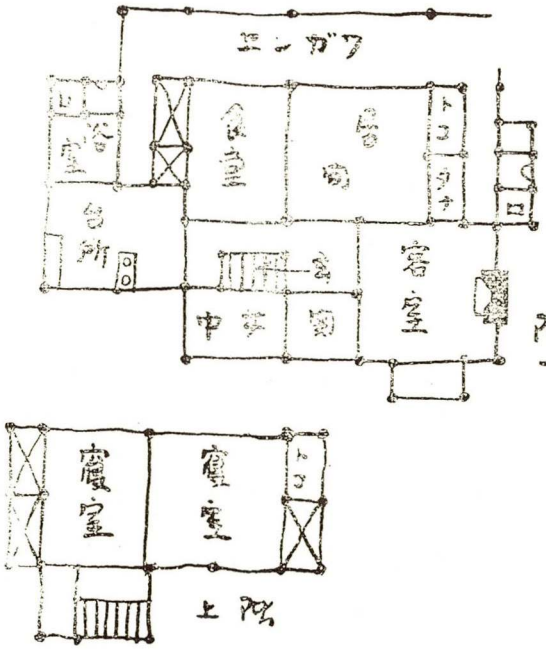
第十圖







を以て距てゝ居る。全體が平屋建で階段の昇降の面倒は勿論、臺所の扉一枚開けば、食堂へも居間へも直ちに通ずる至極便利なプランで有る。成るだけ人手を略いて、小供の面倒から炊事の末まで主婦がみて行かうとするには、如何してもこふ云つたプランでなければ不便で有る。第十一圖は是亦米國風住宅の一例では有るが、前のバンガローターイプの物に比して大分樣子が異つて居る。併し輕便といふ點に於ては是亦充分價値のあるプランで、ホールの左右にヴヰングルームと食堂を置き、食堂からパントリー即ち配膳室及び臺所に通じ、リヴイングルームに續いて廣いサンポーチ即ち廣椽がある。階上には大小四箇の寢室と浴室便所を置き、凡てが引き締つて手輕な點は、近代的小住宅として模範的のもので有り、且つ現在最も多く行はれて居る種類のもので有る。第十二圖は和風住宅として、某土地會社の依囑により私の考案したプランの一例で有るが、玄關と客室(洋風)居間、食堂、臺所、女中部屋の連絡については、可成り便利に出來た積りで有る。椽側を特に一間に廣くしたのも、ヴエランダとしての利用を完全にすると、簡單な朝の食事等は此處で椅子に倚り



第十二圖

攝る事が出來るようにと思つたので有る。

要するにプランの簡便といふ事は、今後の住宅設計に於て第一必要の條件で、出來るだけ無駄を

略き、手數の掛らない樣に考案し度いので有る。和風住宅の椽側や廊下の如き、斯の意味に於て出來るだけ略き度い、押入抔も其多くある方が一般に好まれる樣では有るが、是は一面からすれば大ひに考へ物で、是あるが爲に反つて整理が行屆かない弊が有りはしないか、斯云つた意味で寧ろ或程度に減ずる方が宜いとも思ふ。英國風の閉鎖式のプランも時代の要求か、近頃は大分開放式の寧ろ米風に接近しつゝ有る樣に見受けらるゝ。室を幾つにも少さく仕切るよりは、是を大きく一つにまとめて、家庭の仕事を成りだけ簡單にする。來客の如きも、いかめしい客室に招じて、四角四面な待遇をするよりも、温い居間即ち家庭の中心に直ちに引き入れて、距てない打ちとけたもてなしを受ける方が、いくら嫵しい事か知れないので有る。プランの簡便といふ事は單なる經濟上の問題のみでは無く、實際生活上から觀ても甚だ有意義の事で有る。（未完）

山かげや染の花咲きぬ春過ぎぬ

痩せ梅や、酢藏のかげに二三輪

詩に歌に口も酸くなる梅の花

一里行き二里深き山櫻かな

枯れたかと鳥のおれば梅の花

桃折れば皮むくれけり花ながら

青梅を見付けし出たる旭哉

春の夜や宵あけぼのゝ其中に

春の夜や皷しらべる誰が家

梅咲いて十日に足らぬ月夜哉

花不言春深き神

花をとはゞ答ふ六十八九日

暮惜む櫻もしばし三日の月

初櫻ひそかに咲ける風情哉

花を見て歸るうしろや朧月

花戻り隣に風呂の有る夜哉



〔資料〕

英國住居法（一）

大阪市都市計畫部囑託　石原憲治

第一章　緒論

新住居法に依つて地方官憲に依つて地方官憲は勞働階級の住居に關して直接の責任を有する樣になつた。以前には彼等に若し彼等が適當と認めたる場合には家屋を建てる權力を有つておつた。然し今度は他の機關に依つて供給されない限り彼等は幾何の家屋を要し且つ供給しなければならないかを確めなければならぬ。戰爭及び他の事情の爲の影響は國民をして現在勞働階級の新らしき住居の供給に對して個人的企業よりも以外の財源を望む樣にせしめた。家屋の需要は尙だ大きい。然して今度政府が新條令に於て示してある提案を組織したのは此要求を滿たさんがためである。

事會(Town Councils)市部參事會(Urban District Council)及び村落區域參事會(Rural District Councils)は最初ロンドン外に於て責任を有つておる團體である。而して此の小冊子に於て「地方官憲」と云つてある場合には常に之等の參事會を意味しておるのである。ロンドン內に於てはロンドン州參事會(London County Council)ロンドン市參事會(Common Council of the City)及び市區參事會(Metropolitan Borough Councils)が新住居法に對して責任を有つておる。

前法律案に依る權力

勞働級階の住居に關する主要なる法案は一八九〇年制定の勞働階級住居法(Housing of the Working Classes Act, 1890)である之は所々改訂されたけれども其の條項の主要なる部分は尙ほ效力

を有つておる、

斯の法律及び其の改正に依つて地方官憲は次に述ぶる諸種の大なる權力を與へられ　おる。

(甲)大なる不健康地の除去又は改造(第一類の權限。此の部分は村落區域參事會には適當されぬ)

(乙)不適當家屋の改良又は破壞、障害建築の破壞及び小不健康地の除去又は改造(第二類權限)

(丙)勞働階級に新家屋の供給(第三類權限)

初期の法律は地方官憲に彼等權限を彼等の地域内の總ての屋敷が良き衛生狀態にある樣にするために衛生及び保險の權力として用ふる義務を與へておる。

次に示すものは前住居法案の主要なる條項である。

一、地方官憲の貧民窟取扱に關するもの

健康醫官は不健康地に地方官憲の注意を注がしむべき義務を有す。更に正當なる資格を有つておる人々によつて(附錄第一參照)陳述された不健康地に關して苦情を述べられたならば彼は調査して地方官憲に報告しなければならぬ。

地方官憲は土地が不健康であると認め又彼等が充分なる財源を有つておるならば、土地の改良計畫を實行し又何かの改良計畫に由つて移された勞働階級の人々に要する家屋を再築することを要求される。

二、不適當家屋は正しく置き直すか又は破壞する。

地方官憲は其の區域内にある住宅が人間の居住に不適當で、健康に危險であるか又は有害であることを認めたならば閉塞命令を發して家屋が居住し得る樣に作られる迄家屋の使用を禁じなければならぬ。

若しも閉塞令が三ケ月間働いて地方官憲が、住宅が居住に適する樣に作られなかつた事及び現に適する樣に仕事を實施して居ないこと、又は公衆及び近所に住む人々の健康に邪魔、危險又は有害であると認めた場合には彼等は其の家屋の破壞を命ずる。

何れの命令に對しても健康大臣に訴へる權利がある。

三、障害家屋破壞命令。

建物が夫れ自身では人間の居住に適して居ても、換氣の阻止又は何らか他の原因にて他の建物を居住に適せざる樣にするならば、地方官憲は其の家屋を取毀すべき命令を出すことがある。此の場合賠償は拂はれる。

四、地方官憲は新家屋を供給することを得る、然し訴願の形式を經なければ強要されることはない。

已に述べたる如く地方官憲は勞働階級に新家屋を供給する權力を有つて居つた、併し假令甚しき缺乏ありとするも、缺乏の訴願が證據立られなければ決定的強制をされることはない。更に國家は家屋の供給に財政的の援助を與へなかつた。以上は主として本年迄の狀態であつた。今茲に一九一九年の法律　地方官憲に關係する主要なる條項を述べる。

第二章　家屋の供給、改變及修繕

一、地方官憲は如何なる家屋が必要なりやを研究し且つ必要なる場合に供給すること。

新法律に於ては各地方官憲は三ケ月内に勞働階級に家屋の供給に關して必要なる面積を考へ、保健大臣に其の需要に應するために要求せられ、且つ他の方法では供給され得ない家屋の供給に關する計畫を提出する義務がある。

大臣は若しも提出された計畫が適當でないと認めたならば彼等は適當なる計畫を得るための手段を執らればならぬ。彼等は更により以上の計畫が準備されると云ふ條件の許に提出された計畫を是認することが出來る。又は大臣に由つて定められた期限内に改正案を提出することを要求する。

此の項に述べてある、三ケ月以内に準備さるべき計畫案とは完全に準備されたる計畫に非ずして建築さるべき家屋の大略の數と性質、所要地所の大略の面積と位置、一「エーカー」の家屋平均數及び計畫の全部又は一部が完成さるべき期日を示した大體の計畫である。大臣が計畫の最後の是認を與へる迄に地方官憲は大臣に其の費用及豫期する家賃の見積を呈出しなければならぬ。

二、若しも地方官憲が彼等の義務を怠るならば州參事會又は保健大臣が實行することがある。

若しも地方官憲が計畫案を準備しない場合、又は計畫が作られてあつて之を實行しない場合、又は州參事會が計畫を立てゝ實行する方がよいと思はれた場合には保健大臣は地方官憲の義務を州參事會に移すことが出來る。更に地方官憲又は州參事會の怠慢なる時は大臣自ら執行することがある。總て怠慢の場合には大臣又は場合に依りては州參事會に於て負擔せる出費は地方官憲から回復される。

三、近接せる地方官憲は共同計畫を提出することを得。

接續せる土地の狀況により連合住居計畫が望ましき時は二又は三箇の官憲は一致して共同計畫をすることを得。若し共同計畫が明白に必要なるにも拘はらず、之を爲さゞる時は保健大臣は共同計畫をなすことを得。州參事會は大臣の承諾を得て共同計畫をなすことを得。

地方官憲が共同計畫を要求されたにも拘らず之を實行することを怠る場合は保健大臣は州參事會をして續行せしむる樣權力を與へ又は大臣自ら前二項に於て述べたる如く同樣に執行することを得

四、土地に關して收得を容易にすること。

土地の收得に關する困難は過去に於て或る場合には家屋改良に又特に貧民窟除去に關して甚だしき障害となつた。貧民窟除去に關する新法律の條項は斯の册子の第四章に述べてある。土地が滿足なる同意によつて得らるゝ場合には斯の手續を取らればならぬ然し若しも之が不可能なる場合には地方官憲は强制力を用ふることが出來る。

新家屋に要する土地に對して拂はるべき價格に關する政府の新提案は土地收得法(The Acquisition of Land Act)に含まれておる。簡略に云へば、政府は全然此の事業に從事しておる價格評定官の設置を提案してをる。價格評定官の職務は如何なる小面積の土地と雖も嚴格に其の市場價値に拂はるべき價格を定めるのである。若しも一致しない場合には與へらるべき賠償金は地方官憲に依つて提出された額を超過しない。所有者は價格確定の代價を下落させなければならぬ。

五、規則の適用停止。

若しも家屋計畫の設計及明細書の保健大臣に依つて認可されたものが地方の建築方規則と一致しない場合には、是等の規則は此の部分丈け不用になる。

是れは低き標準を採用すると云ふの意味ではなくて全體の計畫の適當なる設計が準備されておるのである。

仕事が實施さるべき地域に於て現に現行建築規則と如何なる點に於ても一致ない設計及び明細書を保健大臣が認可した場合には、此の地域に於ては何れの個人建築者も同樣の範圍及び條件に於て地方の規則の條項から分離する特權を有つておる。

六、共益組合

政府は新居法に依つて勞働者階級に家屋を建てる共益組合に經濟的の補助を與へる。其の手續の詳細は保健大臣の發行せる「共益組合住民」と題せる小冊子に述べられてある。

更に地方官憲及州參事會が共益組合の組織を助け又は奬勵する場合の條項が法律の中に含まれておる。彼等は又金の貸附け又は分擔、讓與又は組合が借りた公債の利息又は組合の發行した株式又は公債の資金の支拂を保證することに依つて組合を助けることが出來る。

地域内の家屋の需要を見積る場合に當り、地方官憲は勿論共益組合又は他の組合に依つて建てられる家屋を考慮しなければならぬ。

七、都市計畫

家屋の甚だしき不足を直ちに改善すること及び貧民窟の改良は重要なる事項であるけれども、都市計畫を疎になしてはならない住居計畫を裁可する前に保健大臣は土地が自然的に建築の目的に適することを認むるのみならず、同時に地域を全體として考へて勞働者階級の住居に適する位置にあることを充分認めなければならぬ。彼は更に家屋が敷地に善く置かれ又道路が交通の要求と附近の面積の發達とを正當に考へて配置されることを保證する所の充分熟慮された配置設計を要求する。

併し又住居計畫地の周圍の土地の發達が住居計畫の配置設計と調和するのみならず總て將來の建築物の發達が適當に制限されることを確めることは甚だ重要なることである。

夫故に地方官憲が出來る限り早く都市計畫を進めることは根本的に必要である。斯く計畫に由つて且て將來の發達が確定せる設計に從つて取締られる。是は多くの現在の町村を害しておる誤れる街路設計と建物の混亂とを防ぐであらう。斯かる計畫に依つて幹線及び他の道路の建築線の設定、一エーカーに對する建築物の制限、充分なる空地の準備及び工業、商業及び住居の爲に各適當なる面積を指定する爲めの準備が成される。

新法律に依つて都市計畫の實行が簡單にされた。地方官憲は今や決斷を以て彼等の區域内に於て任意の土地に於て都市計畫を準備することを決定することが出來る。而して其の爲に保健大臣から協力を得る必要はない。

計畫の擴張準備を捗々しく進捗せしめる爲に、保健大臣は提案の擴張を、計畫の作成及び認可を條件として進めることを許す條件を規定せる命令を作る權利を有つておる。

保健大臣は計畫が直に實行されなければならぬと考へた場合には任意の土地に於ける都市計畫を準備する樣に任意の時に地方官憲に要求することが出來る。一九二三年一月一日以後は都市計畫の準備は人口二萬以上の區又は市域に强制される、計畫は一九二三年後三年間に用意されなければならぬ。

更に若しも地方官憲が都市計畫に關して彼等の義務を果すことを肯るならば、保健大臣は自ら行ふことが出來る。又區或は人口二萬以下の市域又は村落地域の場合には州參事會に行動の權力を與へることが出來る。何れの場合にも費用は地方官憲に負はす。

八、家屋の買收、家屋を平家に變更、住家の修繕等。

地方官憲は今や家屋を買收し且つ夫れ等を勞働階級の住家に變更することが出來る。

保健大臣は冬季迄に出來る丈け多くの供給を準備する爲めに、直に變更することが適當で且つ有利であるならば直に變更する樣に切望しておる。

地方官憲は同時に請人が建て樣とする家屋の完成の後に購入することを契約することが出來る。斯る場合には地方官憲の計畫の場合と同樣に設計と明細書とは大臣の認可を得なければならぬ。地方官憲は彼等自身の計畫の細部に全然從事しておるから、彼等の權力を用ふることに由つて或る數の家屋は然らざる場合よりも早く完成することが出來る。地方官憲は此の權力を如何なる程度迄用ふることが出來るかを考へなければならぬ。

是迄地方官憲は必要なる衛生的設備、給水、洗濯設備、火事の豫防、室の適當なる採光、及び共同用階段及之に類似のものを長屋（テネメント）及び間貸家に設備する權力を有つて居なかつた。新法令は地方官憲に之等の問題に規則を設け且つ强制する權力を與へる。若しも地方官憲が斯る規定を作ることを怠り又は不適當なる規則を作る時は、保健大臣は自ら地方官憲に由つて作成されたものと同樣の强制力を有する規則を作ることが出來る。若しも土地所有者に依つて必要なる仕事が實行されないならば地方官憲は所有地に構はすに自ら施行することが出來る。

更に若しも家屋が如何なる點より見ても合理的に住居に適する樣に設備されて居らず、而かも改築によらずして住居に適する樣に作られるならば、地方官憲は之に注意を與へる。而して若し所有者が注意されても必要なる普請をせざる場合は地方官憲は其の仕事を自ら實行して其の價格を所有者に負擔せしめる事が出來る。

今日迄或る場合家屋所有者は家屋に百く修繕することが出來なかつた爲めに借家人は困難をしたのである。所有者が勞働階級の爲めに家屋を改築、擴張又は改善に必要なる費用を得ることが出來ない場合には、地方官憲は適當なる場合に斯の目的の爲めに金を貸す權利を與へられる。（つづく）



（談叢）

坪内士行さん夫婦の理想の住宅

M婦人記者

「いやもうねつから貧乏世帯で、何んとかかんとか理想ばつかり描いてみた處で、どうも始まりませんね、今迄の一年はまゝ事のやうな結婚生活でした。之からは本當にみつしり堅實に勉強せなければならないと思つてゐますよ。」と士行さんは砕けた如才ない調子で、先づ往訪の記者をそつと撫でるやうに丸め込んだ。

處は府下櫻井の閑靜な家庭生活、瀟洒な日本建の二階の一室、應接兼御主人の勉強室といつた形の室である。お茶を運んで引き下つた操夫人は、やがて下の座敷で、輕くピアノの鍵盤を叩いた。それを聽きながら士行さんは、御二人の、所謂理想の住宅――に就いて說明した。

「妙なくせで、私は永い間外國生活もしてゐながら何ういふものか、純西洋風の生活法にはまだ猶染みません。どうしても私には日本風の趣味が合つてゐるやうです。西洋にゐて椅子に掛ける時もよく私は椅子の上に座つてゐたものです。それだのに家の奥さんは、西洋風が好きだといふのです。住宅も洋館でなければ厭やと云ふのです。そ

れで時々二人の意見が衝突しますが、其處はまあいゝ加減に妥協して、理想的の住宅を考へて見ました。もう設計案迄出來てゐるのですが、扨てそれが實現するのは何時ですかね、三十年も先の事だらうと思つてゐますよ。到々私の友人が京都に丁度同じやうな家を建てゝしまいました」

さういつて士行さんは面白さうに笑つた。それから一寸お茶をすゝつて語つた處に依ると、その二人で考へた、といふ設計案は次のやうなものであつた。

――それは、先づ地所は阪神沿線の西の宮邊から香櫨園、芦屋邊り迄かけた濱手の方である。坪數は大して宏大なものは要らない。先づ敷地と相當な庭園だけ可なりゆつたりと取れるだけあればよろしい。庭園も普通個人の庭園として三百坪以上有ることは、何の點から見ても不經濟であり、寧ろ無用の事ださうである。樣式は全然洋風の芝生や花壇の庭園ではない。又石燈籠や築山や池やで小細工した日本風のせゝこましい風流ぶつた技巧も用ひない。其處は何となく寛濶な、又趣のある自然的な淡白(あつさり)としたもので、樹木は無論日本物の松や櫻や紅葉やで適宜に形をとる。

家屋の方は、外見純然たる西洋館である。然うして內部に這入ると巧みに調和した和洋兩方の樣式を持つてゐる。それは近頃有りふれた和洋混同の折衷式ではない。ちやんと區別された純洋館と純日本室を持つといふのださうである。坪內さんに云はせると、大抵の和洋折衷にした新築の家屋が、よく階下を普通の日本建にして、階上を氣取つた贅澤な洋風の應接間にした家が多い、それは如何にも解せない不服なものださうである。坪內さんは階下を全部洋館にする。それには、從來のやうに、日本人でありながら、日本的生活と離すことの出來ない下駄を履いてそのまゝ上に這入れないといふのは大變不都合である。靴はそのまゝ上るのに下駄であると脫がねばならないといふやうな洋館は、日本人には不向きである。で、下駄でも靴でも草履でも差し支へなく上れるやうな設備にする。それには、土間を全部コンクリートや板敷ではなく、縱に切つた木を埋めるのである。

然うして應接間から食堂、寢室、臺所と一通りの洋室をしつらへる。而して階下から階上に上るべき梯子の處からもう純然たる日本風になる。人々は其處で下駄を脫ぎ、靴を脫ぎ、上草履と替へて階上に行く。階上の日本室は慰安室である。勉强室である。考へを纏めるところである。總べてゆつくりとした、靜かな、落ちついた思想生活の場所である。それは丁度、活動服、仕事服として、洋服を着し、仕事を了へてくつろいだ時に、ゆるやかな日本服と着替へるやうに、自分達の住む家にもさういう兩方を備へたいといふのが坪內さんの希望であつた。

「獻立だけは贅澤なものですが、出來上るのは覺束ないやうですね。お金でもうんと出してくれる人でもあつたら、私等二人で洋行もしてみたい抔と云つてゐますが……」と又も坪內さんは笑つた。

京都と西洋文明

申す迄もなく衣食住の事が人生の中で大切な事ですから、京都に於ける西洋文明衣食に關する影響が最も著しくある。第一に織物類の輸入は慶長時代以後、又すもつと後代迄も和蘭あたりから絶へず輸入されたのでありますが、其起りは、或場合には慶長以前にも遡りますが、主として盛になり始めたのは慶長以來の事であります。被の羅紗であるとか繻珍であるとか、或は今日は廢れてしまつたが、チャウとか、サントメとか、サヤとか、或はカルサンといふような織物も多くは慶長以後からのことであります。

必ずしも京都に限つて多く渡來したといふ譯ではありませんけれども京都は大なる都會でありますから、其處へ輸入せらるゝことも多かつたし、又之を京都の染織家が輸入して、それによつて新しい織方などを、發明するのに參考としたことも多々あらうかと思ふのであります。



漫錄

太西洋を見る日まで

□五□

會員 工學士 波江悌夫

○雪のポートランド

ヴアンクーバー市の訪問旅行をどうにかやつてのけた自分は、今度は南の方ポートランド市を觀察しやうと決心した。單獨で切符も買ひ、寢臺車と交涉し得る樣になつたことは自分にとつて何より嬉しいのである。

ポートランド市はオレゴン州の第一の都市である、海岸經の鐵路は途中にタコマ市を貫き百五十哩を隔て、沙布と連絡してゐるのであるから夜の最終の列車に乘れば早朝にはポ市に着く事が解つた。

一夜意を決してプルマンカーの上床に身を横へた。米國の汽車は等級の別がない、寢臺車と普通客車とある丈である。そして寢臺車は皆プルマン會社の製作に係り且つ一切の受負をやつて居るのだそうで、寢臺車の切符はプルマンカー係が販賣してゐる。

列車は思つた程大きくはないが日本のに比較すると巾に於て約一尺二三寸廣い樣である。所謂廣軌といふ奴に相違ない。席も兩側に二人宛腰を掛ける樣になつて居て、中央の通路はまづ二人が行違ふ事が出來るから大きいに相違ない、列車は悉皆鐵製であるから一寸驚かされる、そしてマホガニー色に塗つてあるから氣持もよい。

終列車の事であるから寢臺車はベットを皆設けてあつた綠色の幕を下して上下兩床になつて居る樣子は全く日本のと同じである

下床は雪切れて止むなく上床に宿る事になつた。ベットの世話は人　のボーイやつて居る、見るからに愛らしい顔付であるが身體は六尺近くの大男であり色の黒い點に於ては印度人も三舎を避ける程である。

そんな事はどうでもよい、自分は直くに上のベットに横はつて寢てしまつたが、相變らず混雜した夢路を辿つて居た。翌朝ボーイは毛布を引張つて「起きてくれ」といふ。汽車はいつの間にか止まつて居る、「何處だ」と聞くと「ポートランド」と一種の口調で答へた。時計を見ると五時半である、夜はまだ明けて居らぬ、客人は大半まだ寢てゐるらしい、汽車は四時に着いて居つたのださうだ。早過ぎたのでゆつくり起して廻つて居る。ポートランド止りの列車に相違ないが、聊か呑氣な處があるぢあないかと思つた。

「物凄い雪ですよ」と黒人がいふ。何に雪が降つてゐる？。冬の事だ驚くに當らないが聊か閉口した、此五六日晴天續きで喜んで居たのに折角のボ市見物も雪ぢあやり切れないと思いながら手荷物を携げて列車を出ると驚いた。成程物凄い吹雪だ！。

明けやらぬ朝は灰色といふよりは暗黒だ、暗黒の中から眞白なものが吹き出してもう一二寸は積んでゐる、黒ずんだデポーの建物を見上げて思はずホット歎息した。

待合室に入つて暖爐の傍に荷物を下して什うしやうかと思つた雪になつては見物處の騒きでない、さればといふて此儘引返すのも強腹だ。止んでくれゝばよいがと思つて支關の處へ來て見ると什うして〳〵止む景色は更にない。向ふの赤煉瓦の三階建はもう厚化粧をして居るし、往來は今馳り去つた自働車の轍の跡さへも忽ち消されてしまふ。こりあいかん。雨具の用意もない自分は全く途方に呉れる事となつた。

まあ腹をこしらへてからの事と氣を取直した自分は食堂へ飛び込んだ。

「寒いね」

といふ自分を見下しながら丁場の若い男が、

「二十年振の大雪だからね」

と答へた。二十年振の大雪！　成程物凄い譯だ。

「此邊はあんまり雪は降らんかい」

と聞くと、

「お前は今朝シヤトルから來たんだね」

と聞き返した。「さうだ」と答へると「何を食ふ」といふ無駄口を喋らんで早く注文せんかといふ体度だ、不意を喰つて注文の言葉が出て來ない。

「何にするね」

と奴さん疊かけてくると愈面喰つてしまつた、此寒いのに顔が赤くなるんだから仕末が悪い。メヌーを跳めてモジ〳〵してゐるとその男は後から來た客人の注文をさつさと聞いてゐる。

漸く二皿ばかり注文すると奴さん

「お前今朝はよつぽど腹がすいてゐるね」

といふ、腹かすいて居やうと居まいと餘計な事ぢあないかと言ひたいが思ふ様に言へないから

「私は今朝は空腹なんだ」

と答へる、思ふに此奴も自分を支那人と考へたに相違ない、ニヤ〳〵した微笑が奴の口元に出てゐる、お陰で喉はぬ中から急に腹が張れて來た。

○野良犬の如く

雪は中々止まない。繪葉書を買つて通信を書いたり、地圖を買つて方面を檢べたりして二時間ばかり待合室に暖をつぶしたが、とにかく一通り大通丈でも見物しやうと決心してデポーを出た。

自働車屋が乘らんか乘らんかといふのを聞き流して雪の歩道をスブ〳〵歩き出した、襟に舞ひ込む粉雪はたまらなく身にしみる一丁來の靴もビチヤ〳〵になる、足は指の先から凍つて來る。已巳と降る雪の中といふと如何にも風流に聞ゐるが、方面も解らぬ異鄉の巷に漂ふ身には此大雪はあんまりだ。

電車通に出た頃は外套は眞白になつた。一々地圖を廣げて見る勇氣もなくなつた。足の向いた方へ行つたら什うにかなろう、元氣を出して歩いたら身體も温まる譯である。電車にはうつかり乘れない。何處へ連れて行かれるか知れない間は……。

大通の兩側の家はだん〳〵高くなつて來た、三四階の家並が七八階となつて來た、見ると市の中心に近ついたが例のノツペラボー閣がニヨキ〳〵立並んでゐる。暗灰色の空を配景にして物凄い谿谷の景色を描き出してゐる。

時々は野良犬の夫れのやうに身振をしては雪を落し兩脚を奮張つては足に力を入れ換へて歩んだが誰一人知人もない此市に入り込んだ我身を省みては寂しい苦しい氣持ちになつて來た。見物に來だんだが視察に來たんだか解らなくなつた、孤影放浪の旅路に迷ふやうな有樣である。……のみならず默々として立つ高閣は奇峰凸稜の姿ありといふか、巖壁に穿たれたる點々たる窓は單調なる矩形の連續的階律に出來上つて居る、其處に人の心を溫かならしむる松の綠がある譯でない、嵐にさわぐ清流の岸を洗ふ趣がある譯でないからであろう。

風にさわぐ雪の舞ふ姿すらが直線的であり、往來の行人、車馬の馳突も幾何學的軌跡に出來上つてゐる以上は自分の旅情も何處となく餘裕のない物寂しさである、風流だとか、趣味だとかいふ感念は此國には禁物である、自分も亦此の都會の眞直な歩道を點々として歩み直線的階律に動 て は到る處で、突當つて多角的な感情を拾ひ集めるの外はない事になるのである。

歩道の雪は地下室の採光を妨くるが爲めに除かれる、其處に雪摩の作成に苦心する苦勞人も居らぬ、足元に氣を付けぬと稍もすれば埋込まれた採光窓の鐵枠に辷つて直線的轉倒を餘義なくされる。

摩天閣の谿谷の間に設けられた遊園地も雪に埋められては所々に散在する銅像迄が閉口して居る、總して米國の大都市は北緯五十度附近に散在して居るが、都市全體の風格は南國の風を帶びて雪國の趣を持つて居らぬ樣である、これは建築物の大半が南歐文化の影響を蒙つて居るからであろう。とにかくこのボートランドは自分にとつてはあんまり面白い初印象を與へなかつた。

○地域制度

心は行方によつて什うでもなる、行倒れにもならずに無鐵砲に此市の都市計畫課を訪問した自分は計らず懇切な若い技術家に手を執られ、此市の都市計畫事業の概略な說明を聽いて心自づと躍らざるを得なかつた。近代都市勃興の趨勢は必然的に人口の密集的傾向となり、無頓着なる高樓の建築に熱中したる米國都市の大部が、漸く科學的文明の弊に陷り、街路交通系統の混亂、採光衛生問題の發生を來し、急擧之れか善後策に沒頭するの止むなき狀態となつて來た、都市改善熱は茲に輿論を動かして、此の市にも都市委員會の成立を見る樣になり、目下盛んに地域制度の研究に着手して居るのだそうだ。

机の上には赤、青、黃に塗り分けられた幾枚の地圖が重ねられてある、若い技術家は色鉛筆を耳に挿し、黑いカバーに身を掩ふて熟心に地域の狀況を說いてゐる、自分は成る程ハ、ア！ヘー左樣かと合槌を打つて居ると思ひたまへ。

折から一人扉を押てしヒール樽の樣な大男が入つて來た、元より何かの用務で來たに相違ない。

「御機嫌よう」

と此大男は赤い顏に一面の笑を湛へて若人に挨拶した。

「入らつしやい」

と若人は頭を上げた。すると耳の鉛筆が意味有り氣に地圖の上に落ちた。

「こりあ、何の圖ですかい」

と大男は大きな聲で不意に質問した。

「地域制度の研究圖ですよ」

と簡單に答へる。

「何んですつて、地域制度、そりあ、一体・何んですかい」

若人は何處迄も親切な男と見ゐて

「此頃問題になつて居る、都市改良事業の大眼目である處の地域の區分圖ですよ、工場は工場地域でなければ建てられない、住宅の地域には住居の安寧を害する建物を禁止する、商業用の建物は商業地域に於ける要件に合致させるといふ風に制限を設ける樣になるんですよ」

「すると何んですかい、一々やかましい規則に依らなければならなくなるのですな」

「そうです、斯うしないと益々市內が混雜して安寧秩序を破る事になり都市の發達を阻害するのみならず、衛生保安の上に於ても市民の幸福を破る事になります」

大男はへー〳〵と苦笑ひを初めた。

「學者さいふものは余計な心配をするものだれ、そして色々な面倒な規則をこしらへて世の中を益々窮屈にする樣に努力して居るとしか思はれない。ハー〳〵」

と高笑した、若人は返辭に困つて居たが、

「まだ〳〵面倒な事かありますぜ、此地域制度に伴つて建物の高さの制限が斷行されますよ、もう麻天閣も頭を無暗に延はす事が出來なくなる、往來の巾の二倍半以上は絕對に許されない」

「すると足元にかりでなく、頭迄用心しなければならなくなるんですかい、こりあ大變だ、俺の子供は他の市へ移住する樣にさせやう」

赤ら顔は子供の心配を始めた。

若い技術家は鉛筆を耳に挟みながら

「吾々の子供や孫の心配をすればこそ、今日百年の大計を立てる必要があるんですぜ」

「それはそうとこんな事業を愈やるとなゝと随分と費用も入用だろうが誰か出すんですい、やつぱり吾々の頭割になるんでせうな愈々以てたまらない事になつたもんだ」

と大男は歎息した。技術家もこんな手合に掛つては退却の外はないと思つたか口を閉ぢた。

自分は二人の問答を傍聴して思はぬ學問をしたが、こんな處でこんな見學をしやうとは全く思はなかつた。都市計畫事業の前途は此國でも可なりの巨離にあることを明かに教へられた。そして心から感謝して市役所を出た。

○町外れ迄

ボートランド市はコランビヤ河の南岸に在る、北一帶は華州領域になつて居るが、此大河を横ぎつて有名な橋梁が三つか四つ架けられて居ると聞いた。それが皆異つた設計に成つて居て、釣橋もあれば回轉式もあり、又二重橋梁とあつて下層は鐵道用になつて居るのもあるさうである。

ともかく此都市の大動脈である大河を横ぎつて彼岸の住宅地を視察しやうと考へて、市役所を辭した。雪も小降りとなり、往來も人影が増して居る。とある支那料理屋に立寄つて腹をこしらへながら、地圖を按じて電車の統を檢べて見る、兩方が腹に收まつた處で、又ポツ〳〵歩き初めたが、雪はまた激しくなつて來た。折からやつて來た電車に身を托して、自分の新たなる復案を實行しやうと思つたが、土地不案内の事しさは仕方のないもので、鐵橋に差掛る筈の電車は東洋の孤客の心も知らないで南岸に沿ふて雪を衝いて走つて行く、今更降りる元氣もなくなつて行く所迄行つて見やうと覺悟はしたが、漸次に寂しい住宅地に登つて行く、右手の丘はだん〳〵迫つて來て軌道は河畔の長く延びた街道を遠慮もなく進んで行く、雪愈深くして行人全く跡を絶つ樣になつても、終點らしい處にはまだ屆かぬ。

こりあいかん、さう〳〵やり切れないで降りてしまつた。電車は忽ちに雪の街道に消えてしまふ。小粒の雪のだらしなく降る中に立盡したる自分は眞白になつて上りの電車を待つたが中々來さうもない。停留場らしいもののない街道筋、見るからに貧弱な木造住宅の立並ぶコロンビヤの町外れに、泣かんばかりの立姿！考へて見ると自分ながら氣の毒な譯である。

五六寸の雪を踏んで茶屋らしい小舍に急いだ、兩手兩脚の自由も束縛されて來た、こんなアホラシイ仕末に陷つては孤客の寂しさは又一倍である。漸く一軒の煙草屋に辿り付いてハツピイラツクの一箱を買ひ、ハツピイならさる煙を上げた。

白髪の老翁は自分を見て怪嫌な顔をしながら、

「こんなに降つちあ、電車も立往生だろうぜ」

と村の若者に聲を掛けた。

「なあに、車掌の奴だつて早く任務を終へたいだらうさ」

とベンチに腰を　した。曲つたパイプから輪の煙を上げながら

「今年は什うしてこんなに降るかなあ」

と老翁の顔を見上げた。老翁はポッケットに両手を深く突込んで大きな肩を動かした。

「降るときは降るもんだて」

自分は黙々として此場の光景を露西亞の片田舎に移して見たい様な氣がした。

＊　＊　＊　＊

家居の似合しくあらほしきこそ、假の宿りとは思へども興あるものなれ。よき人の長閑に住みなしたる所は、さし入りたる月の色も一際しみ〴〵と見るぞかし。今めかしく綺麗ならねど、木立ち物古りて、故意とならぬ庭の草も心ある樣に、簀子、透垣のたよりをかしく、うちある調度も昔覺えて、安らかなるこそ心にくしと見ゆれ。多くの工匠の心を盡して磨きたて庳土と日本の珍らしく、いならぬ調設ども並べ置き、前栽の草木まで心の儘ならず作りなせるは、見る目も苦しくいとわびし。さてもやは長らへ住むべき。また時の間の烟ともなりなんとぞ、うち見るよりも思はるゝ。大方は家居にこそ、事ざまは推して圖らるれ。

無事にユニオンデポーに引返した自分はもう北岸の視察をやる氣になれなかつた。四時の列車に便乘して其夜十二時にホテルフライに歸つた。

翌日の新聞には「二十年振の大雪」といふ見出しでポートランド市のあらゆる交通は支障を來し、損害高二十萬弗に昇つたといふ報告が掲載されて居た。

原稿生活物語（一）

E K S

左して感激の生活ではなかつたが、文官試驗の合格證を多少會心氣味で握つた初心な吾れ、或る中央官衙に十年近くも小役人生活を爲した吾れ、更にそれ、衆議院の試驗場に高文や司法官の登龍門？を攀じてみ又攀じむとした、吾れ即ち何處まで往くかは判らぬが、兎も角、官僚生活で進まうとした吾れ、頓と世界の異つた原稿生活——新聞記者や雜誌記者生活に十年許の行程を辿り來つた、跡を振り返つて見れば、隨分變化のある途であつたナ、と抽象的に考へられるが、扨て其くさ〴〵の事の跡、大概は忘れ盡して、まだ過ぎ越し方を語る程左樣に老ひぼれては居ないが、曾ては某新聞記者たりしとき、青年や壯年の方達から、新聞記者志願——といふ甚だ以て不心得な希望の書面が隨分と舞込むだ事を懷ひ、又現在多くの方達が、新聞や雜誌に筆執る事を、詩の國にでも出掛けるような、一つの、華やかさ・そして心躍るかの憧憬を有つてゐらつしやるようであるから、原稿生活のヒルムを少々お目に掛けるのは、强ち興なき業ざでもあるまい。

偉いので　おツ魂消た

下級文官と云つても、吾れには吾れの矜りありで、駈け出しの高文持ち法學士殿にも、高等官何等の局長殿にも、秩序といふ官制の壓へ石以外には、大して感激のアタマを下させられてゐなかつた筈の吾れも、所謂新聞記者の偉らさ加減には、ほと〳〵感服な仕つた。何んだと云つても、吾等の畏敬しまつて、私共がドアの響き一つにさへ最敬意を罩めて伺候する長官閣下との對話に、外套と帽子の儘はまだしも、時々反り返つた新聞記者殿の兩足の、光榮ある泥靴が卓子の端に鎭座在します事珍しからず、彼れは何を談ずるのか、何を訊くのか、并

麼事は小吏吾等の窺ひ知る處にあらざりしも、吾等の敬畏しまつる長官閣下が、慇懃に、時には夠躬如として、尚及ばざるを虞るの態あるを觀るに到りては、其記者先生の無性さに吾れは、淡い反感を有ち乍ら、扱ても新聞記者といふ者は、偉いものだナ、との感は、毎時もわたくしの初心なる感情を唆つたのである。それは、餘りに見榮をの見た極めて淺薄なる感觸ではあつたけれども、原稿生活にほんとうの吾が興趣を看出すべく運命付けられる狀況に在つた處の吾れは、新聞記者の偉さ觀に幾らかの割增が加はつてゐたのだ。勿論彼樣に反り返る事其ものにも、泥靴の鎭座それ自身にも、一種の嫌忌と侮蔑と反抗を有つて、禮に對しては何處迄も禮を以てするの考へに自らの態度を持することには、何も自分の矜るべきオリジナルが割引される譯なものでない、との想ひは、わたくしの今も有つてゐる處であるが、新聞記者としての尊き一種の氣分と、ほんとうに新聞記者として生くる事其ものが、わたくしの見る憧憬の的であつた。そして、他面に、わたくしの居た處では、小役人——いや大役人でも——其處に鼻摘みもならない排他と陰險と同黨伐異と、そして、嫉妬と猜疑と陷擠と、まあ一恐らく凡ゆる小人的典型が彼等の通有性であつたから（——他の官署生活はわたくしの知らない處である——）わたくしは、是に對する惱みと嫌忌は、廣い自由な青空らに、思ふ儘翔躍したい、ほんとうな吾が個性に生き度い、との憧憬は、『運命』といふ無觸の手に引張られつゝ、何時しか原稿生活に向つて辿りつゝあつた。

新聞記者生活の首途

大阪と神戸と滋賀縣と廣島縣に、鳥の子紙半枚で、何んの事はない小包郵便でもあるかのように、ゴ都合次第の轉勤命令には、由來厭や氣の差した吾れ亦も先輩の引き轉ろばしで名古屋下んだりに飛ばむとしたが、其他にも少々事故もあつたけれどもまゝよ、何うなとなれ！と或る確い吾が信念は、茲に愈々辭表を捧げて、兎にも角にも、所謂足を洗つたのである。其折柄、大阪の一角に、變り者揃ひで、日刊新聞の變りものが創刊される事にな

つてゐた。それは、陣容却々振つたもので、先づ社主となるのが、今でも或意味で殊に奇人として天下に名を馳せてゐるM氏で、社長格が、大阪辯護士界の硬骨にして、曾ては代議士や府市政に重きを成したH氏、そして、主筆といふのが、誰あらう例の蒙古王佐々木照山氏であつた。最高幹部ともいふべき面々の變り者揃ひたる事既に斯くの如し、新聞夫れ自體の經營と編輯に到りては、焉ぞ破凡のレコードならざらむと欲するも得べけむや、であつたの然り、其經營は確に破凡であつた。是には、社主M氏の奇人的個性が遺憾なく發露されし種々な挿話（エピソード）がある、併し今は是だけの事を云つて措かう。編輯の方法に就ては、編輯部員總會議の席上種々な破凡的規約を取り交はされたが就中、最高幹部の顔觸れを見ても當然な事と肯かれる通り、先づ、中立不偏不黨も、不覇獨立も、所謂威武に屈せず富貴に淫せずも、それは、大概な新聞の創刊を飾つた月並文字であるが、實際此の新聞許りは、件の信條を文字通り何處までも嚴守する事に先づ出發點を置いた。是は大して變つた行き方でもないが、由來新聞の品性を窺ひ得べき三面記事の如きは、花柳記事や、或は間接にしても、市井の破風紀事實や、乃至は、陰約に犯罪手段を示す記事、其他凡て從來の三面記事なるものに對して、最も淨いそして勿論趣味に富み、社會教育として意義付ける方針の下に、三面記事のレコードを創る事に申合つた。勿論是許りではない、書けば種々な破凡的申合いもあつた。次には各部に記者を採用する標準が亦頗る振つたものであつた。それは、第一條件が新聞記者としての自信ある者、——要するに、全然素人たる事であつた。其他の條件も隨分振つたものであつたが、是は直接必要が無いから、行數潰しを廢して措かう。發刊を一箇月許りの目の先きに控へ乍ら、素人を以て一の面から四の面迄——當時四頁ものであつた——を物にしようといふのだから、其處に變り者揃ひの面目が發揮されてゐるのだ。斯うして出來上つた各部の連中を見ると、成る程、新聞記者としてはどれも是も處女的な鮮しさがあつた。先づ、一の

面の主任であつて主筆代理格の、そして政治部主任であつたO君は、高師出で、つい其先きまで某中學校の教諭であつた、そして、わたくしが、時々社説と、一の面の二三欄を助けてゐた。府、市政の擔任が、某會社でペンと算呂盤に生活を托してゐた人だ、經濟部面も亦殆ど同樣な經歷の人、殊に、敎育擔任記者としては、勤續二十年許の某學校長の職を弊履のように拋げ捨てゝ、報酬よりも仕事よりも、社主M氏や社長H氏、或は蒙古王抔に高潮せる感激を捧げて馳せ加はれる某君の如き、是も確に變り者の錚々たる者であつた。其他所謂三面の社會部には、遖に傾向氣分に富むだ人達が多かつたが、其經歷は、まあ無垢な人達であつた。今、東京で文士生活に賣出してゐる黑羊（假名）君が客員格で全般の助言を爲し、東京からも、氣鋭な而して素人連中が三五人來てゐた。斯ういふ何から何まで特色？のある新聞だから、創刊發表以來全國から購讀申込み即ち有料だけでも、初號から眞實の處一萬餘り出たが、是は、確に創刊のレコードであつた。

餘り長談義を續けるようだが、わたくしの『原稿生活』をお話する前に、も一つ書いて置かねばならぬ事がある、それは、社員殊に吾々記者に對する待遇である。云り後れたが、創刊は大正元年の四月であつた、そして、當時のサラリーマンとしての報酬に、月最下一百圓といふことは、確に厚遇である、吾等記者連の最下級の人にすら、月一百圓々與へられた、但し、是には條件があつて、創刊六箇月後——即ち稍基礎の見込みが付いた後といふので、それまで月々の報酬はサラリーにあらずして、『お小使ひ』といふ名稱の下に、普通な報酬を與へてゐた。此處にも社主M式が發揮されたのである。

斯くして、わたくしは、一の面を助け、主としては、所謂司法記者との辭令を頂載して、初心な單純な、そして、何處かに自信のある華やかさを覺へつゝ、當時某裁判所の『司法記者室』に所謂先輩達のゴ眷顧を冀ふ事と成つた、是が抑も、わたくしの『原稿生活』、左樣、わたくしの職業として、原稿に親む初一步であつた。是から、追々と、わたくしの『原稿生活』其ものを、書いてみよう。

（つゞく）

表紙から思ひついて

——新文明と貼り付け——

吉村美代子

◆送つて頂いた「建築と社會」の二月號を手にして上包みを除けた時、先づ第一番に私の眼を惹いたものは、あのすつきりと體裁を替へた目新しい表紙でした。あつさりとした淡い鼠色の表紙の眞中に、小型な三色版の獨逸の湯ぶねだといふ實物寫眞を貼りつけた思ひつきが、非常に氣の利いたものに見ねたのでした。私はそれから不圖思ひついて、色々の貼りつけるもの抔連想してみました。

◆いつたいに總べてのものは然うですが、何でも淺とした單色の一色の中に、一點強い色をピリッと利かすことは、其もの全體を非常に生かして目立たせるものであります。例へば婦人の服裝でも然うなので、頭から足の爪先迄、出來るなら一色を以つて統一し、只其中心點に、例へば帶とか半襟とか、下駄の鼻緒とか、然う云つた僅の小部分に非常に強い反對色を一寸心を配つて使つたならば、全體から受ける感じは、どんなに引き締つた扱目ない取り合せに見ねるでせう。或は場合に依つては、婦人の半襟一つ、帶上げ一本にも、濃厚な、あくどい模樣物より無地色、無地色よりも寧ろ一點の強味を添へた小模樣が、づつと引き立つて見られます。

◆其んな意味から、一つの建築物に於ける間取り又は室内の裝飾、更に大きく見ては郊外に配置する家屋の位置や全體の背景から觀た家の格好、屋根瓦の色の調子——そんなものを一々女性らしい細かい苦情と注文を揃へて並べたらどんなものでせう。

◆例へば晴々しいコバルトの大空に掩はれた平野の中に、又は宏大な絲深い山麓のほとり、ちよつ

ぴりと介在した赤瓦の小さな西洋建は、どんなに可愛らしく美しく見ゆるでせう。或は、廊下つゞきの質素な、瀟洒な、日本間の中程に、一室だけ非常に贅澤な、絢爛な、目醒むるやうに派手な西洋室を一つだけ狹んだらどんなものでせう。室内の裝飾にしても、すつきりとした中に、只一點の高價な、値打ちある置物と軸を置く……私は然ういつたいたづらを好みます。

◆筆が變な方へ趨りましたが、私は、前月號本誌の表紙から思ひついて、「新文明と貼りつけ」といふ苦しいこぢつけものを書いてみたいと思ひました。昔の和本でも表題だけ赤や黄や白の細長い別の紙を切つて、草色などの表紙の左脇に貼つたりしたものを見受けますが、然しそれは意匠としてもずつと單純でありませう。

◆同じ貼りつけでも、日本に特有な紋抔は着物の地色を染め抜く代りに、切り抜いた紋の布を貼りつけたのを、今でも田舎の人達は時折着込んでゐるのを見受けます。家の紋抔は全く日本特有の祖先崇拜、家族制度の産物で、西洋人には餘程珍らしく見ゆるやうです。

◆一體に貼りつけるといふ事は染めたり書いたりするよりは非常に物の手數をはぶきます。從つて簡單で、明瞭で、文明的とは言へないでせうか。昔はお上から一般の民へ公告するのに一々高札を用ひました。それが今日は縣廳や郡役所や市役所の門前に公告文を貼り出してゐます。商品にはレッテルが貼られ、電車内にも廣告が貼られ、無論都會の商店や街道の辻には激しい貼り出しが目まぐろしい程澤山です。もつと抜け目なく素敏こいのは、一流のホテル抔、宿泊したお客様の荷物や鞄に自家廣告のレッテルをベタ〳〵貼つてゐるではありませんか。みんな文明の生み出した激しい競爭の姿だと思ひます。

◆けれどもその程の物質主義、現實主義の結晶「貼り付け」が、今度は一足飛びに藝術の領域を浸したのは何といふ奇抜な皮肉でせう。人々は昨年末、露國未來派の詩人、バリモフとブリュリックが、澤山の素晴らしい未來派の繪畫を提げて日本を訪れたのを記憶してゐませう。なんでもその時

三越樓上でその展覽會が開かれました。私達は、あの強烈な色彩や大膽な表現の、難解ながらも何となくぎゆッと心を一握りにするやうな力強さを感じさせられましたが、その中に、幼稚園の切り貼り手工のやうな、三角だの圓だの、色紙を、只の畫洋紙の上に二つ三つ貼りつけてあつたのには餘り意外で驚かせられました。何といふ端的な表現でせう。彼の畫家は、繪の具と刷毛で廻り遠い思想の表現に俟つよりも、もつと直截的で手つ取り早い、手近の赤や青の色紙を持つて來て貼り附けてゐるのです。私達にはその畫の然うした刹那の感興や思想は、無論解し得べくもありませんが繪畫の裡でも最も自由で放膽な未來派の中に切り紙の「貼り付け」を見たといふ事は、何と面白いではありませんか。若し獨自獨創の或る開拓や建設が、文化の最高權威だとすれば、恁うした「貼り付け」は確に一つの新しい新文明の産兒ではありますまいか。同じその時に觀たのですが「海水浴」と題された一枚の未來派畫には、畫面から實物の靴下がぶら下つたり、畫いた婦人の帽子に實物の造花がくつ付けてあつたり、「貼り付け」も此處迄思ひきれば、私達は只口を開けて見惚れるより外仕方がないでせう。

なもう少し平凡な處で、此頃は、婦人の衣裳や帶にも矢張り「切り嵌め」を致すやうになりました。それは、例へば色襦子の帶抔に變り色の布を模樣に切つて嵌め込んだり、友禪の花を切り取つて珍らしい模樣に見立てたり、紙入れや袋物に美しい鹿の子絞りの布を切り嵌めたり、手際のいゝものになりますと、隨分面白いものが出來上ります。

◆もう一つ目新しいもので、この頃岡本一平氏が例の輕い諷刺で「切り貼り細工にした政治家」の似顏を新聞に發表してゐます。在りふれた處では、道路にアスファルトや木材を敷き詰めるのも一つの貼り付けと云へませう。大阪市も都市計畫案がいよ〳〵實行されましたら、この道路の貼り付けは、益々堅實に實行されませう　一部が破損したら、又その上に〳〵と貼り付けられるでせう。西洋室の壁も型紙を貼つてあります。臺所用のお鍋も鐵板の上にエナメルを貼り付けてあります。文明的であればある程、人と人との交渉に迄メッキが盛んに使はれます。そんな風にこぢつければ、いくらでもあるかと思ひますが、あの西洋婦人がピンク色の美しい頰抔に、わざと畫くビユチイスポットも、元は小さな黑色の布片を貼り付けたのださうです。

僕のラングトン事件

蘆田秋双

やかましかつた例のラングトン事件も到々小笠原一等卒は無罪になつた。それは當然の事で無論斯くあるべき事である。

現今は陣地歩哨の守則に「三度誰何して答へざる時は射殺すべし」とあるが日露戰爭頃は「射殺すべし」ではなかつた。その頃は「逮捕するか又は刺殺すべし」といふのであつた。

處が馬鹿正直な歩哨は、暗夜敵の斥候が近付いた時

「止れ——誰か」と叫んだ。すると「ハイ敵です」と明答する程の露兵は日本の歩哨の如く馬鹿正直ではなかつた。

「止れ——誰か」と再び誰何しやうとする時は既にこの馬鹿正直な歩哨は、敵の爲めに無慘に殺されてゐた。

個人と個人となれば、子供のやうに小さい日本兵はどうしてあの偉大な猛獸のやうな露兵に敵ふものではない。それを捕へろとか刺殺せとは餘りに無理な注文であつた。

馬鹿正直な歩哨が頻繁に敵の爲めに殺されるので、それではならぬと漸くさとつた最前線の歩哨は、その後誰何せなくなつた。誰何しないで突然射殺する手段をとつた。誰何するのは則ち歩哨線を探ぐりに來てゐる敵に對して「日本の歩哨はこゝに居るよ」と自分の方から敎へてやる上に殺される事になるのだから、こんなつまらん事はない。

誰何せなくなつた爲めに歩哨が敵に殺されることが尠くなつた代り、今度は歩哨の爲めに、味方の斥候が敵と間違へられて殺される事が頻繁になつた。

斥候は敵の方へ近づくには最も用意周到に、足音すら立てないから從つて敵に殺される事も少い

が、味方の歩哨線へ歸つて來る時は、もう安心して自分の全身を曝露してサッサと足音高くやつてくる時、臆病な歩哨はスワ敵よと、よくも見定めずにズドンとぶつ放すのだから、とんだラングトン事件が出來上るのである。

實は僕にも一つのラングトン事件があつた。

時は明治三十七年の十月二日の夜の事で、則ち沙河大會戰の二日目であつた。

前日來惡戰苦闘を持續しつゝ我が近衛師團は、優勢なる敵と相對峙してその夜の歩哨線を張つた僕等の分隊も獨立下士哨となつて、本隊から遠く離れた森の中へ行くべく命令を受けた。

出發に際して隊長は我々に對つて遙かにその森を指さして曰く

「あの森は最も敵に近いからよく〳〵注意せなければならぬ。殊に小哨との距離は非常に遠いから一層諸君の努力を要するのである。聞けば昨夜第二師團の下士哨があの森に居つた處、一人も殘らず行衛不明となつて了つたとの事である。事情は委しく解らんが、大方歩哨がぼんやりしてゐた爲め、先づ敵に刺殺されたのであらう。それともしらず居眠つてゐる下士哨の兵を全部捕虜にして了つたものだと想像される。だから歩哨に立つものは最も細心の注意を拂はなければならぬ。殊に敵は立つて來るのではなく、匍匐つて歩哨に近づいて來るのだからそのつもりで居らなければ、ぼんやりしてゐるとどんだ目に逢ふぞ。」

この注意を受けた我々分隊の者は士氣いやが上にも緊張した。とは表面で内實は「こいつは困つた、何んで選りに選つてそんな危險な處へ僕の分隊をやりやがるか、こりやひよつとすると僕等の生命は今夜ぎりだぞ」といふやうな感じが皆の頭に漲つたが、そんな處へ行くのは厭ですとも云へず、仕方なくその任務に就くべく、我々分隊の一行は宵闇の中をその氣味の惡い森へと進んだ。

畑やら砂利やら小川を渡つてやつとその森へ來た。森は野の中につぼつりあつて下士哨を置くには最も適當の場所である。そこへ着くと共に、古兵はすぐ

「オイ飯を炊いて來い」

と、僕とそして僕の同年兵の一人に命じた。初年兵の僕等は何んでもかでも古兵の命令通り奴隷の如く働かねばならぬので、仕方なく疲れた足を引摺りつゝ、澤山な飯盒を持つて元來た道の小川へ戻つた。米を磨いだが扨それを炊く場所がない。何分敵に近いから火など見せたら大變だ　どこかよい場所がないかと見廻すと、それから後の丘の横に四五軒の支那人の小家があつたのでそこを叩き起してやつと飯を炊いたが、その時も頻に支那人は、露兵が今にも來るかわからぬ、二時間程前にも露兵がやつて來て鶏を盗つて往つた、などの事を話したので落着いて飯も炊かれない位、益々不安を感じた。

飯を炊いて森の中へ歸つてくると、古兵は御苦勞とも云はず、すぐ飯盒を僕等の手より奪つて、ホカ〳〵湯氣のたつ飯に箸を入れ乍ら、

「オイお前は飯食つたらすぐ歩哨に立つぞ」

といふ。初年兵使ひの荒いこと夥しい。

飯を食ふとすぐ僕は、森の一番はづれの杉の木を小楯にしてゐて立つてゐる古兵の歩哨と交代した。

前方はずつと開豁してゐるが、何分眞暗だから何も見へぬ。どうかすると、あちこちに立てゝある束ねた黍殻が敵のやうに見へてならぬ。

一時間交代といふのが、一向交代にやつて來ぬ二時間、三時間經つても、少しも來ない。來ないからといつて猥に歩哨の位地を去る事は絶對に出來ない。

四時間、五時間。夜はだん〳〵更けて行くにつれて夜氣はいやが上にも冷たい。敵は一向靜かで時々遠くの方でカボン〳〵と間抜けたやうな敵の銃聲がするのみである。

後ろの方では古兵共はグヮ〳〵大きな鼾を立てゝ居眠つてゐる。これでは交代に來る筈はない。

松に凭つてジッとしてゐると、數日來の戰闘に綿の如く疲れた身體は、いくら心を引緊めてゐても、睡魔の爲めに翻弄されて、殆んど堪へ切れない。

この時前方に當つてガサゴソと音がした。ハッ

と思つて眼を睜り、耳をすまして音のした方を見たが、暗中何物も見へない。更に耳を地につけて凝と聞くと、確かに前方幽かに音がする。

愈敵だ！と察した僕は、すぐ腰を折つて折敷の姿勢で銃を構へた。

又ガサ〳〵と音がした。今度は明瞭に聞えた。餘り勇氣がある方でない僕も、かうなると所謂窮鼠で却つて糞度胸が据つた。

ガサ〳〵と音は益々近づいて來る。身を沈めて覗ふと、地の黒さと空の暗さが違ふから、水平線がすぐわかる。その空と接した水平線を見てゐると一つの黒影が此方をさしてやつて來るのが暗中ながらもよく見へる。殊にそれが匍匐つてゐるのである。愈々敵に違ひない。すぐ射撃してやらうかと思つたが、然し若しこれが味方であつたらどうなるかと考へた。がすぐ味方なら自分の味方の歩哨線へ匍匐つてくる事もなからう。だがもし脚でも負傷したのであるかもしれぬ。守則通り誰何してやらうか、もし誰何して敵であつたらそれこそ馬鹿を見るわけだ。この判斷に苦しんでゐる中黒影はだん〳〵近くやつて來た。

よしそれでは三度呼ぶ代りに一度限りで大きな聲を出してやれ、それで答へなければ百年目だ、味方だつて答へないのが不運だと諦めろと咄嗟の場合自分はさう決心した。

決心したものゝ射殺すべしとは守則にはない。射撃するのは、敵襲の場合報告する遑ない時に限る、とある。若し守則通りにやるとすれば、小さなそして非力の僕がどうして大きな敵を捕へるよりは、却つて敵の爲めに捕へられて、昨日の第二師團の下士哨見たやうな結果になる。

要するに今の歩哨の守則は實戰には用ひらるべきものでない。そんな缺陷ある守則に拘泥すべきでないと思つた僕は愈々射殺してやる手段をとつた。

「止れ!!!」

その聲は全く腹の底から出た叫びで、靜かな大地の闇を破つたのであるが、黒影はそれに對して何等答へはなかつた。

よし、と心の中で叫んだ僕は覗ひを定めてグッ

と引金を引いた。
「ズドン」
銃聲は殷々と暗の山河に響いた。
すると後ろで居眠つてゐた横着な古兵共は飛び上つて驚いた。そして敵襲と間違つて多くの古兵は面喰つて逃げ出した。中には方向を取違へて敵の方へ逃げ出しかけた奴もある。
少時すると後方から駈足でやつてくる大勢の跫音がする。それは小哨がやつて來たのである。それによつて一時逃げかけた皆のものは踵を返して漸くに元の下士哨の位置に引返した。
「どうした〳〵」
と云ひつゝ小哨長は、他の下士等と共に僕の前へやつて來た。
「敵が來ました」
と僕は猶銃を前方に擬しつゝ明確に答へた。
「何人程來た」
「一人のやうです」
「そんなら斥候だらう」
「逃げたか」
「確かに手答はありました」
と答へたから小哨長初め五六の下士や上等兵は僕を先登に立てゝ敵が來た場所へやつて來た。
「この邊です」
といふ僕の言葉にその人達は手わけして探した。
「居ました」
と誰かゝ叫んだので、皆はその聲を中心として集まつた。
「これです」
その兵は叫び乍ら銃の臺尻でウンとその敵を打ち据へた。
「待て〳〵」
と制しつゝ小哨長は
「死んでゐるのか」
と首をさしのべた。そしてその敵を引起さうとした
「オイ變だぞ」
と云つたが暫くすると
「オイ歩哨、これをよく見ろ」
といふ。自分は及び腰になつて手探でその敵を撫でゝ見て驚いた。それは露兵でも、味方でも、土人でもない、大きな豚であつたからである。
「馬鹿め！」
と僕はこの時自分の分隊の上等兵から二つ三つ横面を撲りつけられた。
それ以來僕の『諺名を豚』とよばれることになつてこの亂軍豚事件の解決はついたのであつた。

相談欄

▲建築　Rは小ちんまりした家を建て度いのですが何分素人で判り兼ますから一體どの位ひ掛けたら出來るものでしょうかお尋れ致します！借家坊（答）　それ丈けのお尋りではお答へ致し兼ますから御希望の建坪間取り等は勿論其他どの位な程度のものをお望みか其條件を詳細知らして被下い其上にて御相談致します**▲都市計畫**　大阪市の都市計畫に就て幹線道路に當る處を一目にして判るようなものは無いでしょうか　OS生（答）　それは大阪市役所の市區改正部に計畫圖がありますから就いて御覽なさい**▲美術館設計圖**　今回大阪市の募集せる美術館設計圖が發表になりましたがあれを御會から寫眞帳か何かにして發行しては如何です？！とき男（答）　そんな計畫はありませんが我誌「建築と社會」に順次掲出する筈であります**▲建築法規**　過般來發布になった建築法規を纏めたものを御發行になり度い！一會員（答）　近く發行の豫定で只今準備中です**▲就職**　私は多年建築設計や現場監督に就事した者ですが大阪市内で然るべき向へ就職の御紹介を願はれないでしょうか！四國の住人（答）　兎も角履歴書を送つて被下い**▲寄稿**　「建築と社會」に寄稿致し度いのでムいますが建築家でなくても掲載なさいますか？敏郎（答）　寄稿者の資格に制限はありませんから原稿を送つて被下い其上にて取捨します**▲照明法**　日本室の完全なる照明法を教へて被下い！崎山生（答）　勿論此の欄では答へ兼ますから近く本誌でお示し致しましょう**▲様式**　オットー！子ル派の建築とはどんなものですか！老學生（答）　多分獨逸？に於ける最も新興な樣式でありますが、凡て建築樣式は變するに氣分的傾向の現はれでありますから、之を歷史的にこそ語ることは出來ますけれども科學的に定義することは頗る困難でムいます只其樣式をお目に掛るより差當り方法がないと思ひます（一記者）**▲都市問題**　都市研究は單り日本許りでなく世界を通じての新興科學だと思ひますが日本の大學でも「都市科」とでもいふような講座を設けるように御會から建議なしては如何です！都市生（答）　何れそういふような方面にも活動することになりましょう

本欄は解放的のものですから、
會員たると否とを問はず御利用
被下い、但し相談や問合せは、
成るべく葉書に限ります。



都市施設

◉市營貯蓄銀行業

大阪市當局が夙て計畫して居る市營貯蓄銀行の經營に就ては何分現行貯蓄銀行條例では市營として業務を開始し難いので池上市長から大藏當局の內意を探つた事もあつたが當時政府としては市當局の所見と相違の點あり大藏省內では相當反對意見があつた而して大阪市選出の政友會所屬代議士等は何うかして之が解決方法を講じ市當局が計畫通り市營の下に事業を經營し得る途を拓かうと赤田瑛一、樋口伊之助氏等が主となつて種々調査する一方政友會幹部に對しても數次大阪市の計畫內容を說明し過般同會政務調査會に對し之に關する提案をしたが依然大藏省側に反對があつたので提案は一時幹部の手に保せられて居たが其後大藏省側も了解したものか漸く神野次官から此提案は差支ないとの聲明があつたので近く正式に衆議院に建議案を提出する事となつたとのことである。

◉大阪市軌道改良

過般來大阪市の電車軌道改良計畫に關する內務省よりの通牒により清水電鐵部長と共に上京中なりし岩田市土木部長は二十五日朝歸阪したるが其の談に曰く

內務省の意見は都市の美觀上改良さる可き電車軌道は車道と同樣全部木道とし同時に人道と車道の間に位する側溝を撤廢し車道の橫斷勾配の四十分の一なるを五十分の一に改むべしとの事であるが斯くては改良工事費千五十萬圓の本市豫算に對し軌道のみにて三百五十萬圓側溝の撤廢費百五十萬圓の增額を要することとなり到底市現在の財政狀態の許す處でないから種々懇談の結果差し當り現在市の改良計畫は認可さるゝ事となつた即ち軌道の基礎はコンクリートにて固め鋼鐵製の枕木を用ひ軌道上の石疊を加工して從來より體裁好きものと爲さんとするので軌道の壽命七八年の後更らに改築を要する場合には十分研究の上內務省の意見を參考する事となつた又側溝の取毀ちは現在差したる不便を感ぜず道路舖裝と共に此の工事費迄も沿道民の負擔に嫁するのは如

何であらうかと思はるゝので現存せるものは其の儘とし新に改築する場合に内務省の意見に從ふ事となつた本市が車道の横斷勾配を四十分の一としたのは泥土の堆積を慮つたのであるが内務省が五十分の一説を固守するに於ては豫算の上に大した相違も無いから改築に際し其の考へで工事を進むであらう尙ほ道路舖裝の沿道民の特別賦課であるが既に内務省に於ては土木局地方局を經て次官の手許まで届いてゐるから近々の内に認可さるゝであらう云々

◉神戸市公會堂案

神戸市に公會堂を建築する事は以前縣廳との聯合建設説もあつたが其後縣廳は單獨で建築する事になつたので市に於ても愈々單獨建築に決した設計は懸賞圖案を募集し大家の審査を乞ひ之に基いて立案し市會の協賛を求める運びに至る筈である懸賞に要する費用は一萬圓内外で三十萬圓は九年度自然增收から支出し七十萬圓は三年繼續とし寄附金は一切仰がずに百萬圓を投じて着手するといふ

◉特別市制の建議

奥村安太郎、森下龜太郎、山本藤助、上田彌兵衛の四代議士は多數議員の贊成を得て今回「六大都市特制速施に關する建議案」を議會に提出せり其内容次の如し

東京市、大阪市、京都市、神戸市、横濱市及名古屋市は帝國の所謂六大都市として近時の工業の發達と共に諸般の施設著しく膨脹を來したるに拘らず其の市政は依然として他の諸都市と同一制度の下に置き同じく府縣長官の二重督監に委ねるは行政上煩瑣なるのみならず頗る其の敏活を缺き市制運用上多大の障害を來すものと認む曩に第四十三議會に於て以上六大都市に對する各特別市制に關する建議案の大多數を以て通過したるに鑒み政府は速かに以上六大都市に對し特別市制を制定し内務大臣直接監督の下に立たしめ以て市民の繁榮發展の實を擧げられんことを望む

都市計畫

◉國道擴築案決定

大阪市　茶屋町より西成大橋に至る七百五十七間の國道の幅員に就ては豫て府と市の間に繫爭となつてゐたが先般の上田府内務部長の上京に依つて遂に解決を見るに至つた、即ち府の最初の計畫では同道路の幅員を十間とするにあつたが市が之を都市計畫道路と指定する關係上之を十二間に擴げその差二間の幅員に要する經費三十五萬圓は市の出費に俟つ筈であつた處市は府から本省への出願文書面に明かに十二間とあるからには其經費の全部は當然府の經濟に依るべしとし之に對し府は最初から二間分丈けは市の懷中を當てにして幅員十二間としたものだと辯解し結局市は若し内務省にして右に要する三十五萬圓の經費の起債を許可するに於ては進んで之を負擔すべしとの言明をなした、依つて上田内務部長は過般本省に於て右起債許可の内意を敲いた結果本省の承認を得るに至つた故にコノ茶園町より西成大橋に至る道路は最初の計畫通り十二間となる譯である。

◉道路舖裝費負擔

大阪市の都市計畫事業に依り新設擴張さるべき道路の舖裝に關する沿道民の負擔に就ては過般來大阪市と内務當局との間に種々

渉交を重ねつゝありしが内務省は市の原案に對し幾分の改訂を加へ愈近日中に認可すべしと即ち市の原案に依れば道路鋪裝に關する沿道民の負擔は工事費總額の三分の一を片側の沿道民に負擔せしむる事となり居れるが内務省の意嚮は四分の一の負擔を課せんとするものなり尚ほ間口負擔と道路に面せる間口に應じ負擔額の二分の一を支出せしめ面積負擔として道路を距る二十間以内の土地所有者に對し殘りの二分の一を課せんとする市の原案は認むるも家屋の横側が改築さるべき道路に面せる場合は間口負擔を課せざる市の原案に對しては内務省は間口負擔を課するを正當とし特殊の場合即ち交番、砂利置場等の存在する場合には負擔を免すべき特例を設くる事と爲したりと尚は道路の鋪裝料新に就ては内務省は現在工事中なる堺筋線が木道、アスファルトを混用せるは都市の美觀上面白からざれば全部木道にすべしとの意見を有せる程なれば今回の都市計畫の結果新施擴張さるべき上級道路には全部木道鋪裝を爲す事となるべし以上種々の改訂により市の負擔は少額なれども加重せらるゝ事となりたれば過般市より發表せる都市計畫の財政計畫は一部變更を免れざるべく推測さる

◉東京都市計畫實施

都市計畫委員會で審議中の東京市都市計畫路線八十六線河川十線は二月中に中央委員會の議を經てから内閣へ廻附される段取りになつて居るが右は遲くも四月上旬迄に認可になる見込みで認可あり次第直に實施の運びに至るのである、扨て其工事施行年度割は何れ東京地方委員會で決定すべきであるが大體に於て七箇年乃至八箇年位を要する豫定で市部四十九線（一億三千萬圓）郡部卅七線（五千三百萬圓）河川改良工費（七千七百萬圓）合計二億三千萬圓に上つて居る、而してその中三分の一は國庫の補助に仰ぐとしても莫大な經費を府市に於て負擔する事になる勿論それは公債募集に俟つのではあらうが財界不況の折柄でもあり且つ市としては一億四千萬圓の市電公債や水道公債六千萬圓等何れも急を要するものが眼前に横つて居るから甚だ前途困難と云はれて居る、更に大阪では既に都市計畫の如き獨立的の機關を設けて目的の貫徹に努めて居るが東京市當局の意嚮としては別に獨立的の一局を設置せず高級技師を主事とし、是に數名の技師と十數名の技手を置き數箇所に出張所を設けて實測は着手する方針だと云ふ。

◉市内乘込線移轉

大阪電氣軌道株式會社の市内乘入區域なる東上町、上本町六丁目間の乘入當時は尠からず問題を惹起したるが其後人家の新築增加し然も交通道路狹隘にて下水其他の衛生施設不十分なため同地住民は市當局に對し屢大軌線路の移轉竝に新道路築造を迫りつゝありしが今回都市計畫の實施に伴ひ上本町六丁目より味原町に至る區間に十二間道路を新設するに決定し大正十年度事業として豫算を計上したるを以て市に於ては都市計畫特別税に關する勅令の發布あり次第直ちに用地買收に着手し斯くて十年度中に完成せしむる方針なるが右に就き大軌々道終點線昇降場は現在より約二十間南方に移轉し從つて線路も終點より鶴橋停留所間は順次南方へ移轉する事となるべく而して右軌道移轉跡に上記十二間幅新道路を築造し市電高津線路を延長して東上町玉造線に聯絡せしむる方針なりと



會報

會合

○理事會

▲日時　一月二十日午後五時——七時
▲會場　本會事務所
▲出席　葛野、吉木、瀨戸、波江、小笠原
▲記事
一、書記越山、渡島兩氏辭任許可の事。二、片岡、渡邊、齋藤三氏の歡迎、木子氏の送別を兼ね新年宴會を中央公會堂中食堂にて開く事。三、旅費規定を決定せり四、新舊理事會を開く事。五、市街地建築法規解說編纂委員諸氏を指名決定

○新舊理事會

▲二月　五日午後五時—九時
▲會場　大阪倶樂部
▲出席　葛野、瀨戸、波江、小笠原、横濱、松本、吉井—片岡、宗
▲記事
一、本會の事業に就き新舊理事懇話會を開く。二、今秋住宅改造博覽會開催の件につき意見を交換す。三、副會頭として片岡氏承諾せらる、尙會頭は後藤新平男へ交渉中。四、大正十年度豫算審議決定す。五、會員詮衡並びに諸般事務協議

○新舊理事會

▲日時　二月八日
▲會場　本會事務所
▲出席　宗、葛野、横濱、瀨戸、波江、吉木
▲記事
一、住宅改造博覽會を今秋開催するに就いて協議せり
一、大要左の如し
イ、天王寺公園を會場とすること
ロ、會期は今秋自九月二十日至十月二十日
又は來春　自三月廿日至四月二十日
ハ、豫算　五萬圓
三萬圓（寄附金による）
二萬圓（入場料による）
ニ、支出　五萬圓
三萬圓（準備及施設費）
二萬圓（會場及餘興費）
ホ、目的

一、住宅改造の機運を促進するの目的を以て博覽會とす

へ、施設

一、圖案懸賞　二、模型製作　三、史蹟沿革　四、家具裝飾　五、建築材料　六、衛生施設　七、庭園、遊園　八、講演會傳

ト、實行方法

一、準備委員會を組織し、準備計畫に當ること

○例會

▲日時　二月十七日午後六時―八時

▲會場　本會事務所

▲出席者

舟橋喜一　池村元助　佐藤熹美　河合貞一郎　鈴木甫　岡本新次郎　濱田正三　置鹽享　宮崎克二　境正一　藤井令三　八尾德太郎　小松靜　宮本金七　菅源之助　和田貞治郎　前田武止　岩尾保衛　島田良磐　森篤次郎　久保田繁亮　谷口雁兒　小川安一郎　光安梶之助　小寺彌一　生野彌三郎　池田實　富永眞一　伊藤幸太郎　池田宮彦　波江悌夫　吉木久吉　山本辰次郎　平島末吉　坪井誠一　糸崎周一　呼子正　長田岩次郎　葛野雅一郎　吉井長七　小笠原鈅　橫濱勉　武田經一　伊藤正文　片岡安

▲記事

一、葛野理事長の挨拶につぎて主記の會務報告あり。二、瀨戶主計大正十年度豫算につき說明報告あり。三、片岡安氏副會頭就任につき一場の挨拶あり。四、葛野氏博覽會開催の件につき說明する所あり所あり、片岡氏座長席につき會員の同意を求め滿場異議なく可決、次いで內容につき質議應答あり。五、準備委員會組織の必要を認め役員會指名に一任せらる

○編輯會議

▲日時　二月十七日午後五時―六時

▲會場　本會事務所

▲出席　小笠原、橫濱、吉井、江村

▲記事

一、市街地建築物法規（建築物法、施行令、施行規則、施行細則）講解出版方法及び「建築と社會」三月號原稿を取極めたり

會務

○副會頭就任

片岡安氏本會副會頭として快諾就任せらる尙會頭は名譽贊助員男爵後藤新平氏へ交涉進行中なり

○委員會

市街地建築物法規解說編纂委員として左の諸氏の承諾を得、編纂委員會を組織し、之れが事務を擔當せられたり

池田　實氏　中西甚作氏　吉井長七氏
橫濱　勉氏　小笠原鈅氏　江村郊邸氏

○職員

住宅改造博覽會事務主任として西村節君就任、本會書記を兼務せり

○住宅改造博覽會準備委員

住宅改造博覽會準備委員として左の諸氏承諾せられたり

片岡　安氏　宗　兵藏氏　武田五一氏
野村一郎氏　舟橋喜一氏　設樂貞雄氏
高　胖氏　葛野莊一郎氏　吉井長七氏
池田　實氏　横須　勉氏　瀨戸文吾氏
波江悌夫氏　小笠原鈞氏　松本萬禹氏
吉本久吉氏　平井三郎氏
德政金吾氏　白杉龜造氏　竹中藤右衛門氏
鴻池忠三郎氏　錢高善造氏　池田勘藏氏
橋本科左衛門氏　久保田種吉氏
有山福重郎氏　山本長五郎氏
置塩　章氏　光安梶之助氏　内藤太郎氏
大林賢四郎氏　山脇友三郎氏　福永佐和吉氏
中西喜作氏

○建築物法施行細則に關する建議

曩に公布せられたる大阪府施行細則に關し建築物高さの最低限度につき、本會の希望を實現せんことを期し、委員會を組織し建議書を作成して一月十七日大阪府知事宛提出せしが、都市計畫地方委員會に於ても同樣なる希望あり、當局者茲に諏る所あり近く該條項を追加細則として發布せらるやに聞く本會の努力空しからざるを喜ぶ。

右建議書並びに理由書の内容次の如し。

建　議　書

日本建築協會は市街地建築物法施行令第十四條に據る建築物の高さの最低限度を規定せらるに速かに實施せられんことを切望す

右建議す

大正十年一月十七日

日本建築協會

理事長　葛野莊一郎

大阪府知事池松時和殿

理　由　書

本協會は曩に公布せられたる都市は畫法並びに市街地建築物法に據り近く勅令第四百三十八號及び内務省令第三十七號の命ずる處に準じ我大阪市が初めて完全なる建築法令の適用を視且去月朔日を以て大阪府令施行細則の發布せられたるに對し滿腔の敬意を表し都市改善事業の前途を祝福するもの也。

由來我國諸都市は今尚ほ幼稚なる過渡時代を辿りつゝあり市街地建築物の多くは殆んど原始的風貌を脫せず都市は徒らに横にのみ展開せられつゝあり近時漸く歐米諸都市の發達に鑑み耐火耐震耐久の建築物を要求し又竪に土地の利用を畫策すべき機運到來し地區の整理街路の整頓と相俟つて高層なる建築物を必要とする時代となれり故に都市計畫の事業たる曾に道路系統の擴大をのみ腐心汲々するに非ずして土地の利用地域の整理並びに建築物の改善を促進せしむるを以て主眼とせざるべからず。

茲に於て乎都市計畫法の適用を視たる我重要諸都市は市街地建築物法の命ずる處に據り重要道路に面する建築物の高さの最低限度を規定するの必要なること勿論にして且つ今日之れが規定を制定すべき最好時機なることを信ずるもの也

殊に我大阪市現在の地位に關しては最も愼重なる考慮を致さざるべからず輓近我大阪市の發展活躍は頗る顯著にして識者の注目する處なるのみならず鋭意幾多の文明的施設を斷行して着々堅實なる成績を擧げつゝあるは天下周知の事實なり都市計畫事業の經營に關しても他市に率先して劃策する處あり惟ふに我大阪市の一擧一動は其影響する處頗る甚大なるものあり。

市民の風格も亦自由不羈の精神に富む現行大阪府建築物取締規則の如きも既に十餘

年以前より實施せられ市民亦能く其主旨を了解遵奉し過去に於ては建築取締令の適用を受けたる我國唯一の都市なりしなり之れを今日初めて法命の施行せられたる他の都市に比せんか我大阪市に於ける地位の輕重は決して同日の談に非ざる所以也。

曩に大阪府より諮問せられたる此次の施行細則に關する主要團體の意見の如きは軌を一にして市街地建築物法施行令第十一條の規定を是認し且つ實行の可能適切なるを進言したるに非ずや。

地方重要都府行政の樞機を把握せられつゝある賢明なる閣下並びに當局諸賢冀くば茲に本協會の微意の存する處を洞察せられ果斷勇畧の範を垂れ他の諸都市をして其向背を定めしめられんことを。

○會員消息

會員　木子七郎氏は二月廿八日梅田發歐米漫遊の途に上られたり、門司より丹波丸に便乘の由

○新入會員

（會員）

藤田友吉氏　櫻井吾一氏　木村多督氏　櫻井謙二郎氏　流石信夫氏　久保支次郎氏　宮本長治氏　多田七五三一氏　中野誠一郎氏　天羽六郎氏

（終身贊助員）

野村幸十郎氏

（普通贊助員）

村上單四郎氏　矢内庚次氏　田中清志氏　山口郊太郎氏　井堀秀美氏　河合作次郎氏　峯本日出次郎氏　大須賀巖氏　八尾金一氏　小池光義氏　小野武雄氏　菅源之助氏　丹羽三雄氏　宮林勝氏　木村清氏　佐々木勉次郎氏　エドウインボンタ氏　藤木正一氏　中津定吉氏　佐田佐太郎氏　猪子昇一氏　岡田平藏氏　山本久吉氏　谷口惠一氏　平井貞吾氏　佐藤正夫氏　福山七三氏

○住所移轉

安立糺氏　京都市上京區河原町通三條上ル二丁目下丸屋町七〇

伊藤憲一郎氏　名古屋市愛知縣警察部建築課

柳下實氏　大阪市北區常安町一三（電土一三一三）

小村清三郎氏　兵庫縣武庫郡御影町字御影阪地一〇五一ノ二藤江厚實方

谷田實氏　東京市日本橋區通二ノ一二片岡松井建築事務所内

丐創兵太郎氏　兵庫縣川邊郡杭瀬

村上徹一氏　大阪市西區八幡屋町二一五ノ四九

村上秀二氏　右同斷

山本久吉氏　大阪市西區堀江下通一ノ五一山本方

佐田佐太郎氏　長崎縣北松浦郡平戸町郡役所内

寄贈圖書

庭園（貳月號）　庭園協會

平建民築（貳月號）　帝國工業教育會

建築雜誌（壹月號）　建築學會

住宅（貳月號）　住宅改良會

新住宅（貳月號）　洪洋社

藏前建築（貳月號）　東京高等工業學校其會

建築世界（貳月號）　其社

土木建築（貳月號）　其社

工業之友（壹六四號）　工手學校内其社

工業之大日本（貳月號）　其社

材木新聞（六五六號迄）　關西材木商報社

SAKURA（NUM.4）　會員津田鑒君

役員及職員

副會頭　片岡安
理事　葛野壯一郎（理事長）
理事　波江悌夫（主記）
理事　瀨戸文吾（主計）
理事　横濱勉（編輯）
理事　小笠原銅（編輯）
理事　吉井長七（編輯）

理事　池田實
理事　吉木久吉
理事　松本禹象
理事　平井三郎
編輯補　佐藤四郎
江村郊郎
書記　西谷節
武波泰
山崎萬壽夫

會員	二〇二
同譽賛助員	六〇
特別賛助員	一四
合計	七二六

會員（地方）	六五
終身賛助員	四八
普道賛助員	三三七

本誌及廣告料定價表

本誌	冊數	定價	郵稅
	一冊	金五拾錢	貳錢
	十二冊	六圓	貳拾四錢

廣告料	種別	金額
	半頁	八圓
	一頁	拾五圓
	特別頁モ料金一定シアリ御照會アリ度シ	

（毎月壹回一日發行）

大正十年三月一日印刷
大正十年三月六日發行

大阪市外中津町下三番一九八番地ノ一
發行兼編輯人　江村恒一

大阪市東區內淡路町一丁目卅一番地
印刷兼印刷人　大阪活版所

大阪市西區京町堀上通一丁目
不動ビルデイング內
發行所　日本建築協會
電話　土佐堀四、二一九三番
振替口座大阪三九、九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　柳々堂書店
電話（土佐堀二四四〇番）
振替口座　二〇八四番

●第四集 第三号 掲載広告一覧（掲載順）

岩倉正商店
浅海商店
池田稔事務所
出浦建築事務所
新海工務所
渡辺建築事務所
葛野建築事務所
片岡建築事務所
横河工務所
宗建築事務所
国枝工務所
真水工務所
真水三橋建築事務所
舟橋建築事務所
遠藤於菟
木子建築事務所
茂、野村建築事務所

設楽建築工務所
片岡松井建築事務所
池田勘蔵
橋本料左衛門商店
日本土木大阪出張所
大林組
竹中工務店
長瀬兵馬
熊取谷熊次郎
山本組
松井工務店
松村組
山縣組
藤木正一
鴻池組
小西組
安藤組大阪出張所

木村組
清水組大阪支店
清水工務店
銭高組
有山福重郎
久原鉱業大阪出張所
吉田鹿之助商店
山田大理石製作所
矢橋商店
高田商会
日本商会
須賀商会
日本電飾
内外土木建築材料
栄進社
松尾和助本店
山本窯業商店

萩原煖房工務所
新田ベニヤ製造所
南満鉱業
砂崎
村井工業所
山本コンベス商会
大野正営業所
野沢幸三郎商店
日本石綿盤製造
有田製陶所
宇野沢組スティンド硝子製作所
東京建鉄大阪支店
浅野スレート大阪出張所
大阪窯業